

海士町地域防災計画

Ⅲ. 資料編

海士町地域防災計画 資料編

資料 1	海士町防災会議条例	1
資料 2	海士町災害対策本部条例	3
資料 3	海士町防災行政無線の設置及び管理に関する条例	4
資料 4	海士町防災行政無線管理運用規則	6
資料 5	島根県避難勧告等情報伝達連絡会規約	12
資料 6	避難勧告等情報伝達に関する申し合わせ	13
資料 7	島根県防災行政無線局	16
資料 8	一般無線局	17
資料 9	地域衛星通信ネットワーク地球局一覧	18
資料 10	海士町消防団	19
資料 11	雨量観測所一覧	22
資料 12	町道一覧	23
資料 13	海士の指定文化財一覧表	44
資料 14	災害危険区域一覧	46
資料 15	隠岐諸島に関係した地震、津波一覧表	53
資料 16	防災アセスメントマニュアル	54
資料 17	海士町に影響した台風経路図	55
資料 18	島根県医師会医療救護計画	79
資料 19	自衛隊の災害派遣要請について（依頼）	81
資料 20	土砂災害警戒情報関係資料	83
資料 21	避難所リスト	86
資料 22	被害判定基準	89
資料 23	トリアージタグ	91
資料 24	島根県緊急輸送道路ネットワーク計画図	92
資料 25	島根県災害時医療救護実施要綱	93
資料 26	隠岐島前地域災害医療対策会議設置要領	100
資料 27	震度階級関連解説表	103

(資料 1)

海士町防災会議条例

(昭和 37 年 11 月 30 日海士町条例第 14 号)

改正 平成 5 年 12 月 22 日条例第 19 号

平成 12 年 3 月 24 日条例第 5 号

平成 24 年 9 月 21 日条例第 23 号

(目的)

第 1 条 この条例は、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）第 16 条第 6 項の規定に基づき、海士町防災会議（以下「防災会議」という。）の所掌事務及び組織を定めることを目的とする。改正（平 12 条例第 5 号）

(所掌事務)

第 2 条 防災会議は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 海士町地域防災計画を作成し、及びその実施を推進すること。
 - (2) 町長の諮問に応じて町の地域に係る防災に関する重要事項を審議すること。
 - (3) 前号に規定する重要事項に関し、海士町長に意見を述べること。
 - (4) 前各号に掲げるもののほか、法律又はこれに基づく政令によりその権限に属する事務
- 改正（平 24 条例第 23

号）

(会長及び委員)

第 3 条 防災会議は、会長及び委員をもって組織する。

- 2 会長は、町長をもって充てる。
 - 3 会長は、会務を総理する。
 - 4 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。
 - 5 委員は、次の各号に掲げる者をもって充てる。
 - (1) 島根県知事の部内の職員のうちから町長が任命する者
 - (2) 島根県警察の警察官のうちから町長が任命する者
 - (3) 町長がその部内の職員のうちから指名する者
 - (4) 教育長
 - (5) 隠岐島消防署海士出張所長及び海士町消防団長
 - (6) 指定公共機関又は指定地方公共機関の職員のうちから町長が任命する者
 - (7) 自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうちから町長が任命する者
- 改正（平 24 条例第 23 号）

6 前項第 1 号、第 2 号、第 3 号、第 6 号及び第 7 号の委員定数は、それぞれ 2 人、2 人、5 人、2 人及び 2 人とする。改正（平 24 条例第 23 号）

7 第 5 項第 6 号及び第 7 号の委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠の委員の任期はその前任者の残任期間とする。改正（平 24 条例第 23 号）

8 前項の委員は、再任されることができる。改正（平 5 条例第 19 号）

(専門委員)

第 4 条 防災会議に専門の事項を調査させるため、専門委員を置くことができる。

2 専門委員は、関係地方行政機関の職員、島根県職員、海士町職員、関係指定公共機関の職員、

関係指定地方公共機関の職員及び識見を有する者のうちから町長が任命する。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査が終了したときは、解任されるものとする。

(議事等)

第 5 条 前各条に定めるもののほか、防災会議の議事その他防災会議の運営に関し必要な事項は、会長が防災会議にはかつて定める。

附 則

この条例は、昭和 37 年 12 月 1 日から施行する。

附 則（平成 5 年 12 月 22 日条例第 19 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 12 年 3 月 24 日条例第 5 号）抄
（施行期日）

この条例は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 24 年 9 月 21 日条例第 23 号）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 第 3 条第 5 項第 7 号の委員の最初の任期は、同条第 7 項の規定にかかわらず平成 25 年 3 月 31 日までとする。

(資料 2)

海士町災害対策本部条例

(昭和 37 年 11 月 30 日
海士町条例第 15 号)
改正 平成 8 年 3 月 8 日条例第 3 号
平成 24 年 9 月 21 日条例第 24 号

(目的)

第 1 条 この条例は、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）第 23 条の 2 第 8 項の規定に基づき、海士町災害対策本部に関し必要な事項を定めることを目的とする。

改正（平 24 条例第 24 号）

(組織)

第 2 条 災害対策本部長は、災害対策本部の事務を総括し、所部の職員を指揮監督する。

2 災害対策副本部長は、災害対策本部長を助け、災害対策本部長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 災害対策本部員は、災害対策本部長の命を受け、災害対策本部の事務に従事する。

(部)

第 3 条 災害対策本部長は、必要と認めるときは、災害対策本部に部を置くことができる。

2 部に属すべき災害対策本部員は、災害対策本部長が指名する。

3 部に部長を置き、災害対策本部長の指名する災害対策本部員がこれに当たる。

4 部長は、部の事務を掌理する。

(現地災害対策本部)

第 4 条 現地災害対策本部に現地災害対策本部長及び現地災害対策本部員その他の職員を置き、災害対策副本部長、災害対策本部員その他の職員のうちから災害対策本部長が指名する者をもって充てる。

2 現地災害対策本部長は、現地災害対策本部の事務を掌握する。

追加（平 8 条例第 3 号）

(委任)

第 5 条 前各条に定めるもののほか、災害対策本部に関し必要な事項は、災害対策本部長が定める。

繰下げ（平 8 条例第 3 号）

附 則

この条例は、昭和 37 年 12 月 1 日から施行する。

附 則（平成 8 年 3 月 8 日条例第 3 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 24 年 9 月 21 日条例第 24 号）

この条例は、公布の日から施行する。

(資料3)

海士町防災行政無線の設置及び管理に関する条例

(昭和60年3月23日海士町条例第6号)

改正 平成17年3月25日条例第11号 令和2年3月17日条例第10号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2の規定に基づき、防災行政無線の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 災害対策基本法(昭和36年法律第223号)、水防法(昭和24年法律第193号)、消防法(昭和23年法律第186号)、消防組織法(昭和22年法律第226号)、災害救助法(昭和22年法律第118号)、気象業務法(昭和27年法律第165号)等の諸法令に基づき地域における防災、応急救助及び災害復旧に関する事務並びに一般行政事務の円滑化を図り、住民の福祉に資するため海士町防災行政無線を次のとおり設置する。

(1) 呼出名称

固定系無線局 「ぼうさい あまちょう」
固定系無線局 「ぼうさい ただやまちゅうけい」
固定系無線局 「ぼうさいあまちょうほぼみ」
固定系無線局 「ぼうさいあまちょうみなみ」
固定系無線局 「ぼうさいあまちょうさき」
固定系無線局 「ぼうさいあまちょうさきじょうかせんたー」
移動系デジタル簡易無線

(2) 通信所の設置場所

島根県隠岐郡海士町大字海士1490番地 隠岐開発総合センター
島根県隠岐郡海士町大字海士1490番地 海士町役場
島根県隠岐郡隠岐の島町城北町163番地 隠岐広域連合消防本部

(3) 屋外等受信設備の設置場所

海士町の主な集落で町長が別に規則で定める場所

(4) 戸別受信設備の設置場所

海士町内に住所を有する世帯及び町内の公共機関又は事業所等で町長が必要と認める場所

改正(令2条例第10号)

(通信業務)

第3条 防災行政無線による通信業務は、次のとおりとする。

(1) 災害対策基本法、水防法、消防法、消防組織法、災害救助法、気象業務法等の諸法令に基づく地域における防災、応急救助、災害復旧に関する事項

(2) 町の一般行政事務に関し、町長が必要と認める事項

(通信の業務区域)

第4条 通信業務を行う区域は、海士町全域とする。

(受信機等の貸与)

第5条 戸別受信設備等の貸与を受けようとする者は、町長の承認を受けなければならない。承認を受けた事項を変更しようとするときも同様とする。

2 戸別受信設備の貸与を受けることができる者は、海士町内に住所を有する者又は第2条第4号に掲げる公共機関及び事業所等の代表者とする。

3 貸与を受けることができる戸別受信設備の数は、1世帯、1公共機関又は1事業所について1台とする。

(設備の保全)

第6条 前条第1項の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、戸別受信設備に特別な設備をし、又は変更を加えてはならない。

2 使用者は、受信機等の善良な保管に努め、異状を認めたとき又は前条第2項の要件を欠くに至るときは、速やかに町長に届け出て、その指示に従わなければならない。

(承認の取消し)

第7条 町長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用の承認を取り消すことができる。

(1) 承認の条件に違反したとき。

(2) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(3) その他、町長が使用を不相当と認めたとき。

(使用料等)

第8条 戸別受信機の使用は、原則として無料とする。

2 戸別受信設備の設置に要する経費は、原則として町の負担とする。ただし、第2条第4号の公共機関又は事業所等の経費は有料とすることができる。

3 戸別受信設備の維持管理に要する経費は、使用者の負担とする。

(権利の移譲)

第9条 使用者は、その権利を譲渡し、又は転貸し、若しくは担保に供してはならない。

(損失補償)

第10条 使用者は、故意又は重大な過失によって戸別受信設備を、亡失又は損傷したときは、町長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、町長が損害額を賠償させることが適当でないと認めたときは、この限りでない。

(委任)

第11条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成17年3月25日条例第11号）

この条例は、公布の日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則（令和2年3月17日条例第10号）

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(資料4)

海士町防災行政無線管理運用規則

(昭和 60 年 3 月 28 日海士町規則第 1 号)

改正 平成 6 年 3 月 31 日規則第 6 号 平成 10 年 1 月 30 日規則第 16 号

平成 10 年 12 月 24 日規則第 31 号 平成 12 年 12 月 26 日規則第 20 号

平成 13 年 4 月 1 日規則第 10 号 平成 16 年 12 月 22 日規則第 10 号

平成 22 年 7 月 1 日規則第 5 号

(目的)

第1条 この規則は、海士町地域防災計画に基づく災害対策に係る防災業務及び一般行政事務に関し、円滑な通信の確保を図るために設置する海士町防災行政無線（以下「無線局」という。）の管理運用について、電波法（昭和 25 年法律第 131 号）及び関係法令に定めるもののほか必要な事項について定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規則における用語の意義は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 無線局 無線設備及び無線設備の操作を行うものの総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものは含まない。
- (2) 無線設備 無線電話その他電波を送り、又は受けるための電氣的設備をいう。
- (3) 無線従事者 無線設備の操作を行う者であつて、総務大臣の免許を受け、かつ当該無線の操作をしようする資格を有する者をいう。
- (4) 固定系親局 特定の二つ以上の受信設備に対し、同時に同一内容の通報を行うため送信する無線局をいう。
- (5) 固定系子局 固定系親局からの電波を専ら受信するための設備をいう。
- (6) 移動系親局 移動系子局（陸上移動局）と通信を行うため役場庁舎内に開設する移動しない無線局をいう。
- (7) 移動系子局 陸上を移動中又は特定しない地点に停止中、親局（基地局）又は子局と相互に通信を行う「陸上移動局」をいう。
- (8) 無線系 前各号の無線局及びその附帯設備を含めた無線通信システムの全体をいう。
- (9) 災害 暴風、豪雨、洪水、地震その他異常な自然現象又は火災若しくは爆発その他の及ぼす被害の程度において、これらに類する原因により生ずる被害をいう。
- (10) 防災 災害を未然に防止すること又は発生のおそれがある場合の事前準備、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぐこと及び災害の復旧を図ることをいう。

改正（平 12 規則第 20 号）

(無線局運用の目的)

第3条 海士町の無線系に属する無線設備等を効率的に運用し、住民の生命、財産を災害から保護し福祉の増進に資するため、通報及び通信を行うこととする。

(管理運用組織)

第4条 無線系の管理運用のための組織は、次のとおりとする。

(1) 総括責任者

総括責任者は、無線系の管理、運用の業務を総括し、管理責任者を指揮監督するものとし、この任は町長が充たる。

(2) 管理責任者

無線系施設及び運用の管理者 総務課長管理責任者は、総括責任者の命を受け、無線系の管理、運用の業務を行うとともに、通信取扱責任者を指揮監督し、当該無線局の運用状況及び無線設備の状態等を把握しその機能が十分発揮できるようにするものとする。

(3) 通信取扱責任者

管理責任者の命を受け、無線系の管理を行うとともに無線局の運用に係る 業務を所掌するものとし、この任には海士町職員を充てる。

(4) 無線従事者

通信取扱責任者の指揮のもとに、無線系に属する無線局の無線設備の技術操作を行うとともに、無線業務日誌の記載を行うほか、通信取扱者の行う通信操作を指揮監督するものとし、この任には無線従事者の資格を有する海士町職員を充てる。

(5) 通信取扱者

無線従事者の監督のもとに、無線局の通信操作を行う者であって海士町職員に限定する。

改正（平 13 規則第 10 号）

（総括責任者の業務）

第 5 条 総括責任者は、無線局の運用形態に応じ無線従事者を適正に配置する義務を負う。また適正な配置を確保するため、常に無線従事者の養成に努めるものとする。

（運用時間等）

第 6 条 無線局の運用時間は常時とし、職員の配置は勤務時間内とする。ただし、管理責任者が特に命ずる場合はこの限りでない。

2 通信に使用する時刻は、24 時間とする。

（待機命令等）

第 7 条 管理責任者は、災害その他緊急の事態が発生するおそれがあるときは、必要な職員を待機させ通信に必要な措置をとらなければならない。

（通信事項）

第 8 条 無線局の通信事項は、次の各号のとおりとする。

(1) 災害、防災等に関する事項

- ア 火災、風水害、地震等の災害情報、警戒情報の伝達
- イ 人命救助、災害救援、復旧等の情報伝達
- ウ 交通、通信の確保又は秩序の維持に関する事項

(2) 一般行政に関する事項

- ア 住民の便益に係る突発的事項
- イ 住民の理解、協力を得るための伝達事項
- ウ 事業推進に係る情報伝達事項
- エ その他一般行政連絡事項

(3) その他町長が必要と認める事項

（通信の禁止）

第 9 条 次の各号に該当する通信については、これを禁止する。

(1) 特定の個人又は政党の宣伝及びこれに類する事項

(2) 営利を目的とする宣伝等の伝達

(3) 非常の場合を除き、免許された目的、通信の相手方、通信事項以外の通信を行うこと。

（通信の種別）

第 10 条 無線局による通信の種別は、次の各号のとおりとする。

- (1) 非常、災害通信
- (2) 一般行政通信
- (3) 訓練通信
- (4) その他町長が必要と認める通信
(非常時の通信)

第 11 条 非常、災害時の通信は、次の各号による。

- (1) 非常、災害の通信は、総括責任者の指揮のもとに行い、一般行政通信に優先する。
- (2) 水防、災害対策本部が設置されたときは、その指揮下で行うものとし、通信の統制を行う。
- (3) 通信の統制は、水防、災害対策本部解散後総括責任者の命により解除する。
(平常時の通信)

第 12 条 平常時における一般行政通信は、次の各号により行う。

- (1) 固定系による定時通報
 - ア 6 時 30 分 時報 朝のお知らせ
 - イ 12 時 00 分 時報
 - ウ 17 時 00 分 時報
 - エ 19 時 30 分 (5 月から 9 月までの時期は 20 時) 夜のお知らせ
- (2) 固定系による臨時通報
- (3) 移動系による一般業務連絡
(訓練通信)

第 13 条 非常災害時の異常事態に備え、防災行政無線通信及び非常無線通信の円滑な運用を図るため、次の各号により訓練通信を行う。

- (1) 訓練は、通信統制、住民への警報通報及び災害情報収集を重点に行い、住民参加のもとで実施する。
- (2) 国、県との総合防災通信訓練に参加し、総合通信訓練を実施する。
(通報の手続)

第 14 条 固定系における通信をしようとするときは、定められた用紙に通信事項を記載し、運用管理者に 2 日前までに提出しなければならない。ただし、臨時又は非常通信についてはこの限りでない。

(陸上移動局の運用)

第 15 条 陸上移動局は、出動と同時に開局し、その旨を基地局に通報しなければならない。

2 陸上移動局は、出動中故障又は正当な理由により基地局の承認を得た場合のほか、無線機を常に送受信状態に保たなければならない。

(屋内外受信設備の設置場所)

第 16 条 海士町防災行政無線の設置及び管理に関する条例 (昭和 60 年海士町条例第 6 号)

第 2 条第 3 号に定める施設は、別表第 1 のとおりとする。

(移動無線局の種別、呼出名称等)

第 17 条 移動無線局の種別、呼出名称及び設置場所は、別表第 2 のとおりとする。

(備付書類等)

第 18 条 無線局には、電波法及び関係法規に定める業務書類のほか、戸別受信設備貸与台帳を備えて整理しておかなければならない。

(提出書類等)

第 19 条 次の各号の書類は、運用管理者が作成し、総括責任者の承認を得て提出する。

- (1) 日誌抄録無線業務日誌に基づく毎年 1 月から 12 月までの日誌抄録を中国電波監理局長に提出する。
- (2) 無線従事者選解任届 無線従事者を選任又は解任したときは、遅滞なく中国電波監理局長に届け出る。

(設備の点検整備)

第 20 条 無線設備の正常な機能を確保するため次の各号の点検整備を行う。

- (1) 毎日点検 無線従事者又は通信取扱者により通話状態の確認を行う。
- (2) 毎月点検 通信取扱責任者の監督のもとで無線従事者が行う。
- (3) 6 箇月点検 監理責任者の監督のもとで機器納入業者に委託実施する。
- (4) 臨時点検 必要の都度 6 箇月点検に準じ実施する。
- (5) その他予備装置、予備電波については、毎月 1 回以上その装置を動作させ機能の確認を行う。
- (6) 前各号の点検細目については、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 6 年 3 月 31 日規則第 6 号)

この規則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 10 年 1 月 30 日規則第 16 号)

この規則は、平成 10 年 2 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 10 年 12 月 24 日規則第 31 号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 12 年 12 月 26 日規則第 20 号)

この規則は、平成 13 年 1 月 6 日から施行する。

附 則 (平成 13 年 4 月 1 日規則第 10 号)

この規則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 16 年 12 月 22 日規則第 10 号)

この規則は、公布の日から施行し、平成 16 年 4 月 1 日から適用する。

附 則 (平成 22 年 7 月 1 日規則第 5 号)

この規則は、平成 22 年 7 月 1 日から施行する。

別表第 1 (第 16 条関係) 改正 (平 16 規則第 10 号)

施 設 名	子局 番 号	設 置 場 所
屋 外 受 信 設 備	1	海士町大字福井 968 番地 4
	2	海士町大字福井 1,365 番地 4
	3	海士町大字福井 776 番地 15
	4	海士町大字福井 457 番 1
	5	海士町大字福井 419 番 3 地先
	6	海士町大字福井 1,489 番地 1
	7	海士町大字福井 277 番地 3
	8	海士町大字福井 362 番地 3
	9	海士町大字海士 159 番地 1
	10	海士町大字海士 943 番 1 地先
	11	海士町大字海士 6432 番地 8
	12	海士町大字海士 26 番地先
	13	海士町大字海士 1,509 番地 1
	14	海士町大字海士 1,490 番地
	15	海士町大字海士 1,089 番地 8
	16	海士町大字海士 2,458 番地 3
	17	海士町大字海士 3,435 番地
	18	海士町大字海士 2,946 番地 1
	19	海士町大字海士 2,678 番地
	20	海士町大字海士 5,417 番地 1
	21	海士町大字海士 4,392 番地
	22	海士町大字海士 4,547 番地
	23	海士町大字海士 3,698 番地
	24	海士町大字海士 3,976 番地 1
	25	海士町大字海士 3,967 番地 5
	26	海士町大字海士 4057 番地 1 地先
	27	海士町大字海士 4,301 番地 1
	28	海士町大字宇受賀 202 番地 1
	29	海士町大字宇受賀 699 番地 1
	30	海士町大字宇受賀 338 番地 3
	31	海士町大字宇受賀 4,919 番地 1
	32	海士町大字宇受賀 26 番地 2
	33	海士町大字宇受賀 222 番地 9
	34	海士町大字豊田 146 番地 5
	35	海士町大字豊田 48 番地 1
	36	海士町大字知々井 498 番地
	37	海士町大字知々井 1,589 番地 10
	38	海士町大字御波 20 番地 5
	39	海士町大字御波 2,175 番地 1
	40	海士町大字御波 1,047 番地 1
	41	海士町大字崎 1,749 番地
	42	海士町大字崎 135 番地 11
	43	海士町大字御波 554 番地 3 地先
	44	海士町大字御波 429 番地 4
共 同 受 信 用 局 親		海士町大字崎 1,518 番地 1
		海士町大字崎 1,748 番地
		海士町大字崎 1,530 番地 3
		海士町大字崎 135 番地 9
非 常 時 用 線 第 2 空 中		海士町大字崎 1,666 番地 7

別表第2（第17条関係） 改正（平22規則第5号）

種 別	呼 出 名 称	設 置 場 所
基地局	ぼ う さ い あ ま	海士町大字海士1490番地
陸 上 移動局	あ ま 102	車載型（住民生活課）（7-25）
	あ ま 104	車載型（総 務 課）（10-02）
	あ ま 106	車載型（環境整備課）（5-24）
	あ ま 107	車載型（環境整備課）（31-26）
	あ ま 108	車載型（総 務 課）（73-50）
	あ ま 109	車載型（健康福祉課）（44-09）
	あ ま 111	車載型（消 防 車）（82-97）
	あ ま 201	可搬型（無線室）
	あ ま 202	可搬型（無線室）
	あ ま 301	携帯型（無線室）

(資料5)

島根県避難勧告等情報伝達連絡会規約

(目的)

第1条 島根県避難勧告等情報伝達連絡会(以下「連絡会」という。)は、県、市町村と放送事業者との間で普段から情報交換を行うことにより、災害時に避難準備(要援護者避難)情報、避難勧告及び避難指示が住民に迅速かつ確実に伝わることを目的とする。

(構成)

第2条 連絡会は、別表に掲げる機関をもって構成することとし、それぞれ委員及び連絡責任者を定めるものとする。

(会長)

第3条 連絡会に会長を置くものとし、島根県総務部消防防災課長をもってあてる。

(会長の職務、権限等)

第4条 会長は連絡会を代表し、会務を統轄する。

(連絡会の開催)

第5条 連絡会は、会長が、必要があると認める時に開催する。

(会務)

第6条 連絡会は、第1条の目的を達成するために次の各号に掲げる事項の連絡調整を行う。

- (1) 伝達する避難勧告、避難指示の内容
- (2) 市町村もしくは県から放送事業者への情報伝達方法
- (3) 情報伝達に用いる様式
- (4) 関係者連絡先

(情報伝達の方法)

第7条 避難勧告等の伝達方法については別に定める。

(事務局)

第8条 連絡会の事務を処理するため、島根県総務部消防防災課防災グループに事務局を置く。

附 則

この規約は、平成17年7月15日から実施する。

附 則

この規約は、平成18年4月19日から実施する。(平成18年4月19日一部改正)

附 則

この規約は、平成20年2月5日から実施する。(平成20年2月5日一部改正)

(資料6)

避難勧告等情報伝達に関する申し合わせ

(目的)

第1条 この申し合わせは、島根県避難勧告等情報伝達連絡会規約第7条に基づき、災害時の避難勧告等の情報伝達について必要な事項を定めるものとする。

(対象となる情報)

第2条 対象となる情報（以下「情報」とする。）は下記のとおりとする。

(1) 避難勧告、避難指示及び避難準備（要援護者避難）情報（以下「避難準備情報」という。）の発表

①災害対策基本法（以下「法」という。）第60条第1項に基づき市町村長が行う避難勧告及び避難指示

②法第60条第5項に基づき島根県知事が行う避難勧告及び避難指示

③市町村長が地域防災計画に基づき発令する避難準備情報

(2) 避難勧告、避難指示及び避難準備情報の解除

①法第60条第4項に基づき市町村長が行う避難勧告及び避難指示の解除

②法第60条第5項に基づき島根県知事が行う避難勧告及び避難指示の解除

③市町村長が地域防災計画に基づき発令する避難準備情報の解除

(情報の内容)

第3条 前条で定めた情報の内容は下記項目のとおりとする。

(1) 避難勧告、避難指示及び避難準備情報の発表

(2) 避難勧告、避難指示及び避難準備情報の解除

(3) 対象地区

(4) 発表時間

(5) 対象人数

(6) 対象世帯数

(7) 発表事由

(8) 必要であれば避難先

(伝達手段)

第4条 情報は別紙1で定めた様式で防災行政無線FAXにより伝達することを原則とし、必要な場合はFAX送信について電話で確認することとする。

(情報伝達系統)

第5条 情報伝達系統は別紙2のとおりとする。

(住民への伝達)

第6条 放送事業者は、市町村（場合によっては島根県防災危機管理課）から情報のFAXを受信した場合は住民に周知するため、自主的な判断により放送するよう努めることとする。

<別紙1>

各放送事業者、県防災担当地方機関 あて

避難勧告等発表情報 第 号**島根県 市・町・村****送付日時： 月 日 時 分**

担当者： 電話番号：（ ） ー

内 容	<input type="checkbox"/> 避難準備情報 <input type="checkbox"/> 避難勧告 <input type="checkbox"/> 避難指示 <input type="checkbox"/> 避難準備情報解除 <input type="checkbox"/> 避難勧告解除 <input type="checkbox"/> 避難指示解除			
発表時間	日	時	分	
対象地区・人数	町	地区	世帯	人
発表事由	<input type="checkbox"/> 大雨により河川の氾濫、家屋の浸水の危険があるため <input type="checkbox"/> 大雨により土砂災害の危険があるため <input type="checkbox"/> 地震により土砂災害の危険があるため <input type="checkbox"/> 地震により家屋崩壊の危険があるため <input type="checkbox"/> 津波警報が発表されたため <input type="checkbox"/> その他（ ）			
避難先				
備 考				

内 容	<input type="checkbox"/> 避難準備情報 <input type="checkbox"/> 避難勧告 <input type="checkbox"/> 避難指示 <input type="checkbox"/> 避難準備情報解除 <input type="checkbox"/> 避難勧告解除 <input type="checkbox"/> 避難指示解除			
発表時間	日	時	分	
対象地区・人数	町	地区	世帯	人
発表事由	<input type="checkbox"/> 大雨により河川の氾濫、家屋の浸水の危険があるため <input type="checkbox"/> 大雨により土砂災害の危険があるため <input type="checkbox"/> 地震により土砂災害の危険があるため <input type="checkbox"/> 地震により家屋崩壊の危険があるため <input type="checkbox"/> 津波警報が発表されたため <input type="checkbox"/> その他（ ）			
避難先				
備 考				

(注) 該当する項目の「□」にはっきりとチェックを入れること。

(H25.4月現在)

<別紙2>

情報伝達系統図



(資料 7)

島根県防災行政無線局

無線局の区分		機関名		識別信号	施設場所	備考
統制局	県	島根県庁		ぼうさい	松江市殿町 1 番地 島根県庁内	
	関係機関	松江赤十字病院		しまねけんちょう	松江市母衣町 200 番地	県庁局 内線
隠岐	合庁局	県	隠岐合庁局	ぼうさい	隠岐郡隠岐の島町港町 字塩口 24 島根県隠岐合庁舎内	
	多重局	県	島前集合	ぼうさい どうぜんしゅうごう	隠岐郡西ノ島町別府字 飯田 56-17	
	端末局	町	海士町	ぼうさい あま	隠岐郡海士町海士 1490 番地	
		関係機関 (消防)	隠岐広域連合 消防本部	ぼうさい おきしょうぼう	隠岐郡隠岐の島町城北 町 163	
	携帯局 (車載)	県	隠岐支庁県民局	隠岐合庁 1	隠岐郡隠岐の島町港町 塩口 24 島根県隠岐合庁舎内	端末型 半固定
				おき 1		
			隠岐支庁農林局	おき 2		
			隠岐支庁隠岐保健所	おき 3		
			隠岐支庁県土整備局	おき 4		
				おき 5		
				おき 6		
			隠岐支庁県民局	おき 7		災害時 連絡用
				おき 8		災害時 連絡用
				おき 9		災害時 連絡用
				おき 10		災害時 連絡用
			隠岐支庁県土整備局 島前事業部	島前集合 1	隠岐郡西ノ島町別府字 飯田 56-17	端末型 半固定
				どうぜん 1		
				どうぜん 2		

(資料 8)

一 般 無 線 局

所属	所在地・電話番号・責任者	通信先	種別
隠岐海上保安署	隠岐郡隠岐の島町東町宇屋ノ下 99-2 08512-2-4999 隠岐海上保安署長	海上保安庁 所属船との間	携 帯 基地局
隠岐広域連合 隠岐島消防署	隠岐郡海士町大字海士 1483 08514-2-1119 海士出張所	隠岐島管内	固定局 (基地共用)
浦郷警察署	隠岐郡西ノ島町大字浦郷字蛸崎 218-4 08514-6-0121 浦郷警察署長	県下一円	固定局
			移動局
J F しまね 西郷支所	隠岐郡隠岐の島町西町八尾の一-62 08512-2-1431 J F しまね西郷支所長	漁船との間	漁 業 湾岸局
J F しまね 中村支所	隠岐郡隠岐の島町秦 779 08512-4-0211 J F しまね中村支所長	漁船との間	漁 業 湾岸局
J F しまね 浦郷支所	隠岐郡西ノ島町大字浦郷 544-15 08514-6-0201 (昼) 08514-6-0204 (夜) J F しまね浦郷支所長	漁船との間	漁 業 湾岸局
海士町漁業 協同組合	隠岐郡海士町大字福井 776-17 08514-2-1333 海士町漁業協同組合長	漁船との間	漁 業 湾岸局

(資料 9)

地域衛星通信ネットワーク地球局一覧

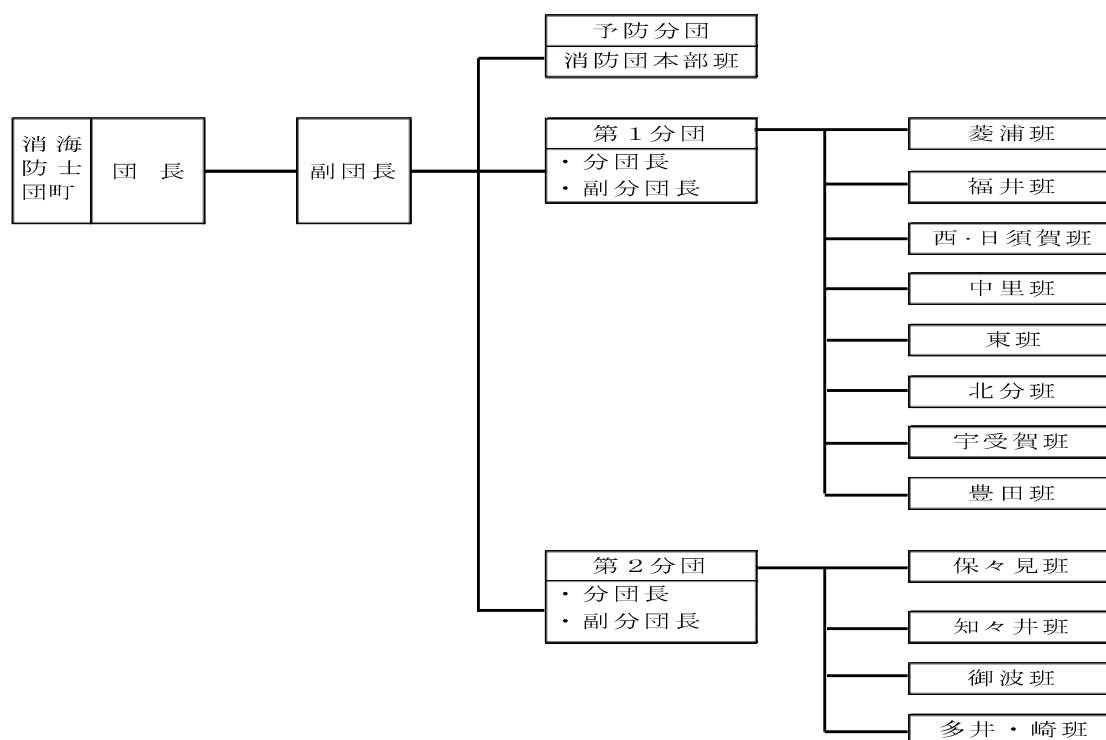
【隠岐管内】		
区分	識別信号	設備機関・場所
県機関	SCCじちたいしまねけん しまねかはんちきゅうきょく V95	隠岐合同庁舎 隠岐の島町港町字塩口 24
	SCCじちたいしまねけん しまねかはんちきゅうきょく V85	隠岐支庁県土整備局島前事業部 西ノ島町別府字飯田 56-17
市町村・消防	SCCじちたいしまねけん しまねかはんちきゅうきょく V112	海士町役場 海士町海士 1490 番地
	SCCじちたいしまねけん しまねかはんちきゅうきょく V74	隠岐広域連合消防本部 隠岐の島町城北町 163 番地
関係機関	SCCじちたいしまねけん しまねかはんちきゅうきょく V58	浦郷警察署 西ノ島町大字浦郷 218 番地 4
	SCCじちたいしまねけん しまねかはんちきゅうきょく V72	隠岐広域連合隠岐病院 隠岐の島町城北町 355 番地
車載・可搬	SCCじちたいしまねけん しまねかはんちきゅうきょく V1	車載局
	SCCじちたいしまねけん しまねかはんちきゅうきょく V8	可搬局 1
	SCCじちたいしまねけん しまねかはんちきゅうきょく V9	可搬局 2
	SCCじちたいしまねけん しまねかはんちきゅうきょく V10	可搬局 3

3. 消防団施設整備状況

(平成 20 年 4 月 1 日現在)

施 設 名		設 備 数
ポンプ等	水槽付消防ポンプ自動車	1 台
	小型動力ポンプ付積載車	1 2 台
	小型動力ポンプ	3 台
水 利	防火水槽 (40 m ³ 以上)	2 2 台

4. 海士町消防団 組織図



・海士町消防団の組織に関する規則 第2条 別表

区分	団長	副団長	分団		班	
海士町 消防団 (117 名)	団長 1	副団長 1	消防団本部 (12 名)			12
			第 1 分団 (69 名)	分団長 1 副分団長 1	菱 浦	10
					福 井	7
					西・日須賀	9
					中 里	10
					東	10
					北 分	7
					宇 受 賀	7
					豊 田	7
			第 2 分団 (34 名)	分団長 1 副分団長 1	保 々 見	7
					知 々 井	7
					御 波	7
					多 井・崎	11

5. 地区火災時における出動体制

地 区 別 出 動 班 表

平成 18 年 8 月 1 日 施行

火災発生 地区	第 1 出 動				第 2 出 動	第 3 出 動
菱浦	本部班 12	／ 中里班 10	／ 菱浦班 10	／ 福井班 7	北分班/東班/西・日須賀班	全班
福井	本部班 12	／ 中里班 10	／ 福井班 7	／ 西・日須賀班 9	菱浦班/御波班/宇受賀班	全班
西	本部班 12	／ 中里班 10	／ 西・日須賀班 9	／ 福井班 7	菱浦班/東班/御波班	全班
中里	本部班 12	／ 中里班 10	／ 菱浦班 10	／ 福井班 7	西・日須賀班/東班/北分班	全班
東	本部班 12	／ 中里班 10	／ 東班 10	／ 豊田班 7	宇受賀班/北分班/福井班	全班
北分	本部班 12	／ 中里班 10	／ 北分班 7	／ 宇受賀班 7	東班/豊田班/菱浦班	全班
宇受賀	本部班 12	／ 中里班 10	／ 宇受賀班 7	／ 北分班 7	東班/豊田班/菱浦班	全班
豊田	本部班 12	／ 中里班 10	／ 豊田班 7	／ 東班 10	宇受賀班/北分班/保々見班	全班
保々見	本部班 12	／ 中里班 10	／ 保々見班 7	／ 知々井班 7	御波班/豊田班/西・日須賀班	全班
知々井	本部班 12	／ 中里班 10	／ 知々井班 7	／ 保々見班 7	御波班/豊田班/西・日須賀班	全班
御波	本部班 12	／ 中里班 10	／ 御波班 7	／ 知々井班 7	保々見班/西・日須賀班/多井・崎班	全班
多井	本部班 12	／ 中里班 10	／ 多井・崎班 11	／ 御波班 7	西・日須賀班/福井班/知々井班	全班
崎	本部班 12	／ 中里班 10	／ 多井・崎班 11	／ 御波班 7	西・日須賀班/福井班/知々井班	全班
日須賀	本部班 12	／ 中里班 10	／ 西・日須賀班 9	／ 福井班 7	御波班/菱浦班/宇受賀班	全班

※本部班と中里班は全町第 1 出動とする。

平成 27 年度 各班の定数表 【() 内は実人数】

菱浦班	10	(9)	豊田班	7	(7)
福井班	7	(7)	保々見班	7	(7)
西・日須賀班	9	(9)	知々井班	7	(7)
中里班	10	(8)	御波班	7	(7)
東班	10	(10)	多井・崎班	11	(11)
北分班	7	(6)	本部班	12	(11)
宇受賀班	7	(7)	幹部	6	(6)
			合計	117	(112)

(資料 11)

雨量観測所一覧

島根県（土砂災害予警報システム関係（砂防課所管））

水系名	観測所名	所在地		施設管理者名	観測者名	電話番号	観測方法
		市町村	大字等				
諏訪川	海士	海士町	海士	隠岐支庁	隠岐支庁	08512 2-9734	テレメーター

海士町

水系名	観測所名	所在地		施設管理者名	観測者名	電話番号	観測方法
		市町村	大字等				
諏訪川	海士	海士町	海士	海士町	海士町役場	08514 2-0111	テレメーター

(資料 12)

町道一覧

※路線認定調書より作成

1/21

路線 番号	路 線 名	起 点 終 点	か ら ま で	延長 m	幅員 最大 最少
0001	宇受賀線	大字海士1492-1 大字宇受賀698		3,173.29	11.0 3.70
0002	豊 田 線	大字海士2762-1 大字豊田30-1		3,251.98	12.40 3.10
0003	中里・知々井線	大字海士1243-5 大字知々井1243-1		4,256.80	11.0 4.00
0004	崎・多井線	大字崎1530-1 大字崎1238		2,378.88	8.30 4.10
0005	多井・御波線	大字崎1092 大字御波805		2,775.36	10.00 2.90
0051	長 崎 線	大字海士4977 大字宇受賀341-1		774.85	7.20 3.20
0052	北分線	大字海士3426-3 大字海士4377		1,178.42	6.30 1.00
0053	西ノ原線	大字海士1456-1 大字海士91-4		1,808.97	9.50 4.30
0054	青 谷 線	大字崎1637-1 大字崎139-1		1,257.95	12.00 2.50
0055	中里・保々見線	大字海士1456-5 大字知々井929-1		2,187.67	9.70 3.20
0101	小 敷 線	大字豊田3347-2 大字豊田828		567.41	3.10 1.50
0102	豊田敷線	大字豊田484 大字豊田218-1		537.12	7.70 3.00
0103	野 田 線	大字豊田105 大字豊田197-1		494.2	7.30 3.90
0104	津ノ山干拓線	大字海士4390-1 大字海士4646-8		354.4	4.80 3.00
0105	鳥越中学校線	大字知々井1243-2 大字海士1140		2,239.47	1.70 0.80
0106	須賀線	大字御波455 大字御波478-2		415.11	4.90 3.40

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

2/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延長 m	幅員 最大 最少
0107	那久奥線	大字御波554 大字御波1091	1,082.21	4.10 0.90
0108	諏訪・布施線	大字海士1062-9 大字御波143-10	4,050.95	7.00 2.60
0109	崎 線	大字崎1732-3 大字崎1712-1	333.38	6.20 2.70
0110	国 原 線	大字海士421 大字御波490	2,025.50	7.00 1.80
0112	今井・知々井線	大字海士1398 大字海士1186	2,441.24	6.50 0.80
0113	上 方 線	大字御波219-1 大字御波720-3	1,107.62	2.30 1.00
0114	多井1号線	大字崎89-5 大字御波722-5	1,574.43	4.20 1.00
0115	天 川 線	大字知々井765 大字知々井763-3	768.62	2.90 0.60
0116	灘屋小路線	大字豊田3-1 大字豊田21	78.67	2.10 1.80
0117	門根・野田線	大字豊田721-1 大字豊田18-1	613.10	2.90 0.90
0118	野田の上墓地線	大字豊田98-1 大字豊田96	52.67	2.00 0.80
0119	豊田避病院線	大字豊田98-1 大字豊田231	163.87	4.00 2.70
0120	奥小路線	大字豊田218-1 大字豊田231	49.94	3.20 2.80
0121	奈伎良比売神社線	大字豊田489 大字豊田177-1	224.44	4.60 2.00
0122	門屋海岸線	大字豊田113-1 大字豊田114	45.16	0.70 0.70
0123	豊田敷海岸線	大字豊田200 大字豊田201-2	112.04	7.50 3.00

■延長：総延長 幅員：道路部幅員

3/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延長 m	幅員 員	最大 最少
0125	敷・奥田線	大字豊田170-9 大字豊田429	111.00		1.90 0.70
0126	奥田・清水線	大字豊田411 大字豊田360-6	386.75		4.60 0.70
0127	豊 子 線	大字宇受賀5-1 大字宇受賀31-2	328.99		8.50 3.90
0128	峯墓地線	大字宇受賀38 大字宇受賀73	106.33		2.40 1.70
0129	前田空線	大字宇受賀229-2 大字宇受賀195-2	331.20		12.80 3.20
0130	宇受賀谷線	大字宇受賀222-3 大字宇受賀242-1	95.80		5.50 3.60
0131	宇受賀浜線	大字宇受賀692 大字宇受賀690	155.37		13.80 4.00
0132	大津・吉津線	大字海士4245 大字海士4054-2	919.21		6.70 4.00
0133	佐々木線	大字海士4502-1 大字海士4474-1	810.77		8.00 3.00
0134	吉津・中里線	大字海士4033 大字海士1898-1	462.70		7.30 0.90
0135	大津・菅沢線	大字海士4347-2 大字海士3737-2	633.21		5.50 1.00
0136	大津・上佐々木線	大字海士4248-1 大字海士4263	87.86		2.40 2.20
0137	諏訪・大津線	大字海士4348-1 大字海士1433	1,616.30		8.40 3.80
0138	長 田 線	大字海士4881-3 大字海士4493-1	246.53		4.90 1.90
0139	大津・小田線	大字海士4394-5 大字海士4789	542.98		11.00 1.30
0140	上坂小路線	大字海士4373-12 大字海士4594-1	68.95		2.40 2.40

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

4/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延長 m	幅員 最大 最少
0141	奥 東 線	大字海士2678-1 大字海士2725	318.57	4.70 2.80
0142	高 石 線	大字海士2711-2 大字海士5414-1	1,487.59	2.40 0.50
0143	天神原線	大字海士253-5 大字海士2504-3	76.24	2.60 2.30
0144	高木線	大字海士2475 大字海士2479-2	162.73	3.30 0.90
0145	野屋小路線	大字海士2483-1 大字海士2574-1	190.53	3.50 2.10
0146	川崎小路線	大字海士2517 大字海士2417-1	79.90	3.00 2.10
0147	福松屋小路線	大字海士2672-2 大字海士2651	51.00	5.50 2.40
0148	寺坂墓地線	大字海士2722 大字海士2763-2	197.66	3.80 0.50
0150	神 崎 線	大字海士2626 大字海士2722	148.40	5.80 2.20
0151	上原小路線	大字海士2641 大字海士2706-1	75.74	5.10 3.00
0152	小 原 線	大字海士2770 大字海士2755	87.69	4.00 2.00
0153	今井・井の元線	大字海士1199-2 大字海士1132-1	667.37	1.00 0.80
0154	尾崎・石井線	大字海士1834-2 大字海士1690	252.18	3.50 2.00
0156	吉 田 線	大字海士1500 大字海士1923-10	191.48	4.30 3.00
0157	森 線	大字海士1918 大字海士1911	60.89	9.00 3.60
0158	森1号線	大字海士192 大字海士1919	115.32	3.70 2.90

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

5/21

路線番号	路 線 名	起 点 終 点	から まで	延 長 m	幅員 最大 最少
0159	今井・御神尻線	大字海士1369 大字海士1461-1		316.04	5.80 4.00
0160	源福寺前線	大字海士1544 大字海士1310		85.41	2.50 1.00
0161	中村前線	大字海士1378 大字海士1378		16.45	2.70 2.70
0162	諏訪後線	大字海士1425-1 大字海士1004		233.40	7.00 4.00
0163	郡山・路久線	大字海士1089-43 大字海士2417-1		412.18	5.50 2.40
0164	郡山1号線	大字海士1089-39 大字海士1089-7		229.01	4.70 2.50
0165	郡山2号線	大字海士1089-5 大字海士1089-7		65.29	5.70 3.40
0166	今 井 線	大字海士1365-4 大字海士5931		420.08	5.10 1.50
0167	御神尻線	大字海士1634-1 大字海士5869		662.16	5.00 0.50
0168	福井浜線	大字福井340-5 大字海士1060-1		679.88	11.60 6.00
0169	井の元・丸山線	大字海士498 大字海士274		453.96	6.80 1.50
0170	西塔寺線	大字海士243-2 大字海士6211-2		367.33	8.50 2.00
0171	釜 出 線	大字海士162-1 大字海士88		406.81	5.60 0.70
0172	福井・西線	大字福井203-2 大字海士187-2		320.78	6.10 4.30
0173	西寺社線	大字海士943 大字海士930-2		53.88	3.30 2.40
0174	井の元線	大字海士718 大字海士915		175.64	5.20 1.30

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

6/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延長 m	幅員 員	最大 最少
0175	河内小路線	大字海士884 大字海士832	322.84		3.30 2.20
0176	佃屋前線	大字海士737 大字海士747	139.51		2.30 1.10
0177	矢 原 線	大字海士55 大字海士2-1	236.29		5.50 2.80
0178	菊屋小路線	大字海士16 大字海士44	53.82		2.70 2.30
0179	日ノ津物揚場線	大字海士6449-7 大字海士6432-2	96.75		6.30 3.50
0180	今井墓地線	大字海士1183-2 大字海士1186-1	74.09		3.20 2.00
0182	郡崎小路線	大字福井126-1 大字福井133	45.23		2.80 2.30
0183	上 口 線	大字福井205 大字福井235	127.97		3.40 2.30
0184	千歳小路線	大字福井222-5 大字福井222-4	31.92		3.10 2.50
0185	福井中学校線	大字福井185-1 大字海士372	509.2		3.70 1.70
0186	神社前墓地線	大字福井273-3 大字福井265	68.25		3.30 1.50
0187	門脇小路線	大字福井128-2 大字福井128-1	18.66		2.00 1.00
0188	中 組 線	大字福井138 大字福井219-2	35.63		2.50 1.10
0189	村上墓地線	大字福井252-4 大字福井242-3	202.93		3.10 1.00
0190	吉 元 線	大字福井287-4 大字福井266-5	75.19		4.80 3.00
0191	花屋小路線	大字福井275-1 大字福井277-1	42.51		2.50 2.20

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

7/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延 長 m	幅員 最大 最少
0192	伊野・大石線	大字福井776-12 大字福井715-1	406.90	9.80 2.80
0193	伊野小路線	大字福井816-1 大字福井784-2	26.27	2.70 2.30
0194	伊野墓地線	大字福井855-2 大字福井802-1	161.89	3.40 1.60
0195	倉屋通線	大字福井877 大字福井866	71.35	1.70 1.50
0196	藤山通線	大字福井942-1 大字福井940-1	60.19	2.50 1.50
0197	井 尻 線	大字福井945-1 大字福井946-2	328.10	7.20 3.30
0198	笹屋小路線	大字福井963-2 大字福井979	260.92	3.50 3.00
0199	菱神社線	大字福井969 大字福井1164-1	207.60	4.70 1.90
0200	家督山線	大字福井1210-1 大字福井1685	970.31	2.10 1.00
0201	山木屋小路線	大字福井1231-2 大字福井976-3	36.25	1.60 1.60
0202	中新屋小路線	大字福井1232-1 大字福井1225	25.66	1.50 1.40
0203	出羽屋小路線	大字福井1249-3 大字福井1240-1	60.54	1.60 1.20
0204	柳谷墓地線	大字福井1230-2 大字福井1177-1	229.13	7.50 1.30
0205	伏見屋小路線	大字福井1263-1 大字福井1263	20.70	2.60 2.60
0206	松浦小路線	大字福井1269-1 大字福井1287-1	128.50	6.80 3.00
0207	二浦墓地線	大字福井1282-1 大字福井1301	152.03	2.10 1.20

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

8/21

路線番号	路 線 名	起 点 終 点	から まで	延 長 m	幅員	最大 最少
0208	京屋側通豪	大字福井1308 大字福井1271-3		77.97		1.50 1.20
0209	先灘小路線	大字福井1333 大字福井1334-1		29.61		1.40 1.40
0210	高 校 線	大字福井1340-2 大字福井1300-1		440.83		4.80 3.30
0211	前田海岸線	大字福井968-1 大字福井968-10		40.50		3.50 2.90
0212	二浦海岸線	大字福井1767-1 大字福井1267		31.01		5.70 4.10
0213	横 畑 線	大字福井455 大字福井484-3		508.68		7.00 4.20
0214	大阪横手線	大字海士5912 大字海士5899-1		212.57		1.20 1.00
0215	学校前線	大字海士3427-4 大字海士3427-1		78.95		4.80 2.60
0216	田の浦線	大字御波1091 大字御波1099		145.49		6.50 2.70
0217	田の浦小路線	大字御波1099 大字御波1106-1		101.27		4.00 1.80
0218	祝ヶ谷線	大字崎1647-7 大字崎1652-1		60.56		3.60 2.00
0219	祝ヶ谷1号線	大字崎1644-5 大字崎1646-1		93.09		3.00 1.00
0220	清水小路線	大字崎1732-3 大字崎1737-2		104.13		7.00 1.50
0221	戸野川谷線	大字崎1748 大字崎1731-2		65.10		3.50 1.70
0222	谷 線	大字崎1728-1 大字崎1470-5		62.23		2.60 2.20
0223	戸野川・大石の元線	大字崎1667-1 大字崎1668		23.63		2.30 2.30

■延長：総延長 幅員：道路部幅員

9/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延 長 m	幅員 員	最大 最少
0224	富浜小路線	大字崎1729-2 大字崎1723-3	99.53		8.30 3.20
0225	柿谷小路線	大字崎1722-1 大字崎1714	129.14		5.50 2.30
0226	原 線	大字崎1698 大字崎1690-1	60.75		4.00 3.10
0227	宿 乞 線	大字崎1709 大字崎1702	81.68		3.00 2.20
0228	宿乞1号線	大字崎1704-2 大字崎1708-2	14.05		3.80 3.30
0230	松 屋 線	大字崎14-2 大字崎6-7	144.69		5.80 2.50
0231	七 松 線	大字崎6-7 大字崎3-7	56.75		2.50 1.90
0232	梶浜小路線	大字崎13-1 大字崎13-7	30.68		2.20 1.60
0233	松屋1号線	大字崎14-10 大字崎6-5	70.71		3.50 1.50
0234	松屋2号線	大字崎1686 大字崎1689-3	97.18		5.00 2.40
0235	松屋小路線	大字崎13-2 大字崎12-2	43.75		2.00 1.90
0236	松屋小路1号線	大字崎8-1 大字崎8-1	94.66		1.00 0.90
0238	青谷・箱ノ浦線	大字崎139-1 大字崎550	578.26		4.80 1.60
0239	青谷小路線	大字崎131 大字崎113-4	126.35		3.10 1.40
0240	大空小路線	大字崎夏132 大字崎132-1	29.58		2.80 1.30
0241	播摩小路線	大字崎1415 大字崎1414-1	114.20		5.30 1.80

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

10/21

路線番号	路 線 名	起 終 点 点 から まで	延 長 m	幅 員	最大 最少
0242	東屋小路線	大字崎1406 大字崎1408-1	31.42		1.00 1.00
0243	石山小路線	大字崎1505 大字崎1517	46.69		1.90 1.10
0244	森 原 線	大字崎1555-6 大字崎1547-1	219.38		3.10 1.00
0245	小浦藤ヶ尾線	大字崎1506 大字崎1541-1	403.78		3.50 2.30
0246	崎学校線	大字崎1600-6 大字崎1538-1	76.68		5.50 3.90
0247	崎海岸線	大字崎1753 大字崎1715-1	173.84		6.00 2.80
0248	堤 線	大字崎1574-1 大字崎702	1,147.41		11.50 4.20
0249	多井・今井門線	大字崎1014 大字崎982-1	1,464.03		10.80 3.90
0250	多井小路線	大字崎1048 大字崎1071	88.80		4.50 2.30
0251	多井神社線	大字崎1067-1 大字崎1052-3	65.62		3.80 2.00
0252	多井小路1号線	大字崎1047-1 大字崎1069	123.16		3.90 1.20
0253	多井海岸線	大字崎1061 大字崎1243-1	145.13		5.30 2.40
0254	長 才 線	大字崎855-3 大字崎861-2	369.64		1.20 0.80
0255	今 浦 線	大字御波169-6 大字御波805	519.19		2.50 1.50
0256	松本屋小路線	大字御波193-1 大字御波198-1	61.22		2.20 1.80
0257	京屋小路線	大字御波183 大字御波189	22.10		2.40 2.10

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

11/21

路線番号	路線名	起 終	点 点	から まで	延長 m	幅員	最大 最少
0258	松岡小路線	大字御波766 大字御波764			46.09		0.90 0.70
0259	岸本屋小路線	大字御波234-1 大字御波231			86.91		1.80 1.30
0260	上田屋小路線	大字御波9 大字御波14			74.97		1.50 0.70
0261	二浦・御倉線	大字御波1269-1 大字御波91276			45.90		1.60 1.60
0262	太井大川線	大字御波2178-11 大字御波2175-2			195.50		2.80 1.40
0263	古小浦線	大字御波132-3 大字御波143			278.99		2.40 1.40
0264	浜線	大字御波159-1 大字御波146			89.18		2.80 1.70
0265	中線	大字御波159-1 大字御波154			48.30		1.30 1.00
0266	蓮生寺線	大字御波2177-3 大字御波2174-2			97.21		2.00 1.50
0267	塩入線	大字御波171-1 大字御波2174-2			84.00		1.80 1.50
0268	太井線	大字御波168-1 大字御波171-2			29.69		3.00 2.80
0269	桜本墓地線	大字御波2195 大字御波206			237.37		1.60 0.70
0270	古小浦・那須線	大字御波71-1 大字御波48			1,105.88		0.50 0.50
0271	加納屋小路線	大字知々井41 大字知々井39			30.17		3.40 1.50
0272	中上後小路線	大字知々井1628 大字知々井1631-1			61.12		1.80 1.10
0273	南小路線	大字知々井1593-1 大字知々井1578			65.87		3.50 2.00

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

12/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延 長 m	幅員 最大 最少
0274	乾燥場線	大字知々井1585 大字知々井1587-1	90.42	2.60 1.20
0275	松屋前海岸線	大字知々井1589-5 大字知々井1589-5	17.99	3.20 3.20
0276	若狭屋小路線	大字知々井1584 大字知々井1583	21.79	1.40 1.40
0277	谷小路線	大字知々井1574-1 大字知々井1543	235.02	3.40 0.80
0278	明石屋小路線	大字知々井1566 大字知々井1567	31.37	1.00 1.00
0279	手島小路線	大字知々井1576 大字知々井1581	90.39	1.90 1.50
0280	浜間屋後海岸線	大字知々井1652 大字知々井1650	64.88	2.90 2.00
0281	井上小路線	大字知々井1653 大字知々井1654	60.93	2.00 1.90
0282	喜佐屋前海岸線	大字知々井1663 大字知々井1663	34.06	2.30 2.00
0283	喜佐屋後線	大字知々井1664 大字知々井1664	52.75	2.10 1.10
0284	面屋前海岸線	大字知々井1671-1 大字知々井1671-1	12.58	2.20 2.20
0285	大隅海岸線	大字知々井1675 大字知々井1675	19.82	3.30 2.00
0286	高見小路線	大字知々井1666-3 大字知々井1667-1	37.93	1.80 1.80
0287	松新屋小路線	大字知々井1674 大字知々井1678-1	112.39	2.80 2.00
0288	高 滝 線	大字知々井1672-2 大字知々井100	139.83	2.00 1.00
0289	知々井海岸線	大字知々井1589-6 大字知々井1589-1	99.21	3.70 1.50

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

13/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延 長 m	幅員	最大 最少
0290	知々井海岸1号線	大字知々井1650 大字知々井1677	163.35		6.90 1.40
0291	脇田海岸線	大字知々井441 大字知々井405	112.24		10.30 4.10
0292	中西小路線	大字知々井442-3 大字知々井455	41.95		2.20 1.70
0293	保々見若狭屋小路線	大字知々井495 大字知々井487	66.18		2.20 2.10
0294	問屋小路線	大字知々井904 字知々井903	67.31		1.70 1.30
0295	中脇小路線	大字知々井925 大字知々井924-1	17.42		2.90 2.90
0296	古住屋小路線	大字知々井932 大字知々井923	55.59		2.30 1.90
0297	須賀・御波線	大字御波603 大字御波206-1	1,157.81		2.70 1.00
0298	今井門・加入道線	大字崎982-1 大字御波720-3	701.25		1.50 1.00
0299	豊田・岩敷線	大字豊田69 大字豊田693-1	825.33		3.40 2.00
0301	東金光寺線	大字海士5239-2 大字海士5326-1	1,103.78		9.00 2.00
0303	金屋・舟原線	大字海士3380-1 大字海士219-1	898.52		4.30 1.80
0304	池尻上小路線	大字海士5323 大字海士3066	323.25		2.00 1.40
0305	中屋敷小路線	大字海士3516-4 大字海士3552	267.64		3.30 1.20
0306	石井前線	大字海士2976 大字海士1861	125.82		7.80 4.00
0307	石井原1号線	大字海士1874 大字海士3532-2	70.41		3.30 3.10

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

14/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延 長 m	幅員	最大 最少
0308	中 黒 線	大字海士2333 字海士2252	529.45		4.90 2.00
0309	日 平 線	大字海士2324 大字海士5714	616.80		3.70 2.50
0310	日平・世賀幾田線	大字海士2054-1 大字海士2099-1	364.78		2.90 1.00
0311	豊子郷線	大字宇受賀15-1 大字宇受賀4919-3	511.71		7.30 4.00
0312	家の上・丹後線	大字海士444 大字海士6211-10	274.67		2.00 1.60
0313	丸山線	大字海士567 大字海士527	116.26		5.90 4.40
0315	前田2号海岸線	大字福井968-12 大字福井968-8	34.36		4.70 2.80
0316	諏訪・新開線	大字海士1444-1 大字海士1943-1	193.74		10.20 4.10
0317	宇受賀・豊田線	大字宇受賀409-1 大字豊田5045	1,108.93		5.70 1.80
0318	小舟・長崎線	大字海士579 大字宇受賀279-1	759.63		3.70 1.40
0319	長崎1号線	大字宇受賀299 大字宇受賀310-1	232.34		3.20 0.80
0320	丸山1号線	大字海士713-3 大字海士705-3	38.53		3.50 1.70
0321	石臼線	大字海士3669-3 大字海士1689	511.23		2.90 1.00
0322	小足1号線	大字海士3748-2 大字海士3124	403.21		3.80 0.80
0323	柿田・持苗線	大字海士5004-6 大字海士2606	1,068.63		3.80 2.50
0324	宮ノ前線	大字海士693-3 大字海士417	115.60		4.70 3.80

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

15/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延 長 m	幅員 最大 最少
0325	五間田線	大字海士666 大字海士636-1	191.91	3.10 1.50
0327	高職2号線	大字福井1162-1 大字福井1177-1	106.10	11.80 4.00
0328	第1保育所線	大字海士4965-1 大字海士4959-1	153.10	7.40 1.00
0329	知々井・保々見2号線	大字知々井1647-1 大字知々井442-3	1,053.78	3.10 0.80
0330	日佐久井線	大字海士2642 大字海士2648	101.31	3.60 2.90
0331	京賀島線	大字海士4107-1 大字海士4174-3	128.62	3.50 1.00
0332	岡田海岸線	大字福井770-3 大字福井770-5	31.96	2.90 1.90
0334	前田海岸櫛線	大字福井968-1 大字福井968-11	27.44	2.00 1.20
0335	豊子千歳線	大字宇受賀15-2 大字宇受賀13-1	13.95	2.20 2.10
0336	慶 照 線	大字福井362-1 大字福井373-1	57.32	4.50 3.30
0337	中の島海岸線	大字御波454 大字御波435	329.46	18.00 4.00
0338	散出墓地線	大字福井1304 大字福井1286	105.73	1.50 1.00
0339	菱・福井坂線	大字福井948-1 大字福井280	1,282.83	1.20 0.80
0341	津ノ山線	大字海士4665 大字海士4665-2	365.38	1.80 1.00
0342	津ノ山2号線	大字海士4665-3 大字海士4666-2	226.81	2.40 1.00
0343	原 前 線	大字海士4591 大字海士4590	52.79	3.30 2.40

■延長：総延長 幅員：道路部幅員

16/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延 長 m	幅員 最大 最少
0344	菱敷墓地線	大字海士4304 大字海士4304-2	89.94	1.80 1.00
0345	前田・菱敷線	大字海士4347-1 大字海士4363-1	203.21	1.60 1.00
0346	菱敷海岸線	大字海士4334-2 大字海士4334-2	27.10	6.30 3.00
0347	峯堂線	大字海士3671-1 大字海士3666-1	125.60	1.20 1.00
0348	菅沢線	大字海士3737-2 大字海士3701	334.35	8.50 4.00
0349	井の元・才の神線	大字海士814-3 大字海士6025-1	1,033.06	3.30 1.00
0350	天日墓地線	大字海士729-3 大字海士746	209.45	2.30 1.00
0351	梅屋小路線	大字海士740-3 大字海士748	107.03	2.50 1.00
0352	宮田神社線	大字福井2773 大字福井280	89.08	4.30 3.10
0354	高松小路線	大字海士36 大字海士47	65.73	3.10 2.60
0355	矢原奥墓地線	大字海士3 大字海士20	119.15	4.00 2.00
0356	日ノ津墓地線	大字海士6448-3 大字海士6448-1	41.34	1.00 0.60
0357	須賀・高峯線	大字御波558 大字御波603	528.28	1.20 0.80
0358	菖蒲先線	大字御波537-1 大字御波539	65.03	1.00 0.70
0359	堂盤屋小路線	大字御波541 大字御波537-1	14.23	1.30 0.60
0360	菖蒲平小路線	大字御波529 大字御波530-2	19.13	1.30 1.20

■延長：総延長 幅員：道路部幅員

17/21

路線番号	路 線 名	起 点 終 点	から まで	延 長 m	幅員	最大 最少
0361	家島小路線	大字御波527-3 大字御波509-3		91.09		1.90 1.40
0363	深田・須帰り線	大字宇受賀620 大字宇受賀631		379.65		1.70 0.80
0364	奥村横線	大字海士5039-1 大字海士5043-1		70.80		1.90 1.00
0365	番の木支線	大字宇受賀339-1 大字宇函賀345-1		133.10		2.80 2.10
0366	番の木線	大字海士5005-1 大字海士4950		173.32		1.20 0.50
0367	加志牙1号線	大字海士3482-3 大字海士3447		52.42		4.10 2.80
0368	客の峯線	大字海士4528-7 大字海士4529-3		42.92		1.10 1.00
0369	葉佐間支線	大字海士4523-1 大字海士4523-1		36.96		3.70 1.90
0370	大津空線	大字海士4476-3 大字海士4477		55.54		2.00 2.00
0371	葉佐間線	大字海士3636 大字海士3531		787.10		3.70 1.00
0372	片志和墓地線	大字海士2323-1 大字海士2241		159.21		4.50 1.00
0373	東・太井線	大字海士5741 大字御波2180-2		3,077.78		1.30 0.80
0374	太井・知々井線	大字御波2178-1 大字知々井2399		620.18		1.50 0.50
0375	太井・田中線	大字御波2177-3 大字御波2177-1		27.89		1.70 1.20
0376	赤石向墓地線	大字御波46 大字御波50		149.01		1.90 1.30
0377	御 波 線	大字御波50 大字御波206		269.58		1.00 0.70

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

18/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延 長 m	幅員	最大 最少
0378	小浦入口線	大字御波8 大字御波20-1	77.91		3.40 2.70
0379	赤石線	大字御波167-2 大字御波535	453.29		6.00 1.90
0380	布施・赤石線	大字御波159 大字御波157	72.24		1.40 1.00
0381	布施・赤石1号線	大字御波152-1 大字御波155-2	41.83		2.90 1.20
0382	田中線	大字御波165-1 大字御波162-1	66.78		6.00 4.00
0385	松の前線	大字崎904-2 大字崎1014	54.83		11.30 5.90
0386	川の本線	大字崎1041-2 大字崎1014	232.30		6.20 2.90
0387	松の前・川の本線	大字崎1022-1 大字崎1185-2	119.48		4.30 2.40
0388	川の本小路1号線	大字崎1133-1 大字崎1129-1	29.96		4.00 2.40
0389	多井小路2号線	大字崎1034 大字崎1041-2	114.71		4.80 2.40
0390	川の本小路線	大字崎1110-1 大字崎1110	41.93		2.00 1.80
0391	富田屋小路線	大字崎1088 大字崎1234-2	68.97		2.00 1.70
0392	多井・倉田線	大字崎1238 大字崎1274-1	654.70		6.40 1.10
0393	先墓々地線	大字崎1091-2 大字崎1234-2	99.29		2.10 1.30
0394	多井・崎線	大字崎1092 大字崎1394	1,256.27		3.20 0.30
0395	藤ヶ尾線	大字崎1600 大字崎1609	227.14		1.00 1.00

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

19/21

路線番号	路 線 名	起 点 から 終 点 まで	延 長 m	幅員 最大 最少
0396	寺道線	大字崎1666 大字崎1686	205.30	3.10 1.90
0397	松屋墓地線	大字崎16-2 大字崎8-1	130.13	1.90 1.00
0398	崎避病院線	大字崎20-2 大字崎9-3	147.93	1.30 0.50
0399	大野峯墓地線	大字崎1680 大字崎1679-2	51.40	1.60 0.50
0400	保々見海線	大字知々井9931 大字知々井935	127.07	8.50 5.20
0401	知々井避病院線	大字知々井154 大字知々井263	620.78	1.80 1.00
0402	新徳屋小路線	大字知々井101 大字知々井1677	38.13	2.10 1.10
0403	福中屋小路線	大字知々井1640 大字知々井1628-1	55.02	1.90 1.60
0404	北野神社線	大字知々井1627 大字知々井1623-2	75.85	3.70 2.60
0405	明屋線	大字豊田72-3 大字豊田49-2	138.66	7.90 4.20
0406	大中線	大字宇受賀689 大字宇受賀686	119.74	3.60 2.20
0407	新開線	大字海土1480-2 大字海土1473-6	229.30	5.00 3.00
0408	花水線	大字海土1134-2 大字海土1137	140.56	3.30 2.30
0409	平田線	大字海土4241 大字海土4243-2	98.77	3.20 2.50
0410	東上口線	大字海土2576-1 大字福井2768-3	713.05	5.40 3.20
0411	桑本側通線	大字福井968-10 大字福井943-4	32.35	4.40 3.00

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

20/21

路線番号	路線名	起 点 から 終 点 まで	延長 m	幅員	最大 最少
0412	高石1号線	大字海士2611-1 大字海士5247-2	2,892.17		8.00 4.00
0413	諏訪・豊田線	大字海士3966 大字海士3299	3,884.47		8.80 2.00
0414	榊原線	大字海士1072-3 大字海士1072-1	44.14		6.00 4.00
0415	多井・倉田1号線	大字崎1070-2 大字崎1274-1	471.95		7.40 5.00
0416	木路線	大字崎655-6 大字崎498-17	2,942.13		19.80 4.10
0417	木路支線	大字崎199-5 大字崎135-12	590.94		7.10 3.80
0418	宮の原宿乞線	大字崎1683-3 大字崎1718-4	567.08		8.00 4.30
0419	日須質康	大字御波387-1 大字御波554-3	1,325.71		17.30 4.20
0420	あいらんど1号線	大字海士1946-16 大字海士4012-3	454.44		12.30 4.20
0421	あいらんど2号線	大字海士3967-8 大字海士3964	385.91		6.80 4.00
0422	なぎら岩田線	大字豊田198-1 大字豊田495-8	213.61		4.90 3.90
0423	豊田今津線	大字豊田154-13 大字豊田155-4	60.67		4.90 3.60
0427	太田小路線	大字海士1524-8 大字海士1524-4	54.10		4.80 3.00
0428	代官屋小路線	大字宇受賀334-1 大字宇受賀231-4	50.20		8.10 3.00
0429	家督線	大字福井1375-2 大字福井419-13	4,029.00		7.00 4.00
0430	家督支線	大字福井1220-1 大字福井1207-5	360.70		7.40 3.50

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

21/21

路線番号	路線名	起 終 点 から まで	延長 m	幅員 最大 最少
0431	家督福井線	大字福井103-4 大字福井1749-2	447.30	7.70 4.20
0432	恵比寿線	大字福井776-17 大字福井765-4	216.30	10.40 4.90
0433	宮の原線	大字宇受賀419-4 大字宇受賀420-2	203.60	9.50 4.50
0434	新開2号線	大字海士1897-1 大字海士1947-2	470.40	9.70 5.70
0435	日ノ津・七尋女房線	大字海士6461-1 大字海士6426-1	522.00	6.50 3.50

■延長:総延長 幅員:道路部幅員

海士の指定文化財一覧表

	分類	指定番号	名称	所在地	所有者住所及び氏名	指定年月日	備考
国 指 定	記・天		クロキジタ	海士町福井(菱浦港) 島根県海士郡、大字福井菱浦湾ヨリ西南 方茅崎島ヲ見通シタ線内ノ海面	海士町大字福井 菱浦港	大正 11 年 3 月 8 日	
	有・考	考第 12 号	銅 剣	島根県立古代出雲歴史博物館(貸出中)	海士町大字海士 1490 海士町教育委員会	昭和 47 年 3 月 31 日	一口
県 指 定	有・工	工第 10 号	太刀銘国光	海士町大字海士 1784 番地	海士町大字海士 1785 隠岐神社	昭和 38 年 7 月 2 日	一振
	有・彫	彫第 8 号	木造聖観音菩薩立像	海士町大字知々井 772 番地	海士町大字知々井 773 清水寺	昭和 39 年 5 月 26 日	一 軀
町 指 定	無・民	芸第 8 号	隠岐島前神楽	海士町大字福井 959 番地 5	保存会代表 石塚芳秀	昭和 36 年 6 月 13 日	認定者 17 名
	記・史	史第 1 号	東 古 墳	海士町大字海士 2678 番地	海士町大字海士 2673-3 村井正治	平成 9 年 7 月 10 日	一 所
	無・民	芸第 1 号	承 久 楽	海士町大字海士 1475 番地 10	海士町大字海士 1475-10 松枝初枝	平成 9 年 7 月 10 日	
	無・民	芸第 2 号	恵比須繁の風流 (だんじり)	海士町大字崎 崎 区	だんじり保存会 代表 清水昭一	平成 9 年 7 月 10 日	(九人)
	無・民	芸第 3 号	宇受賀命神社のあご石神事	海士町大字宇受賀 747 番地	海士町大字宇受賀 747 宇受賀命神社	平成 22 年 4 月 26 日	
	有・書	書第 1 号	大 般 若 經		海士町大字宇受賀 747 宇受賀命神社	平成 9 年 7 月 10 日	四三四卷
	有・書	書第 2 号	大 般 若 經	海士町大字海士 1521 番地 1 (海士町後鳥羽院資料館)	海士町大字海士 1723-2 源福寺	平成 9 年 7 月 10 日	二百八卷
	有・書	書第 3 号	源福寺隠岐院額			平成 9 年 7 月 10 日	一 個
	有・工	工第 1 号	台子皆具一式		海士町大字海士 1784 隠岐神社	平成 9 年 7 月 10 日	一 式
	有・建	建第 1 号	宇受賀命神社本殿	海士町大字宇受賀 747 番地	海士町大字宇受賀 747 宇受賀命神社	平成 9 年 7 月 10 日	一 棟
	有・建	建第 2 号	隠岐神社社殿	海士町大字海士 1784 番地	海士町大字海士 1784 隠岐神社	平成 9 年 7 月 10 日	一 棟
	有・建	建第 3 号	村上助九郎邸	海士町大字海士 1700 番地 2	海士町大字海士 1490 海士町	平成 9 年 7 月 10 日	母屋一棟
	有・古	古第 1 号	紙本墨書 金光寺縁起書	海士町大字海士 1521 番地 1 (海士町後鳥羽院資料館)	海士町大字海士 5317-2 金光寺(東区)	平成 9 年 7 月 10 日	一 卷
	有・彫	彫第 1 号	狛犬(内藤 伸 作)		海士町大字海士 1784 隠岐神社	平成 9 年 7 月 10 日	一 対
	有・彫	彫第 2 号	教海寺流仏	海士町大字海士 4655 番地 2	海士町大字海士 4655-2 北分区	平成 9 年 7 月 10 日	十二 軀
	有・彫	彫第 3 号	木造矜羯羅童子像		海士町大字海士 5317-2 金光寺(東区)	平成 9 年 7 月 10 日	一 軀
	有・彫	彫第 4 号	木造制鷲迦童子像			平成 9 年 7 月 10 日	一 軀

分類	指定番号	名称	所在地	所有者住所及び氏名	指定年月日	備考
有・彫	彫第 5 号	木造如来形坐像	海士町大字海士 55 番地	海士町大字海士 55 安国寺	平成 9 年 7 月 10 日	一 鉢
	彫第 6 号	木造大日如来形坐像			平成 9 年 7 月 10 日	一 鉢
	天第 1 号	オオバグミ林	海士町大字豊田抗美鶴一帯	海士町大字豊田	平成 9 年 7 月 10 日	一 群
	天第 2 号	イヌマキ	海士町大字豊田 489 番地	海士町大字豊田 489 番地 奈伎良比売神社	平成 9 年 7 月 10 日	一 株
	天第 4 号	オハツキイチョウ	海士町大字海士 4970 番地	海士町大字海士 4970 番地 海士町	平成 9 年 7 月 10 日	一 株
	天第 5 号	モチノキ	海士町大字海士 3563 番地	海士町大字海士 3563 番地 石井 洸	平成 9 年 7 月 10 日	一 株
	天第 6 号	ハマビワ	海士町大字豊田 30 番地 2	海士町大字豊田 26 番地 山根 健嗣	平成 9 年 7 月 10 日	一 株
	天第 7 号	イヌマキ	海士町大字海士 194 番地 1	海士町大字海士 196 番地 3 直塚治長	平成 9 年 7 月 10 日	一 株
有・工	天第 8 号	スギ	海士町大字福井 281 番地	海士町大字福井 281 番地 宮田神社	平成 9 年 7 月 10 日	一 株
	天第 9 号	北野神社の椿・銀杏・杉	海士町大字知々井 1618 番地	海士町大字知々井 1618 番地 北野神社	平成 9 年 7 月 10 日	椿一株 銀杏一株 杉一本
	天第 10 号	タケシマシシウド群落	海士町大字豊田 73 番地 3 から 561 番地 2	海士町大字海士 1490 番地 海士町	平成 9 年 7 月 10 日	一 群
	工第 2 号	隠岐神社蔵太刀(内訳)				
		刀 池田靖光 作				刀 十三振
		刀 貞重 作				
		刀 月山源貞一 作				
		刀 守次則利 作				
		刀 吉原国家 作				
		刀 堀井俊秀 作				
		刀 佐藤昭則 作				
		刀 宗光 作				太刀 一振
		刀 満鉄 作				脇差 一振
		刀 備後国田幸住政信 作				
		太刀 加藤真国祐国祐弘作				
		刀 源義宗 作		海士町大字海士 1784 隠岐神社	平成 9 年 7 月 10 日	
		刀 月山源貞光 作	海士町大字海士 1521 番地 1 (海士町後鳥羽院資料館)			

町 指 定

(資料 14)

災害危険区域等一覧

1. 海士町内土石流危険渓流一覧表(1)

○ 土石流危険渓流 (I) その 1

渓 流 番 号	水 系 名	河 川 名	渓 流 名	所 在 地		
				郡・市	町・村	字
2諏訪川―海士―001 I	諏訪川	諏訪川	諏訪川	隠岐郡	海士町	東
2諏訪川―海士―002 I	諏訪川	諏訪川	真奥川		海士町	東
2諏訪川―海士―003 I	諏訪川	諏訪川	清水川			東
2諏訪川―海士―004 I	諏訪川	諏訪川	郷川			東
2諏訪川―海士―005 I	諏訪川	諏訪川	諏訪川左支溪			海士・中里
2諏訪川―海士―006 I	諏訪川	諏訪川	御神尻川			海士・中里
2諏訪川―海士―007 I	諏訪川	諏訪川	中里川			海士・中里
2諏訪川―海士―008 I	諏訪川	諏訪川	横手川			海士・中里
2大川―海士―001 I	大川	赤石川	赤石川			御波
2多井川―海士―001 I	多井川	多井川	多井川氷谷川			多井
2多井川―海士―002 I	多井川	多井川	多井川左支溪1			多井
2多井川―海士―003 I	多井川	多井川	多井川右支溪1			多井
2多井川―海士―004 I	多井川	多井川	多井坂川			多井
2多井川―海士―005 I	多井川	多井川	多井坂川			多井
2境川―海士―001 I	境川	福井川	日ノ津川			海士・矢原
2境川―海士―002 I	境川	福井川	福井川右支溪1			海士・矢原
2境川―海士―003 I	境川	福井川	国原川			海士・釜出
2境川―海士―004 I	境川	福井川	福井谷川右支溪1			福井
2境川―海士―005 I	境川	福井川	福井谷川			福井
2境川―海士―006 I	境川	福井川	宮田川			福井
2境川―海士―007 I	境川	福井川	天ヶ谷川右支溪1			海士・西
3その他―海士―002 I	その他	井尻川	井尻川			福井・菱浦
3その他―海士―003 I	その他	井尻川	井尻川			福井・菱浦
3その他―海士―004 I	その他	菱川	菱川			福井・菱浦
3その他―海士―005 I	その他	井尻川	西菱谷			福井・菱浦
3その他―海士―006 I	その他	井尻川	井尻川			福井・菱浦
3その他―海士―007 I	その他	その他	藤山川			福井・今浦
3その他―海士―008 I	その他	長崎川	長崎川			宇受賀
3その他―海士―009 I	その他	その他	豊田谷			豊田
3その他―海士―011 I	その他	海士坂川	海士坂川			知々井・保々見
3その他―海士―012 I	その他	長井手川	北谷川			知々井・保々見
3その他―海士―013 I	その他	その他	保々見1			知々井・保々見

溪 流 番 号	水 系 名	河 川 名	溪 流 名	所 在 地		
				郡・市	町・村	字
3その他―海士―014 I	その他	知々井川	奥山川			知々井
3その他―海士―015 I	その他	知々井川	奥山川			知々井
3その他―海士―017 I	その他	その他	知々井1			知々井
3その他―海士―018 I	その他	その他	手島川			知々井
3その他―海士―019 I	その他	その他	東手島谷			知々井
3その他―海士―021 I	その他	赤石川	長畑川			御波
3その他―海士―022 I	その他	太井川	長畑川			御波
3その他―海士―023 I	その他	太井川	下毛川			御波

○ 土石流危険溪流（I） その2

溪 流 番 号	水 系 名	河 川 名	溪 流 名	所 在 地		
				郡・市	町・村	字
3その他―海士―024 I	その他	太井川	下毛川			御波
3その他―海士―026 I	その他	大川	赤石向			御波
3その他―海士―033 I	その他	高平川	大浦奥谷高平			崎
3その他―海士―034 I	その他	その他	三保川			崎
3その他―海士―035 I	その他	その他	福井1			福井

計 45箇所（内6箇所は、対策工事施工済み）

2. 海士町内土石流危険渓流一覧表(2)

○ 土石流危険渓流(Ⅱ)

渓流番号	水系名	河川名	渓流名	所在地		
				郡・市	町・村	字
2 大川―海士―021 Ⅱ	大川	イカガ谷川	イカガ谷川	隠岐郡	海士町	御波
3 その他―海士―001 Ⅱ	その他	その他	井野川	隠岐郡	海士町	福井・井野
3 その他―海士―010 Ⅱ	その他	海士坂川	海士坂川	隠岐郡	海士町	知々井・保々見
3 その他―海士―016 Ⅱ	その他	知々井	奥山川	隠岐郡	海士町	知々井
3 その他―海士―020 Ⅱ	その他	その他	手島川	隠岐郡	海士町	知々井
3 その他―海士―025 Ⅱ	その他	その他	御波2	隠岐郡	海士町	御波
3 その他―海士―027 Ⅱ	その他	その他	南御波谷	隠岐郡	海士町	御波
3 その他―海士―028 Ⅱ	その他	その他	御波1	隠岐郡	海士町	御波
3 その他―海士―029 Ⅱ	その他	その他	須賀谷	隠岐郡	海士町	須賀
3 その他―海士―031 Ⅱ	その他	その他	須賀2	隠岐郡	海士町	須賀
3 その他―海士―032 Ⅱ	その他	その他	須賀3	隠岐郡	海士町	須賀
3 その他―海士―036 Ⅱ	その他	その他	長井出川	隠岐郡	海士町	保々見

計 12箇所

3. 海士町内地すべり危険箇所一覧表

○ 地すべり危険箇所(国土交通省関係)

箇所名		位置			
漢字	カタカナ	郡市	町村	大字	カタカナ
菱浦	ヒシウラ	隠岐郡	海士町	福井	フクイ
崎	サキ	隠岐郡	海士町	崎	サキ
豊田	トヨタ	隠岐郡	海士町	豊田	トヨタ
知々井	チチイ	隠岐郡	海士町	知々井	チチイ

計 4 箇所

(内2箇所は、対策工事施工済み)

4. 海士町内急傾斜地崩壊危険箇所一覧表(1)

○ 急傾斜地崩壊危険箇所 (I) その1

箇所番号	箇所名	位 置			
		郡市	町村	大字	小字
2 6 2 0	さきなだ 先灘	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	ふくい 福井	
2 6 2 1	ひしうら 菱浦 1	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	ふくい 福井	菱浦
2 6 2 2	ひしうら 菱浦	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	ふくい 福井	菱浦
2 6 2 3	ひしうら 菱浦 2	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	ふくい 福井	小田
2 6 2 4	ひしうら 菱浦 3	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	ふくい 福井	
2 6 2 5	きたぶ 北分 1	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あま 海士	小船崎
2 6 2 6	きたぶ 北分 2	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あま 海士	新宮平
2 6 2 7	う ず か 宇受賀	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	う ず か 宇受賀	
2 6 2 8	う ず か 宇受賀 2	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	う ず か 宇受賀	黒田
2 6 2 9	う ず か 宇受賀 3	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	う ず か 宇受賀	長崎
2 6 3 0	ひがしうえ 東上	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あま 海士	
2 6 3 1	とよだ 豊田	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	とよだ 豊田	敷
2 6 3 3	みなみ 御波	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	みなみ 御波	
2 6 3 4	ち ち い 知々井 2	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	ち ち い 知々井	
2 6 3 5	ち ち い 知々井	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	ち ち い 知々井	
2 6 3 6	ほ ぼ み 保々見	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	ち ち い 知々井	

箇所番号	箇所名	位 置			
		郡市	町村	大字	小字
2 6 3 7	てじま 手島	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	ち ち い 知々井	
2 6 3 8	いまうら 今浦	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	みなみ 御波	
2 6 3 9	おおい 多井	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	さき 崎	
2 6 4 0	さき 崎	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	さき 崎	
2 6 4 1	さき 崎 1	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	さき 崎	さき 崎
2 6 4 2	さき 崎 2	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	さき 崎	あおや 青谷
2 6 4 3	やくばうら 役場裏	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あ ま 海士	なかざと 中里
2 6 4 4	す か 須賀	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	みなみ 御波	す か 須賀
2 6 4 5	ひがし 東	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あ ま 海士	
2 6 4 6	なかざと 中里	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あ ま 海士	
2 6 4 7	みなみひがし 御波東	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	みなみ 御波	
2 6 4 8	まるたに 丸谷	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	さき 崎	
2 6 4 9	さき 崎 3	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	さき 崎	さき 崎
2 8 4 2	ひしうら 菱浦 4	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	ふくい 福井	ひしうら 菱浦

○ 急傾斜地崩壊危険箇所（Ⅰ）その 2

箇所番号	箇所名	位 置			
		郡市	町村	大字	小字
2 8 4 3	きたぶ 北分 3	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あ ま 海士	きたぶ 北分
3 1 6 3	みなみ 御波	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	みなみ 御波	
3 1 6 4	ほくそうじんじやきた 北惣神社北 1	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あ ま 海士	きたぶ 北分
3 1 6 5	ほくそうじんじやきた 北惣神社北 2	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あ ま 海士	きたぶ 北分
3 1 6 6	にし へりポート西	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あ ま 海士	
3 1 6 7	せいじはま 清次浜	おきぐん 隠岐郡	あまちょう 海士町	あ ま 海士	

計 3 6 箇所

(内 1 1 箇所は、対策工事施工済み)

5. 海士町内急傾斜地崩壊危険箇所表(2)

○ 急傾斜地崩壊危険箇所(Ⅱ)

箇所番号	箇所名	位置	
		郡 市	町 村
9756	ほくそうじんじやにし 北惣神社西1	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9757	ほくそうじんじやにし 北惣神社西2	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9758	ほくそうじんじやみなみ 北惣神社南1	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9759	ほくそうじんじやみなみ 北惣神社南2	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9760	うずかめいじんじやきた 宇受賀命神社北	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9761	けいしょうほいくしよきた 慶照保育所北	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9762	あましようがっこうにし 海士小学校西	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9763	あましようがっこうみなみ 海士小学校南1	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9764	あましようがっこうみなみ 海士小学校南2	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9765	のうそんこうえんにし 農村公園西1	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9766	のうそんこうえんにし 農村公園西2	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9767	のうそんこうえんひがし 農村公園東	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9768	だいさいじんじやにし 大歳神社西	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9769	あきやかいがんにし 明屋海岸西	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9770	にし 西1	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9771	にし 西2	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9772	ふせじんじやにし 布施神社西	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9773	れんしょうじみなみ 連生寺南	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9774	ほぼみじんじやひがし 保々見神社東	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9775	れんしょうじ 連生寺	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9776	ほぼみじんじやひがし 保々見神社東	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町
9824	ふせ 布施	おきぐん 隠岐郡	あまちよう 海士町

計22箇所

6. ため池

市町村名	ため池名称	所在地
海士町	高 佐	隠岐郡海士町大字宇受賀
海士町	落 代	隠岐郡海士町大字宇受賀 572
海士町	小敷第二	隠岐郡海士町大字宇受賀 5142
海士町	小敷第一	隠岐郡海士町大字中受賀 539-1
海士町	尾 船	隠岐郡海士町大字海士 3307
海士町	豊 田	隠岐郡海士町大字豊田 3161-2
海士町	清 水	隠岐郡海士町大字海士 5364
海士町	眞 奥	隠岐郡海士町大字海士 2600
海士町	石 の 堂	隠岐郡海士町大字海士 5699
海士町	中 黒	隠岐郡海士町大字海士 5686-1
海士町	郡	隠岐郡海士町大字海士 1087
海士町	宮 田	隠岐郡海士町大字福井 279-2
海士町	吹 ノ 内	隠岐郡海士町大字海士 6200
海士町	矢 原	隠岐郡海士町大字海士 6373
海士町	井 ノ 元	隠岐郡海士町大字海士 6095
海士町	中 里	隠岐郡海士町大字海士 5888-4
海士町	原 畑	隠岐郡海士町大字知々井
海士町	大 阪	隠岐郡海士町大字知々井 676
海士町	清 浦 原	隠岐郡海士町大字崎 982-2
海士町	堤	隠岐郡海士町大字崎
海士町	青 谷	隠岐郡海士町大字崎 343

(海士町資料より)

(資料 15)

隠岐諸島に関係した地震、津波一覧表

発震年月日	北緯	東経	規模 (マグニチュード)	震央地名 (地震名)	被害状況
1705.10.4 宝永 2 年	不明	不明	不明	不明	大地震 30 分間
1833.12.7 天保 4 年	不明	不明	7.4	山形・庄内沖地震	初期波の約 2 時間後最大波襲来 諏訪湾浸水高 2.6m、西ノ島船越 浸水高 2.4m など「隠岐諸島津波 の歴史より」
1940.8.2 昭和 15 年	不明	不明	不明	神威岬沖地震津波	波高 1.5m 西郷で浸水家屋 47 戸 等の被害「隠岐諸島の津波の歴 史」による
1964.6.16 昭和 39 年	38° 22.2′	139° 12.7′	7.5	新潟県沖 (新潟地震)	隠岐の島町、西ノ島町で住家床下 浸水 1、住宅一部破損 38、水田冠 水 10ha の被害があった。
1983.5.26 昭和 58 年	40° 21.6′	139° 04.4′	7.7	秋田県沖 (昭和 58 年 (1983 年) 日本海中部地震)	この地震による津波で隠岐島、島 根半島を中心に負傷者 5 人、建物 床上浸水 152、同床下浸水 279、 水田冠水 18ha、畑冠水 11ha、橋 梁流失 1、堤防決壊 2、船舶沈没 104、同流失 56、同破損 145、人 災世帯 152、人災者数 496。 (1983 年 12 月現在 警察庁調 べ)
1993.7.12 平成 5 年	42° 46.9′	139° 10.8′	7.8	北海道南西沖 (平成 5 年 (1993 年) 北海道南西沖地震)	津波による被害は、隠岐島、島根 半島を中心に、民家の床上浸水 17、床下浸水 160、土砂による家 屋損壊 1、山・崖崩れ 21、道路損 壊 2、船の被害は沈没 29、転覆 28 等。その他養殖いけす、漁具 等にも被害が出た。

(参考資料) 県地域防災計画、隠岐諸島の津波の歴史

(資料 16)

防災アセスメントマニュアル

(1) 津波規模と波高、被害程度の関係

津波規模 (m)	波高 (Hm)	被害程度
-1	0.5	(低湿地で軽微な被害)
0	1	軽微な被害
1	2	海岸沿いや船の被害
2	4~6	やや内陸で被害と養殖施設の被害
3	10~20	400km 以上の海岸線にわたる大被害
4	30	500km 以上の海岸線にわたる大被害

(資料) 防災アセスメントマニュアル 自治省消防庁防災課 昭和 63 年

(2) 津波規模と地震のマグニチュードとの関係

津波規模 m と地震のマグニチュード M との間には、飯田による次のような経験式がある。

$$m = 2.5M - 16.1 \quad (\text{日本海})$$

この計算式を使って、ある海域における想定地震の M に対して、津波の波高 m を計算することができる。

ただし、この式で求めた波高は、津波被害を受けた海岸地形の平均的な値を示しており、防災指針として受け止めるべきである。

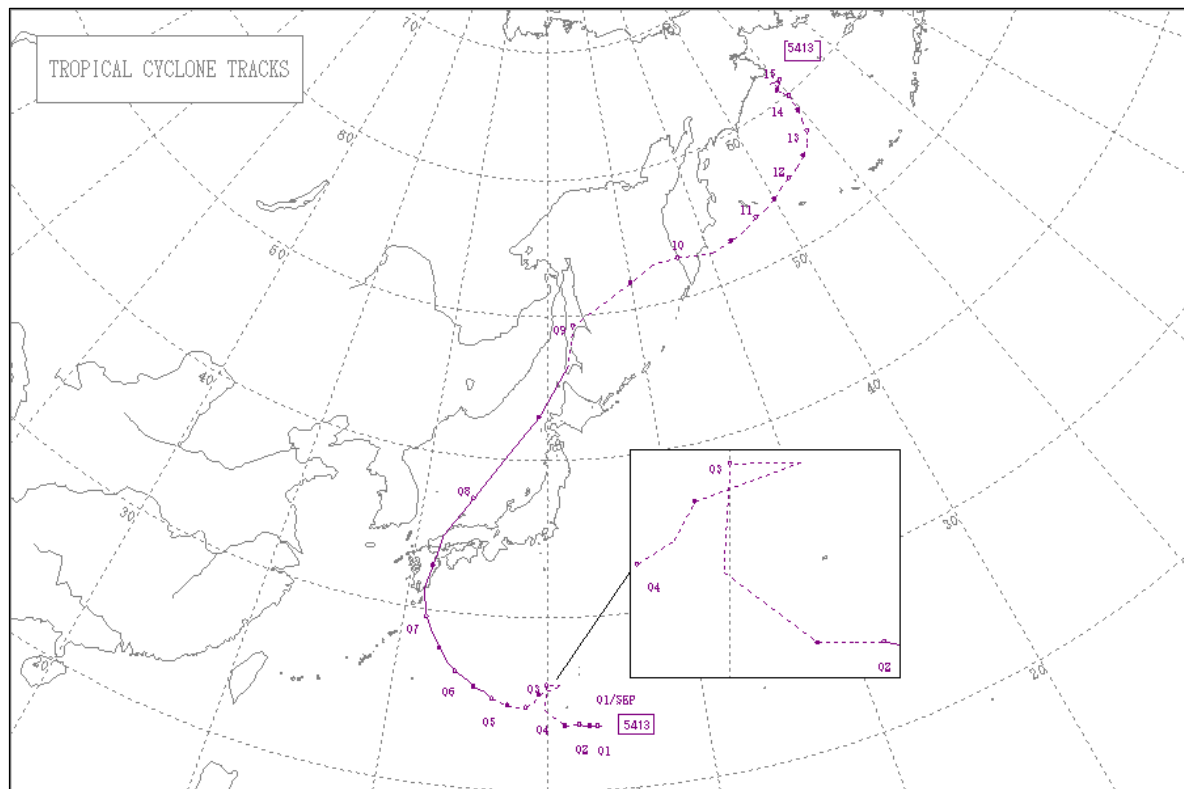
(資料) 防災アセスメントマニュアル 自治省消防庁防災課 昭和 63 年

(資料 17)

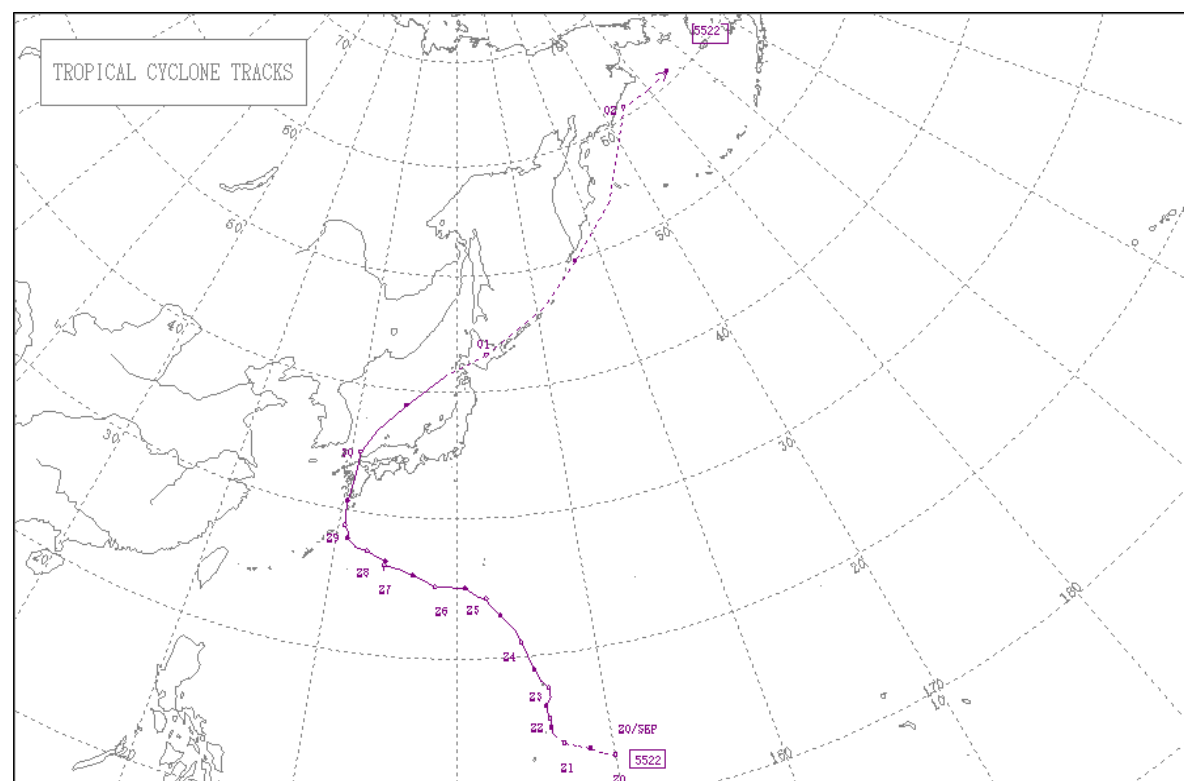
海士町に影響した台風経路図

海士町に影響を及ぼした台風について、気象庁の資料を基に次ページ以降にまとめた。

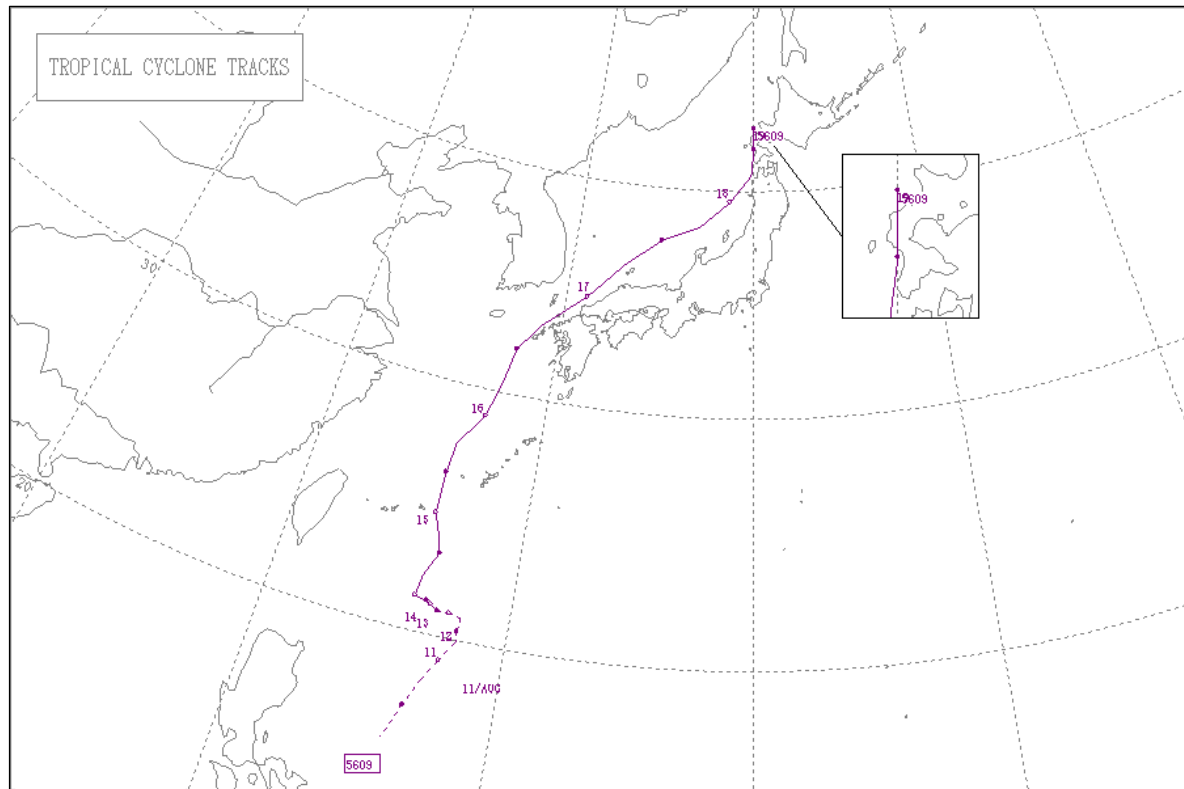
昭和 29 年-13 号



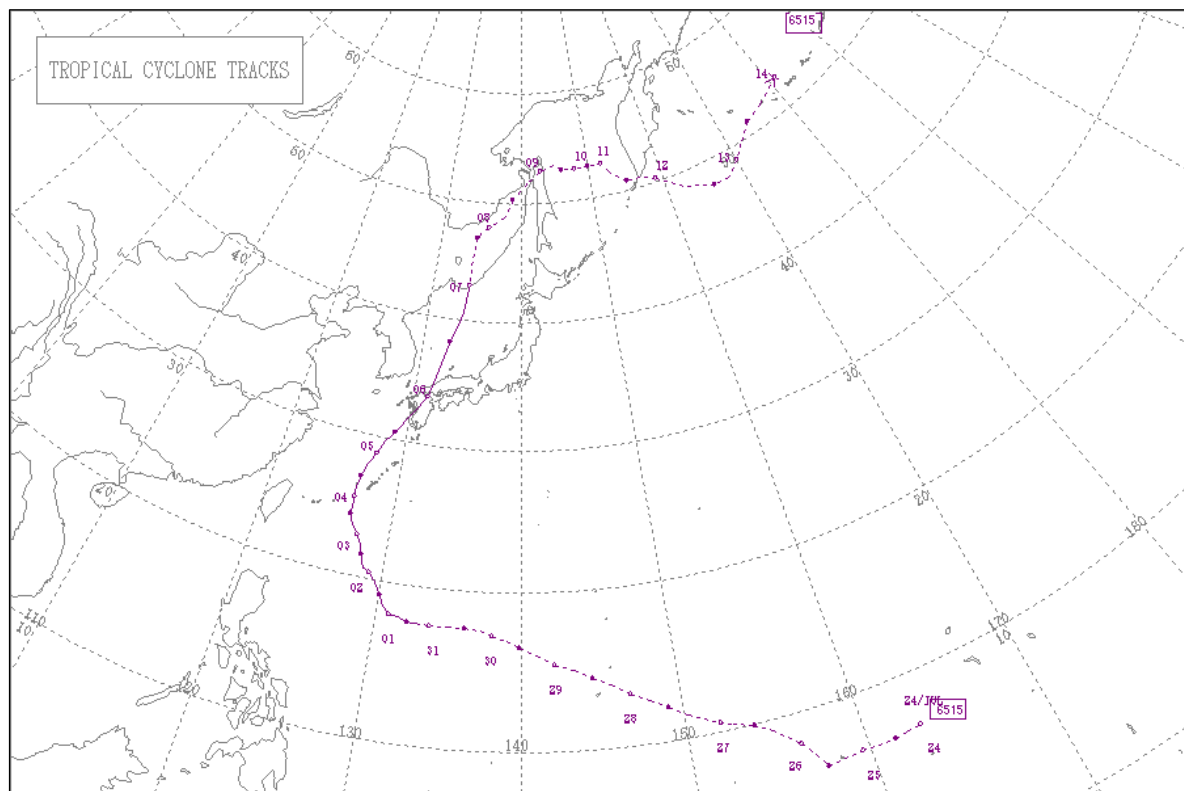
昭和 30 年-22 号



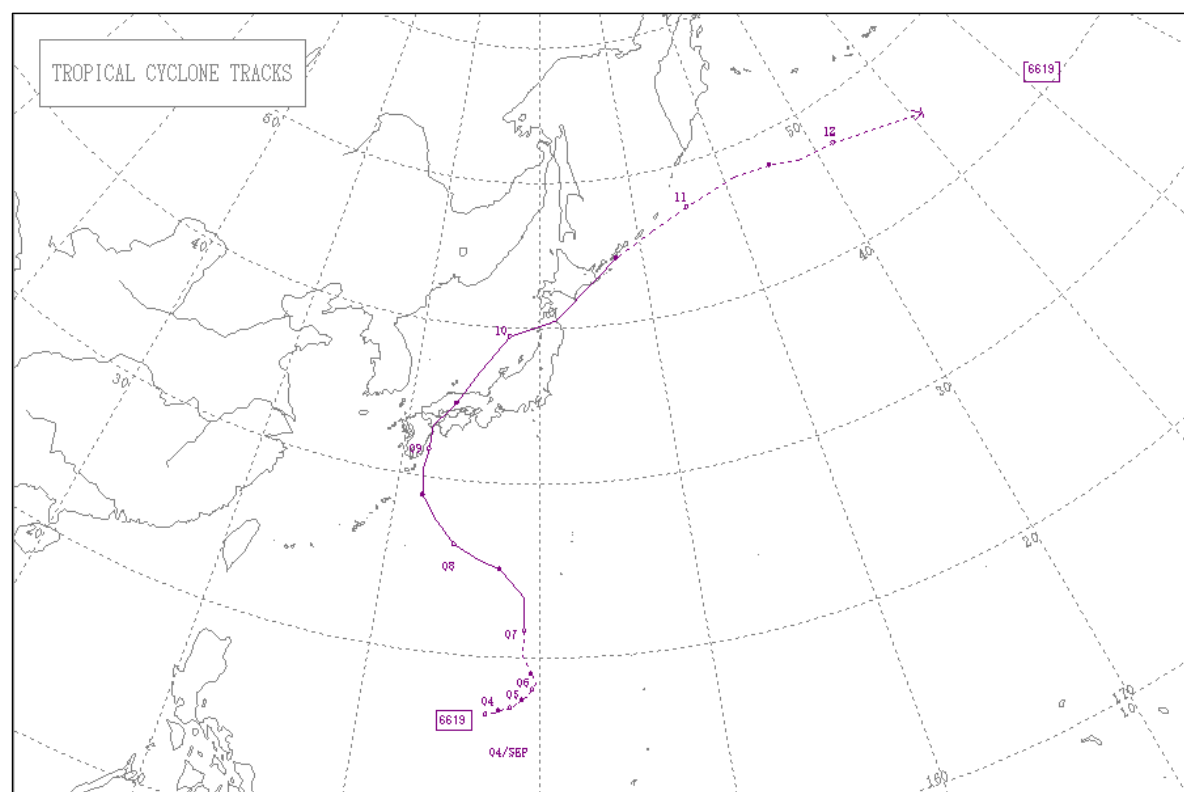
昭和 31 年-9 号



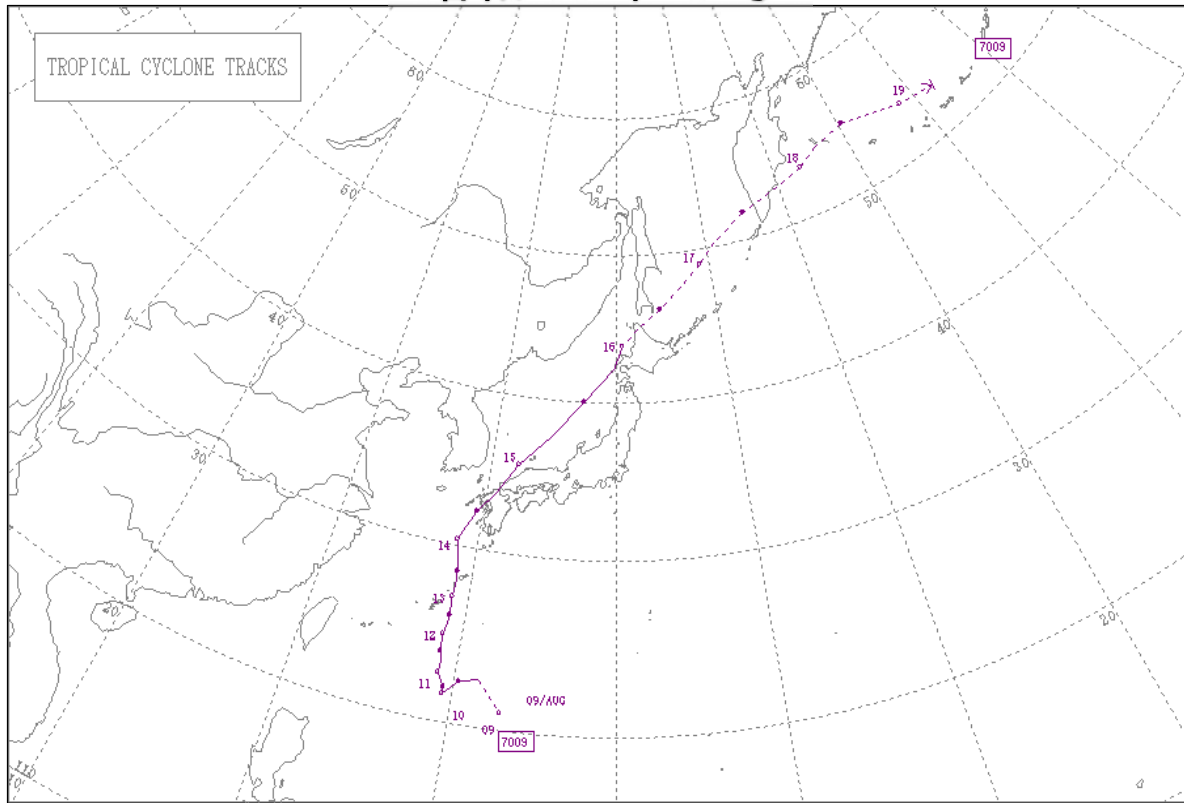
昭和 40 年-15 号



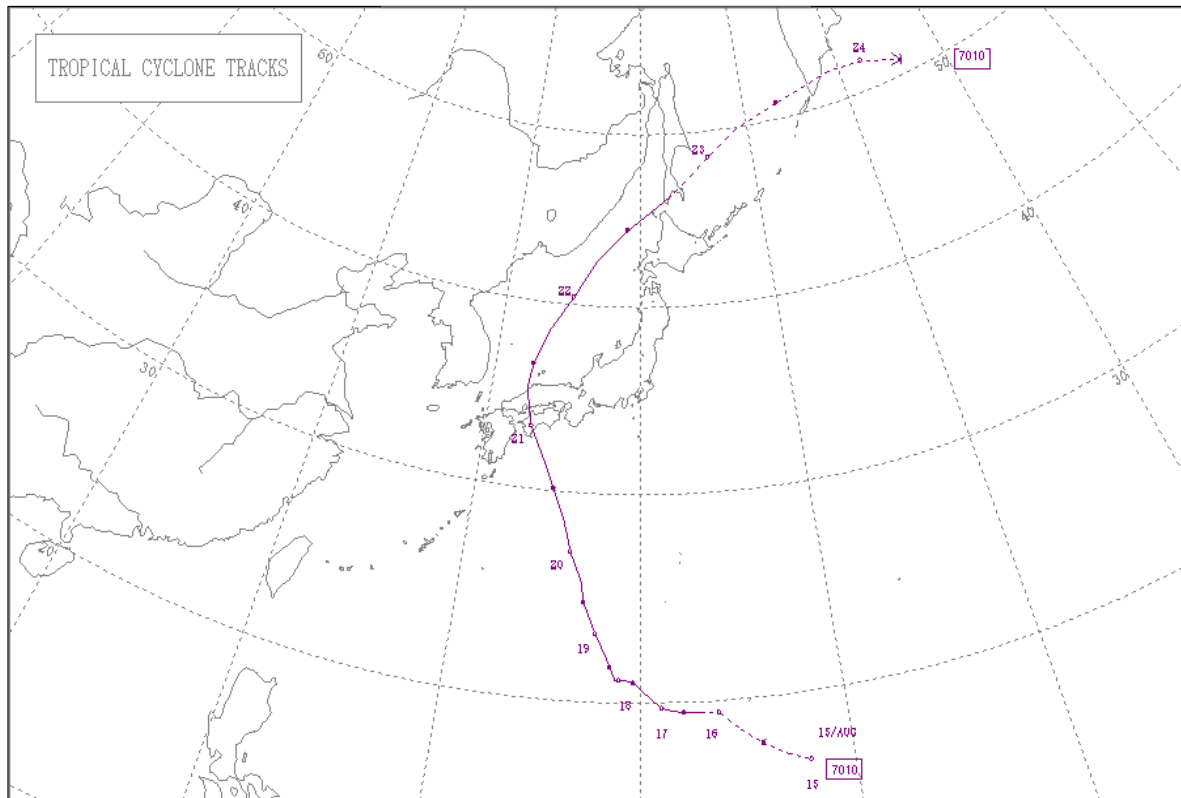
昭和 41 年-19 号



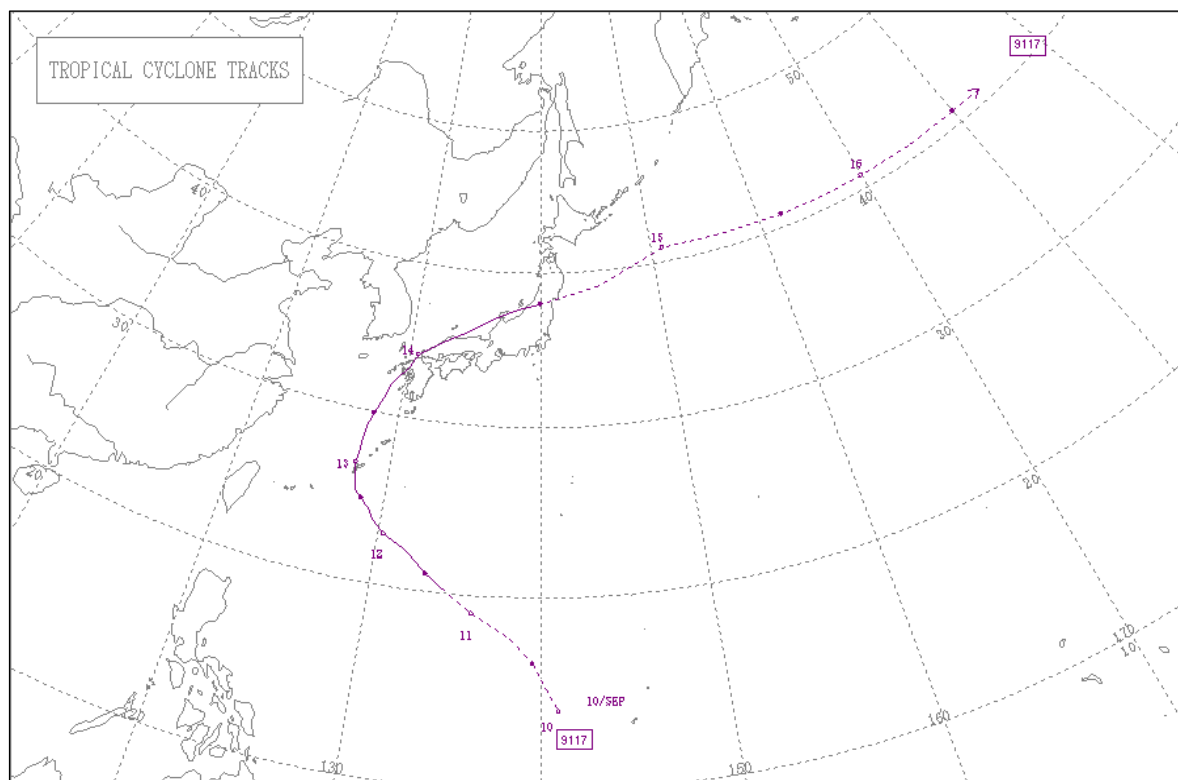
昭和 45 年-9 号



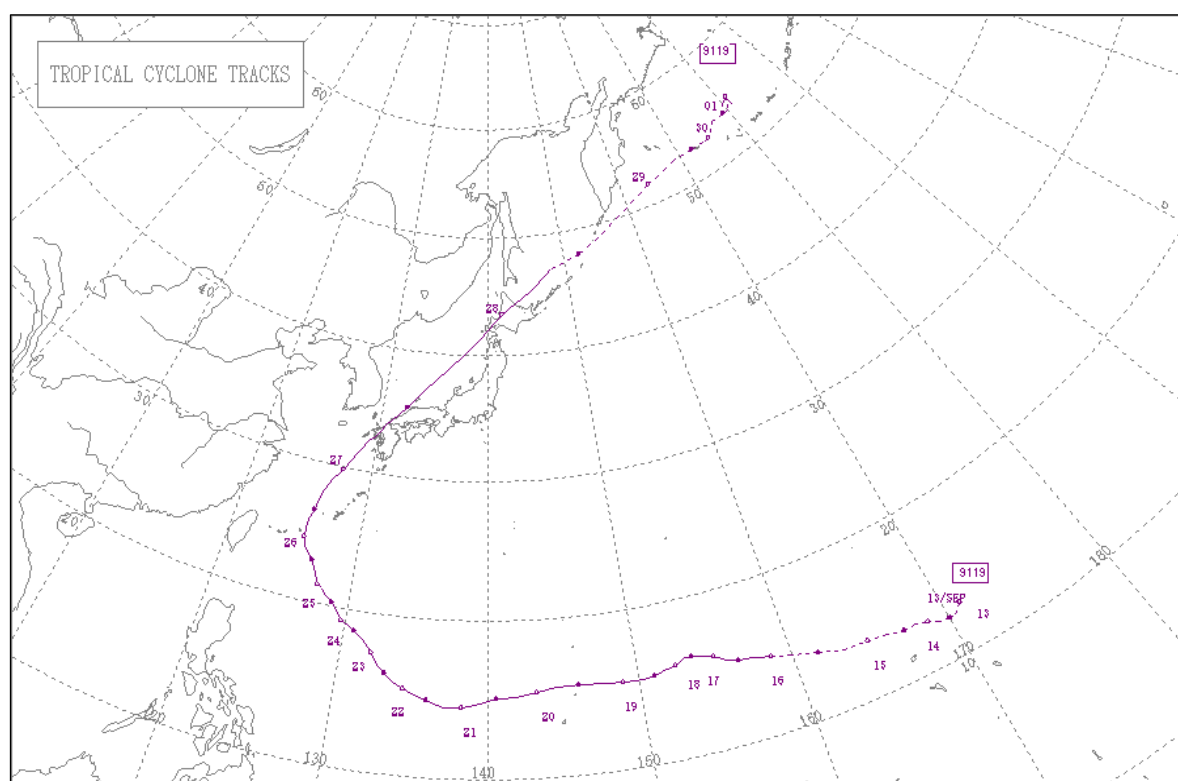
昭和 45 年-10 号



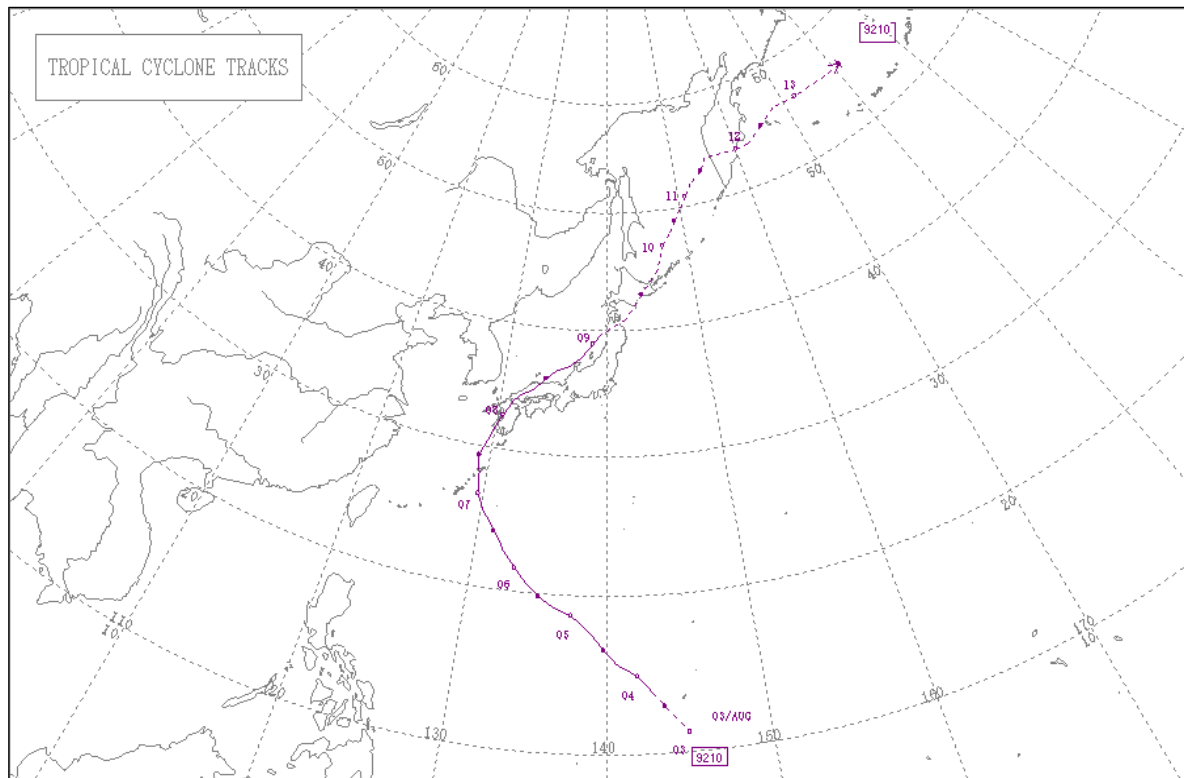
平成 3 年-17 号



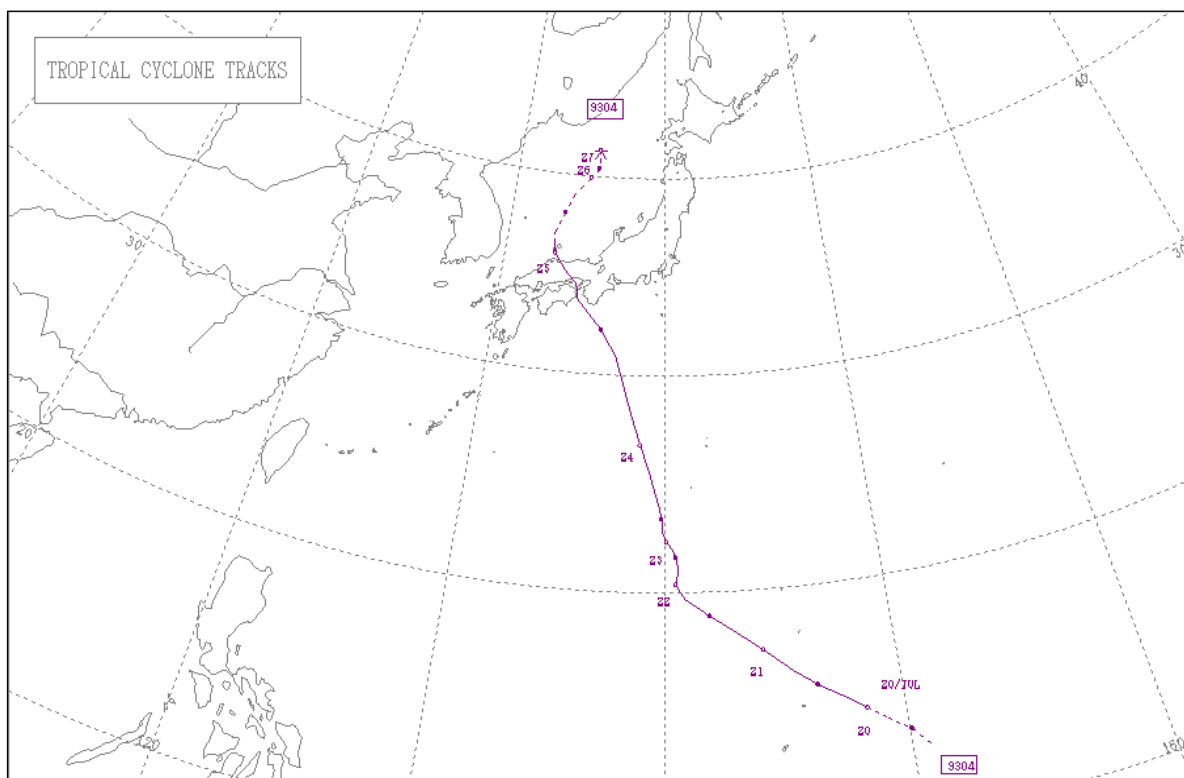
平成 3 年-19 号



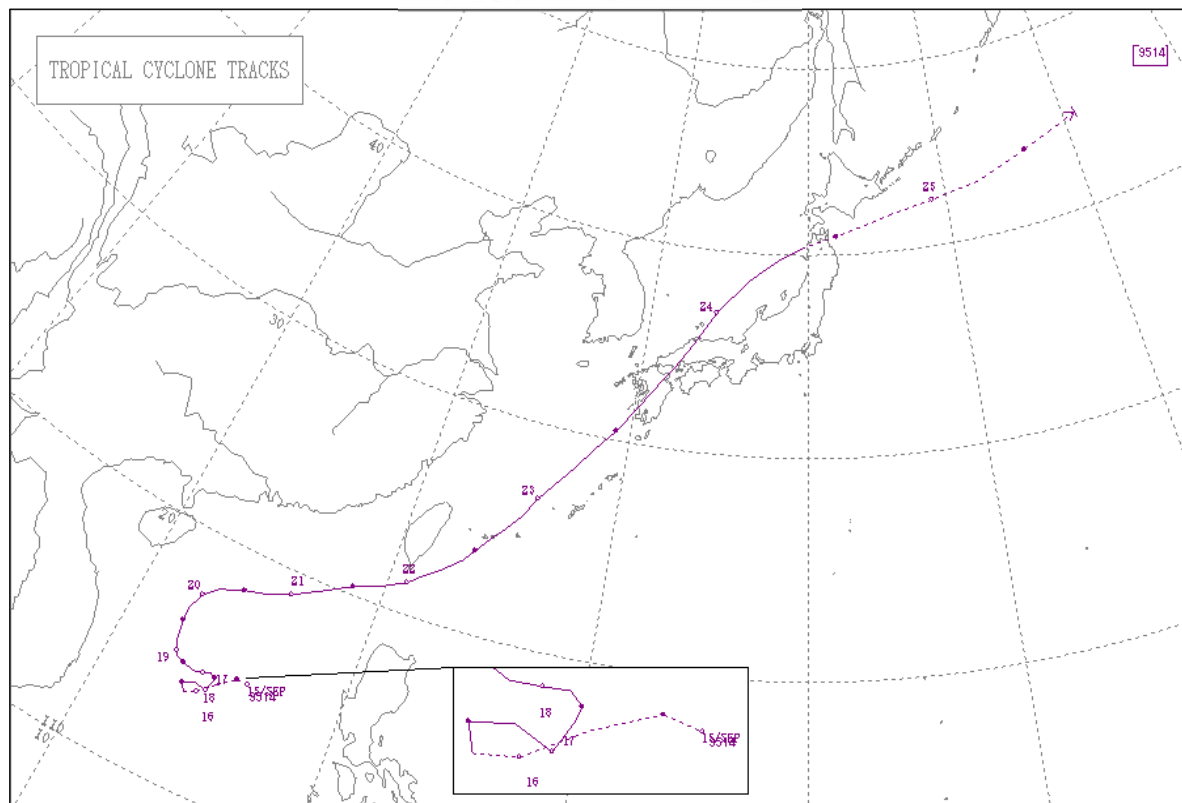
平成 4 年-10 号



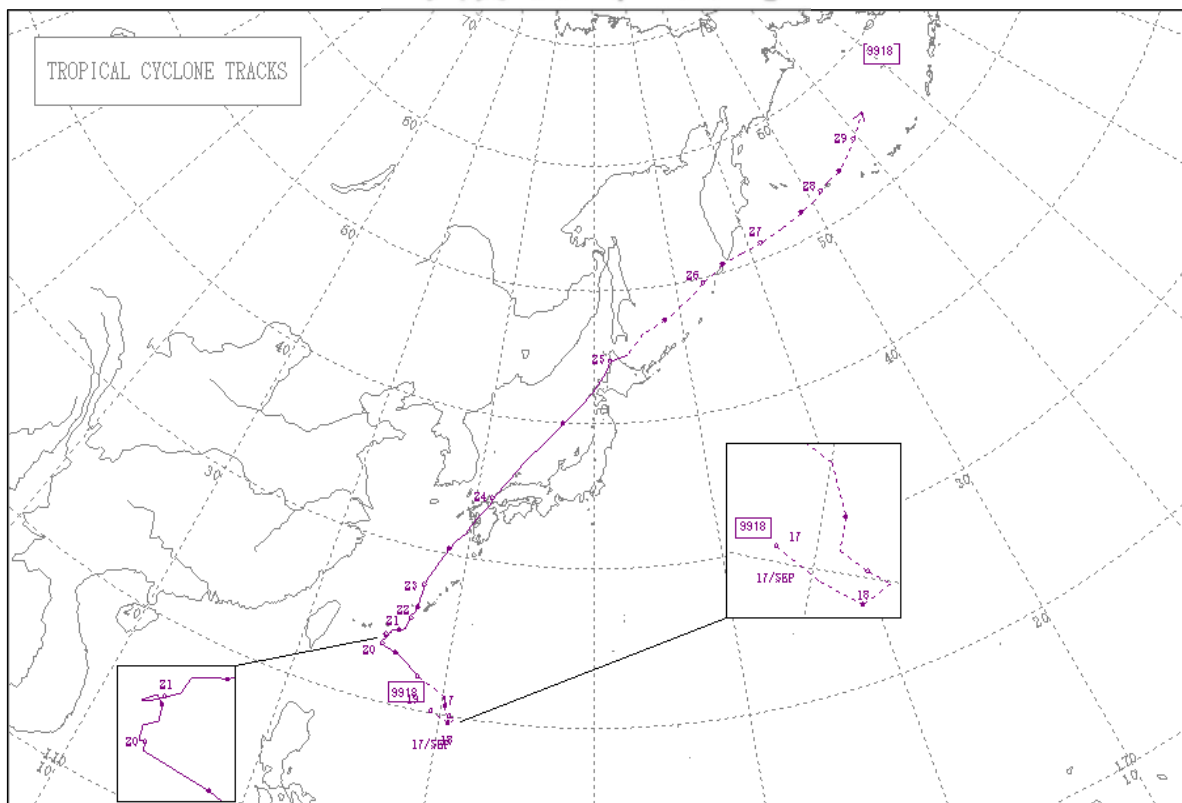
平成 5 年-4 号



平成 7 年-14 号

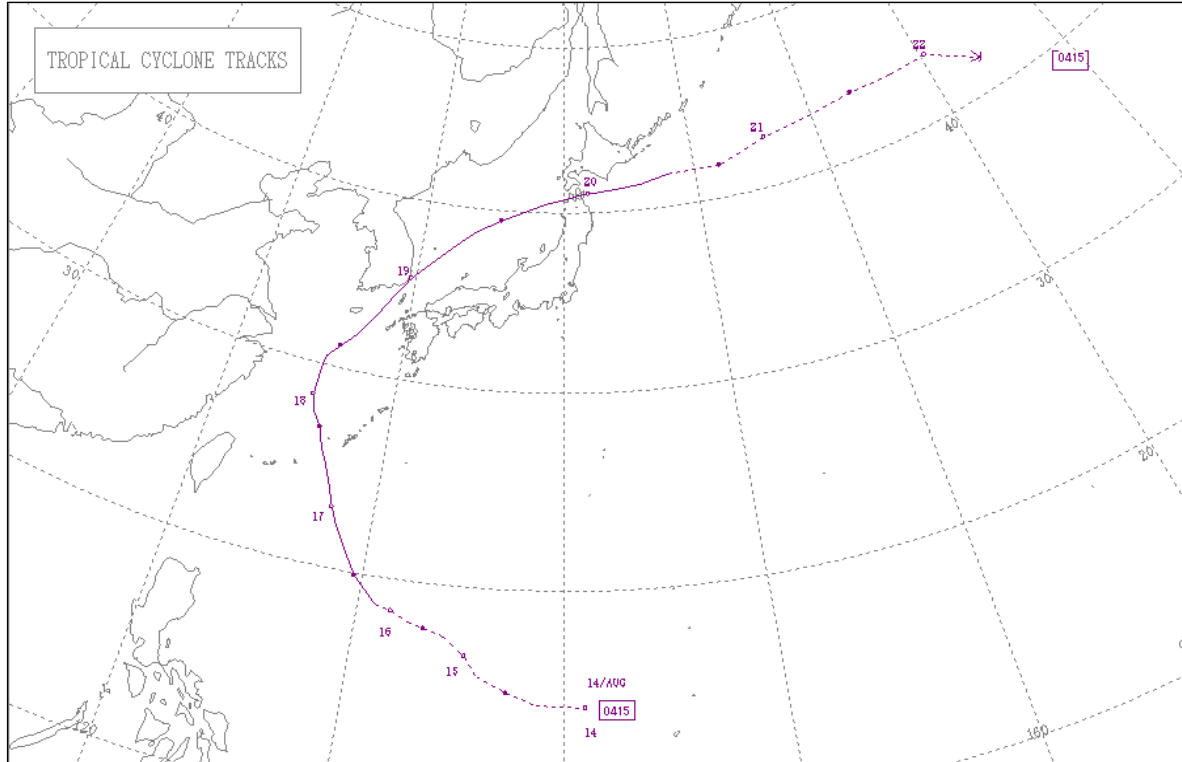


平成 11 年-18 号



平成 16 年-15 号

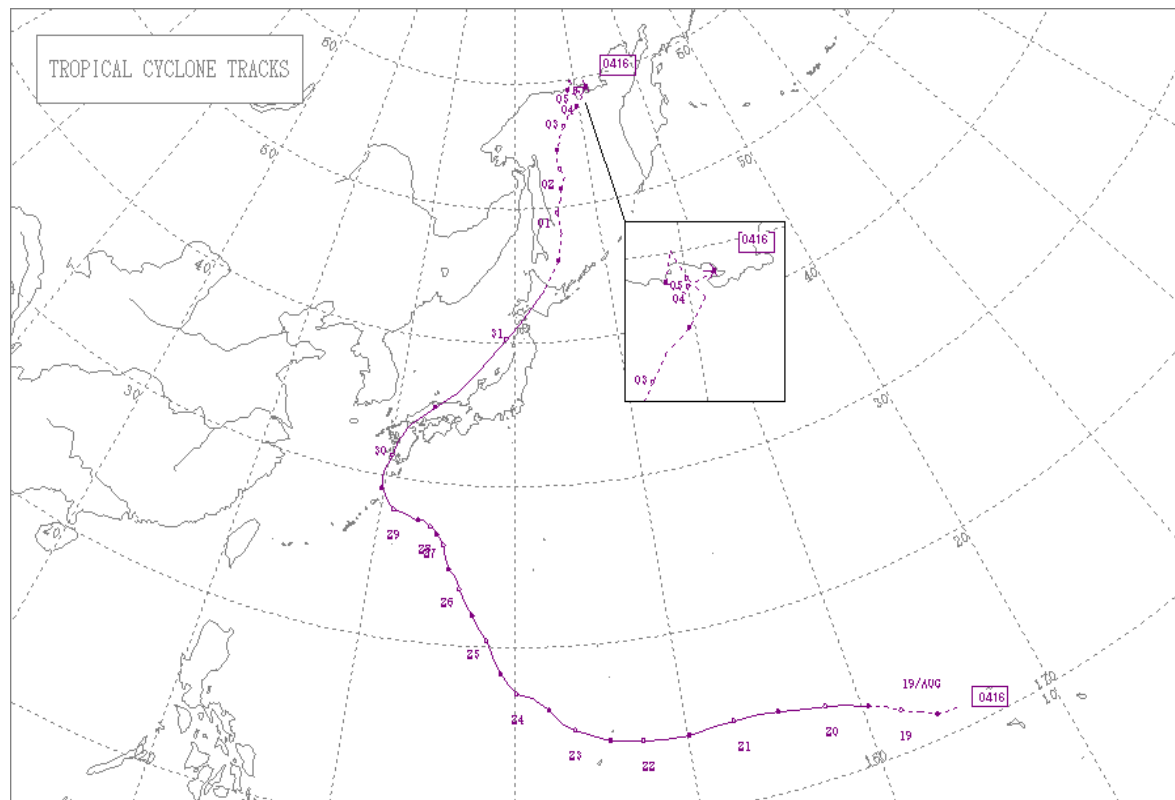
位 置 表



月 日 時	中心位置		中心気圧	最大風速	暴風域半径	強風域半径		大きさ・強さ 等	
	緯度	経度	hPa	m/s	km	km		大きさ	強さ
19 00	32.0	127.0	970	35	110	SE:650	NW:310	—	強い
3	33.1	127.8	970	35	110	SE:520	NW:310	—	強い
6	34.4	128.7	970	35	110	SE:520	NW:310	—	強い
9	35.6	129.7	970	35	130	SE:520	NW:330	—	強い
12	36.7	130.9	970	35	130	SE:520	NW:330	—	強い
15	37.7	132.2	970	35	130	SE:520	NW:330	—	強い
18	38.7	133.6	970	35	130	SE:520	NW:330	—	強い
21	39.5	135.4	975	30	110	SE:520	NW:330	—	—
20 00	40.1	137.1	975	30	90	SE:560	NW:330	—	—
3	40.6	138.6	975	30	90	E:560	NW:330	—	—
6	40.9	140.2	980	30	90	E:560	NW:330	—	—
8	41.1	141.0	980	30	90	E:560	NW:330	—	—
9	41.2	141.7	980	30	90	SE:600	NW:370	—	—
12	41.4	143.9	980	30	90	SE:600	NW:370	—	—
15	41.6	145.8	985	25	---	SE:600	NW:370	—	—
18	42.0	148.0	984	--	---	温帯低気圧に変わる			
21	42.0	152.0	984	--	---				

平成 16 年-16 号

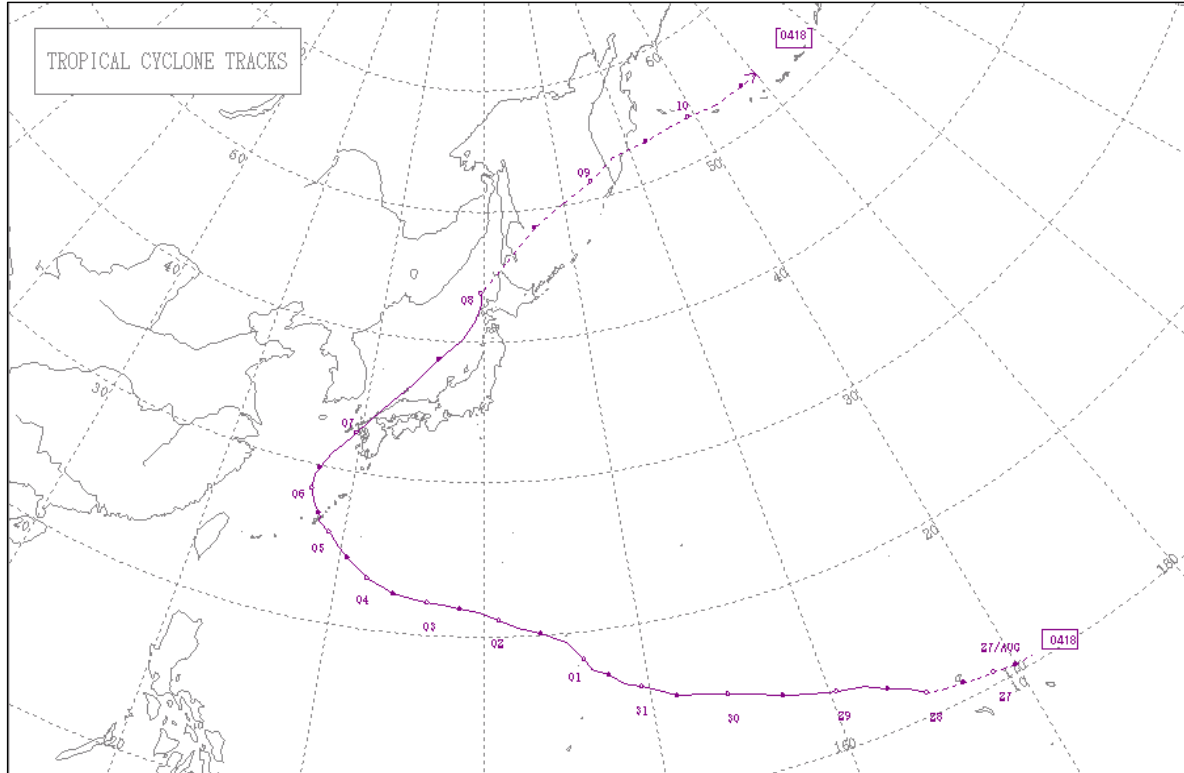
位 置 表



月日時	中心位置		中心気圧	最大風速	暴風域半径		強風域半径		大きさ・強さ等	
	緯度	経度	hPa	m/s	km		km		大きさ	強さ
8 30 00	29.8	129.8	945	40	E: 240	W: 190	E: 600	W: 460	大型	強い
3	30.3	129.8	945	40	E: 240	W: 190	E: 600	W: 460	大型	強い
6	30.9	130.0	950	40	E: 220	W: 190	E: 600	W: 460	大型	強い
9	31.5	130.2	950	40	E: 220	W: 190	E: 560	W: 410	—	強い
12	32.5	130.5	955	40	E: 220	W: 190	E: 560	W: 370	—	強い
15	33.5	131.0	965	35	SE: 200	NW: 170	E: 560	NW: 370	—	強い
17	33.9	131.4	965	35	SE: 200	NW: 170	E: 560	NW: 370	—	強い
18	34.1	131.7	965	35	SE: 200	NW: 170	E: 560	NW: 370	—	強い
21	35.2	133.2	970	30	SE: 190	NW: 150	E: 560	NW: 370	—	—
31 00	36.4	135.0	970	30	SE: 190	NW: 110	E: 560	NW: 370	—	—
3	37.5	136.2	975	30	SE: 190	NW: 110	SE: 650	NW: 370	大型	—
6	38.8	137.6	975	30	SE: 190	NW: 110	SE: 650	NW: 370	大型	—
9	40.3	139.3	975	30	S: 190	N: 110	SE: 650	NW: 370	大型	—
12	41.4	140.5	975	30	S: 190	N: 110	SE: 650	NW: 370	大型	—
15	43.9	143.2	976	—	—	—	温帯低気圧に変わる			
21	46.0	145.0	976	—	—	—				
9 1 03	48.1	145.5	980	—	—	—				
9	49.7	145.3	980	—	—	—				
15	50.7	145.7	976	—	—	—				
21	51.5	146.0	984	—	—	—				

平成 16 年-18 号

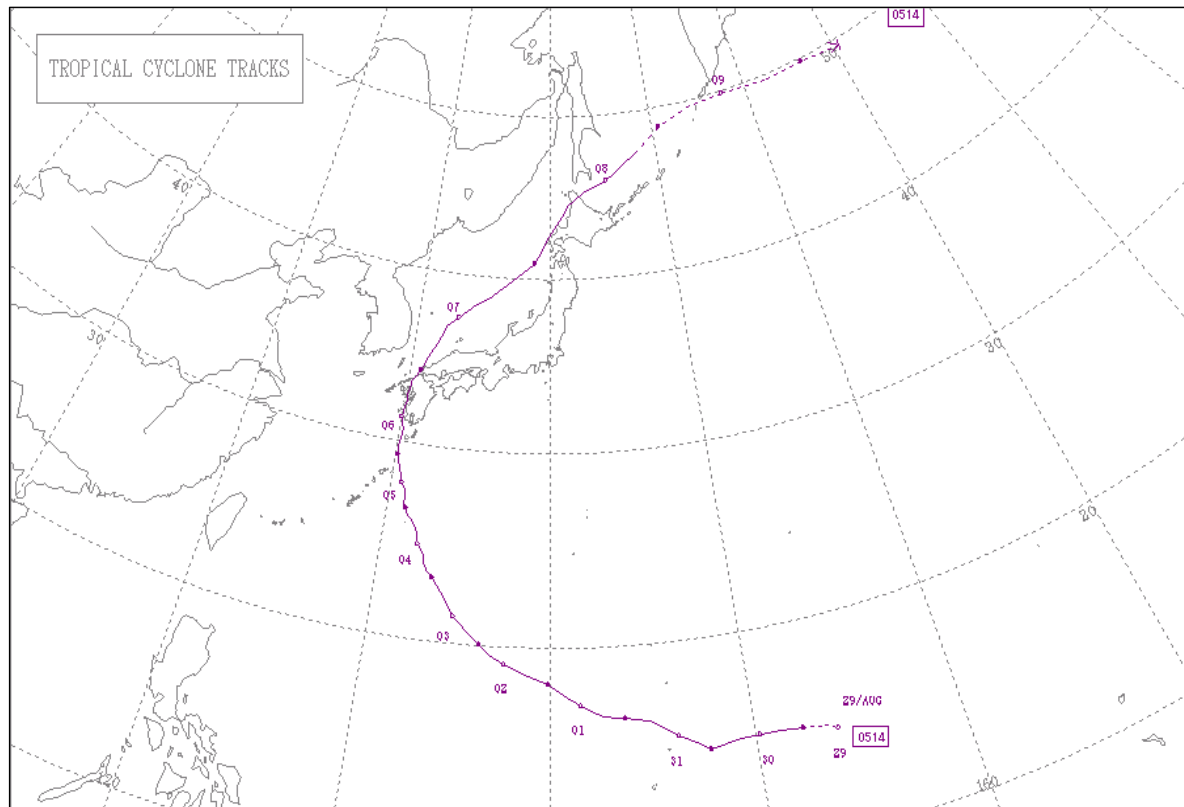
位 置 表



月 日 時	中心位置		中心気圧	最大風速	暴風域半径		強風域半径		大きさ・強さ 等	
	緯度	経度	hPa	m/s	km		km		大きさ	強さ
9 7 00	30.3	127.5	940	40	SE: 280	NW: 200	SE:700	NW:460	大型	強い
3	31.1	128.0	945	40	SE: 280	NW: 200	SE:700	NW:460	大型	強い
7 06	31.8	128.7	945	40	SE: 220	NW: 170	SE:650	NW:500	大型	強い
9	32.7	129.6	945	40	SE: 170	NW: 150	SE:600	NW:440	大型	強い
12	33.9	130.7	945	40	SE: 170	NW: 150	SE:600	NW:440	大型	強い
15	35.4	132.2	950	40	SE: 170	NW: 130	SE:600	NW:410	大型	強い
18	36.8	133.8	955	35	SE: 170	NW: 130	SE:600	NW:410	大型	強い
21	38.7	135.9	960	35	SE: 170	NW: 130	SE:600	NW:410	大型	強い
8 00	40.2	138.0	965	30	SE: 150	NW: 110	SE:600	NW:410	大型	—
3	41.7	139.2	970	30	SE: 150	NW:70	SE:600	NW:410	大型	—
6	42.8	139.8	970	30	SE: 150	NW:70	SE:600	NW:410	大型	—
9	43.8	139.7	968	—	---	---	温帯低気圧に変わる			
15	46.0	142.5	960	—	---	---	---	---	---	---
21	48.7	146.1	968	—	---	---	---	---	---	---
9 03	50.3	150.0	972	—	---	---	---	---	---	---
9	51.6	153.9	974	—	---	---	---	---	---	---
15	53.0	157.7	976	—	---	---	---	---	---	---
21	53.3	162.4	978	—	---	---	---	---	---	---
10 03	53.6	166.1	980	—	---	---	---	---	---	---
09	53.7	169.0	984	—	---	---	---	---	---	---
15	53.3	173.1	986	—	---	---	---	---	---	---
21	53.4	177.5	988	—	---	---	---	---	---	---
11 03	53.5	179.8	988	—	---	---	---	---	---	域外

平成 17 年-14 号

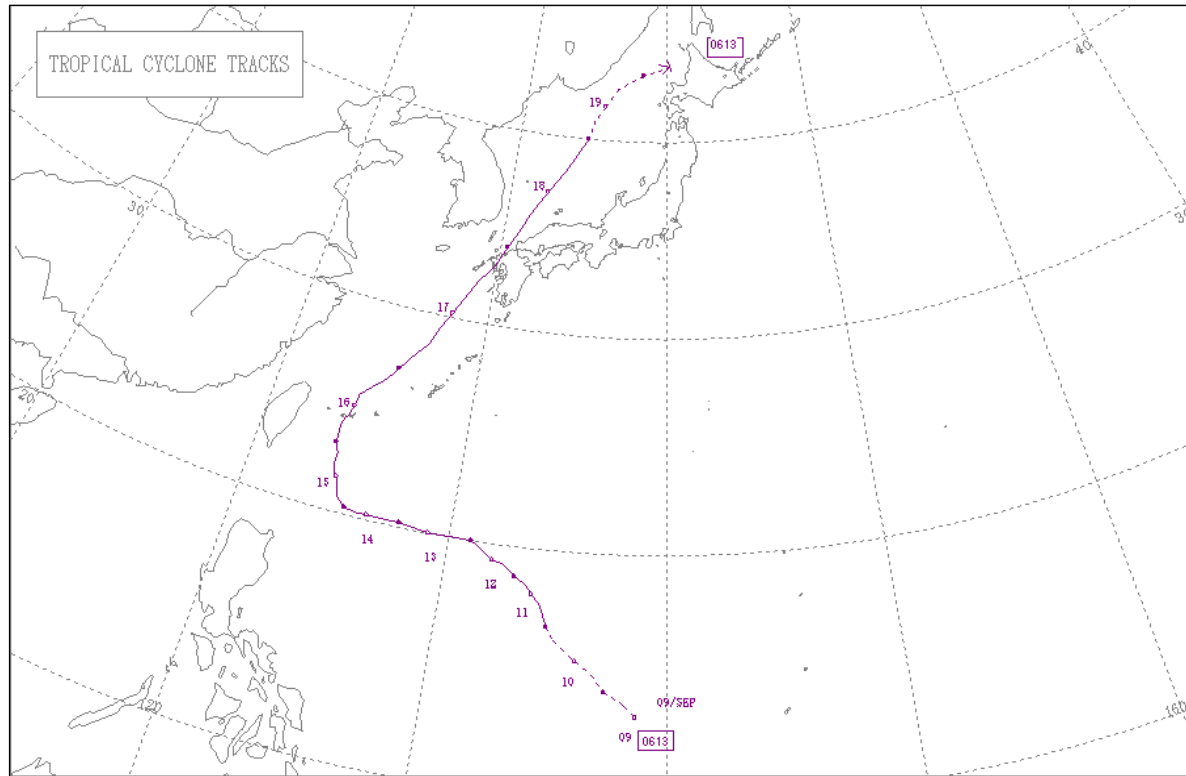
位 置 表



月 日 時	中心位置		中心気圧	最大風速	暴風域半径		強風域半径		大きさ・強さ 等	
	緯度	経度	hPa	m/s	km		km		大きさ	強さ
9 7 00	34.9	131.1	970	35	E: 180	W: 160	SE:650	NW:600	大型	強い
3	36.0	131.8	975	35	SE: 170	NW: 150	SE:650	NW:600	大型	強い
6	36.9	132.2	975	30	SE: 170	NW: 140	SE:650	NW:600	大型	—
9	37.5	133.0	980	30	SE: 150	NW: 130	SE:650	NW:600	大型	—
12	38.2	134.0	985	30	SE: 120	NW: 100	SE:650	NW:560	大型	—
15	38.8	135.2	985	25	---		SE:650	NW:560	大型	—
18	40.0	137.0	985	25	---		SE:650	NW:560	大型	—
21	41.0	138.7	985	25	---			561	大型	

平成 18 年-13 号

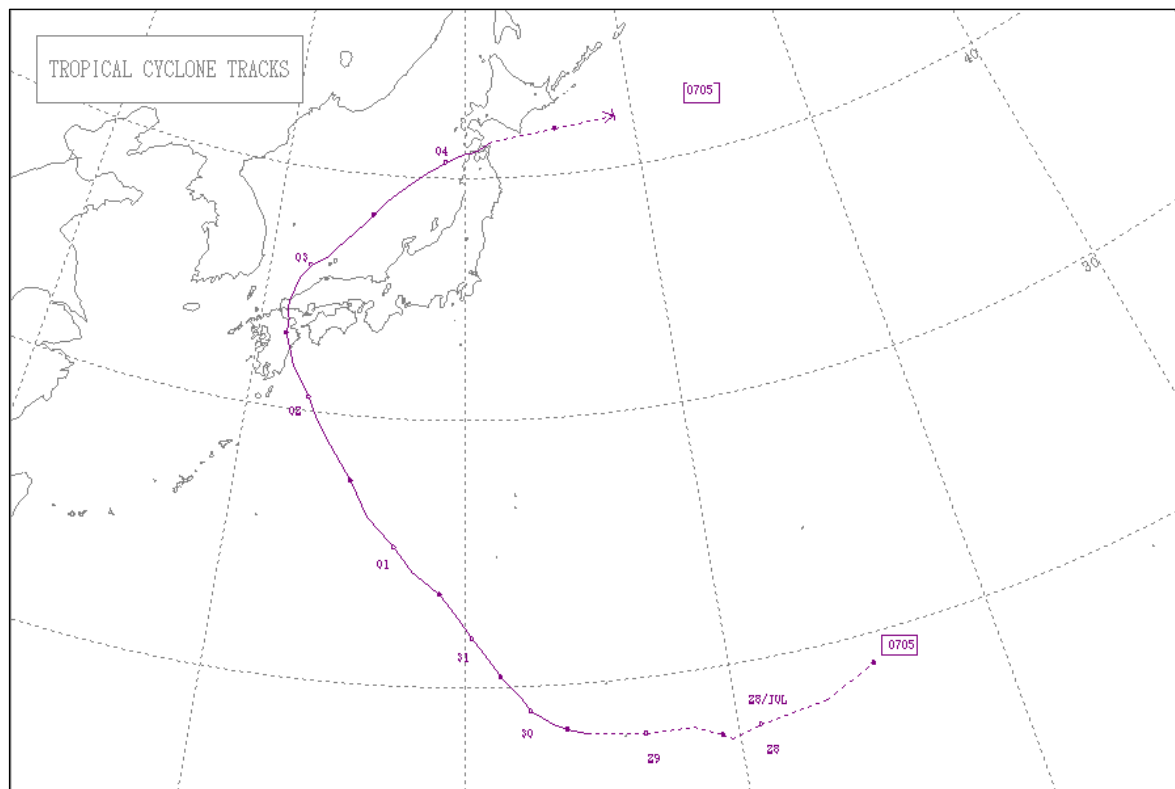
位 置 表



月 日 時	中心位置		中心気圧	最大風速	暴風域半径		強風域半径		大きさ・強さ 等	
	緯度	経度	hPa	m/s	km		km		大きさ	強さ
17 00	27.8	126.4	935	50	SE: 170	NW: 130	410		—	非常に強い
3	28.6	127.1	945	45	SE: 190	NW: 110	SE:410	NW:350	—	非常に強い
6	29.4	127.5	945	45	SE: 190	NW: 110	SE:370	NW:330	—	非常に強い
9	30.3	128.0	945	45	SE: 190	NW: 110	SE:370	NW:330	—	非常に強い
12	31.3	128.6	945	45	SE: 190	NW: 110	SE:370	NW:330	—	非常に強い
15	32.1	129.1	950	40	SE: 190	NW: 110	SE:370	NW:330	—	強い
18	32.9	129.8	950	40	SE: 190	NW: 110	SE:370	NW:330	—	強い
21	34.0	130.4	965	35	SE: 190	NW: 110	SE:370	NW:330	—	強い
18 00	34.8	130.9	970	35	SE: 170	NW: 130	SE:370	NW:330	—	強い
3	35.8	131.4	975	30	150		SE:370	NW:330	—	—
6	36.4	131.8	975	30	130		SE:370	NW:330	—	—
9	37.1	132.4	980	30	110		SE:370	NW:330	—	—
12	37.6	132.8	980	30	110		SE:370	NW:330	—	—
15	38.4	133.4	985	25	---		SE:370	NW:330	—	—
18	39.4	134.1	985	25	---		SE:370	NW:330	—	—
21	40.1	134.6	986	---	---				温帯低気圧に変わる	
19 03	41.1	135.0	988	---	---					
9 19 09	41.9	N	135.6	E	990	---	---			
15	42.9		136.5		992	---	---			
21	43.7		138.3		992	---	---			

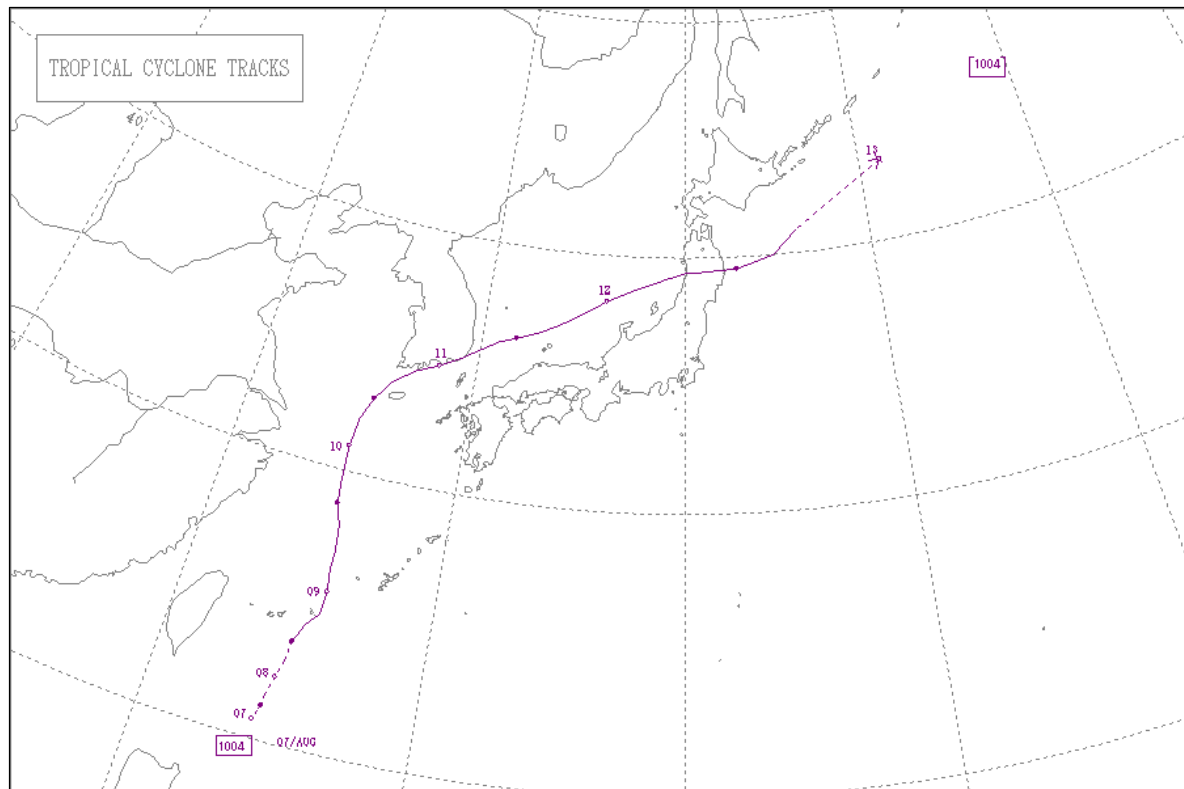
平成 19 年-5 号

位 置 表



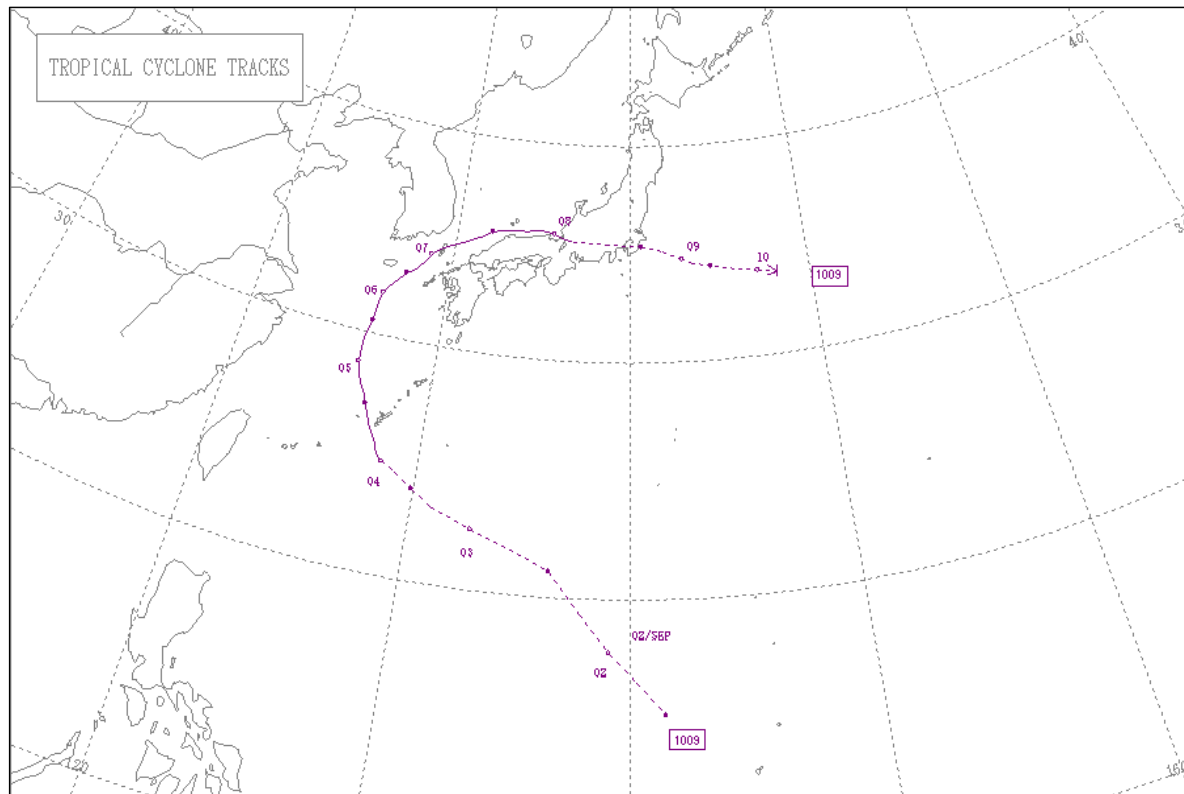
月日時	中心位置		中心気圧	最大風速	暴風域半径		強風域半径		大きさ・強さ等	
	緯度	経度	hPa	m/s	km		km		大きさ	強さ
8 2 03	29.1	133.8	945	45	170		E:440	W:310	—	非常に強い
6	29.9	133.2	945	45	190		E:440	W:330	—	非常に強い
9	30.6	132.8	945	45	190		E:440	W:330	—	非常に強い
12	31.3	132.3	955	45	190		E:440	W:330	—	非常に強い
15	31.8	131.9	960	40	170		E:440	W:300	—	強い
17	32.3	131.7	960	40	170		E:410	W:300	—	強い
18	32.5	131.6	965	35	170		E:410	W:300	—	強い
21	33.0	131.4	975	30	SE: 150	NW:70	E:390	W:260	—	—
3 00	33.6	131.4	985	30	SE: 130	NW:60	E:390	W:220	—	—
1	33.9	131.3	985	30	SE: 130	NW:60	E:390	W:220	—	—
3	34.3	131.3	990	25	---		E:390	W:220	—	—
6	35.3	131.6	990	23	---		E:390	W:190	—	—
9	35.9	132.1	992	23	---		SE:390	NW:150	—	—
12	36.3	132.8	992	23	---		SE:390	NW:150	—	—
15	36.9	133.5	994	20	---		SE:370	NW:90	—	—
18	37.7	134.4	994	20	---		SE:370	NW:90	—	—
21	38.3	135.1	994	20	---		SE:330	NW:90	—	—
4 00	39.0	135.9	994	20	---		SE:330	NW:90	—	—
3	39.5	136.7	994	20	---		SE:330	NW:90	—	—
6	40.2	137.8	994	20	---		SE:330	NW:70	—	—
9	40.7	139.0	996	20	---		SE:330	NW:70	—	—
12	41.1	140.1	998	18	---		SE:280	NW:60	—	—
13	41.1	140.4	998	18	---		SE:280	NW:60	—	—
14	41.2	140.8	1000	18	---		SE:280	NW:60	—	—
15	41.6	141.6	1000	—	---		熱帯低気圧に変わる			
21	42.0	145.4	1000	—	---		温帯低気圧に変わる			

平成 22 年-4 号



平成 22 年-9 号

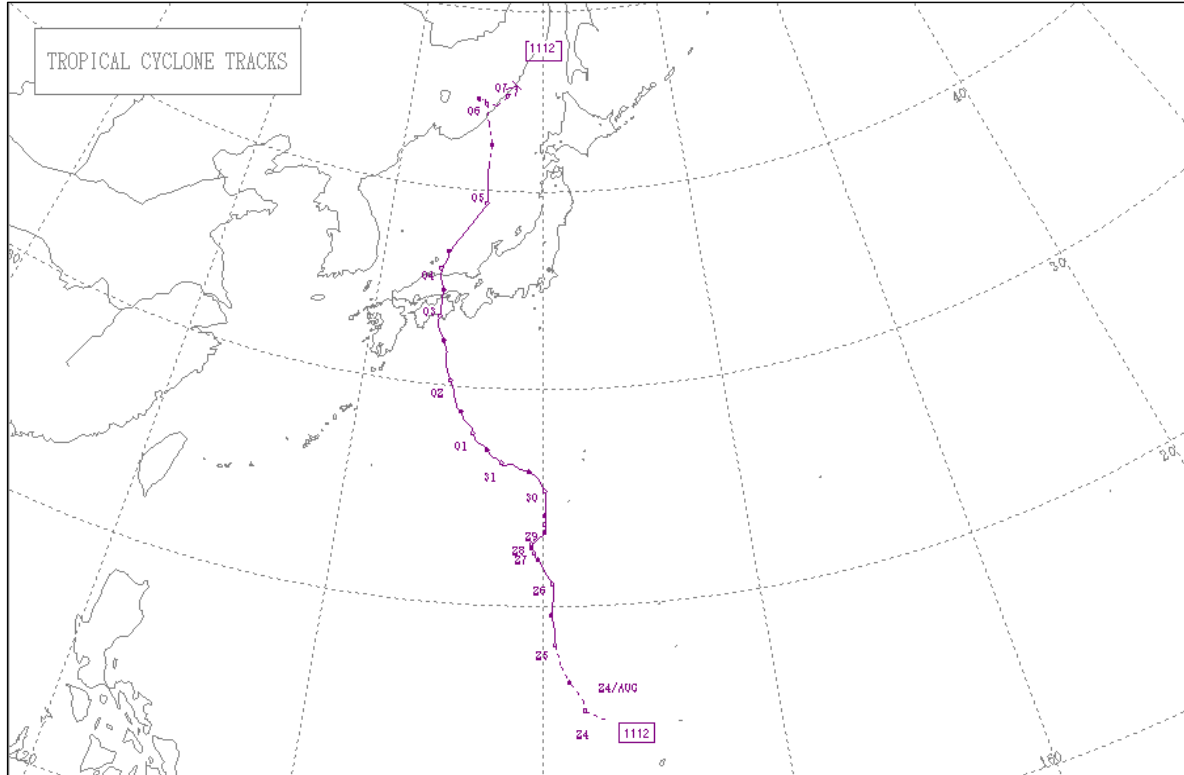
位 置 表



月日時	中心位置		中心気圧	最大風速	暴風域半径	強風域半径		大きさ・強さ 等	
	緯度	経度	hPa	m/s	km	km		大きさ	強さ
7 00	33.2	128.0	994	25	---	E:440	W:220	—	—
3	33.5	128.3	994	25	---	E:440	W:220	—	—
6	33.8	128.6	994	25	---	E:440	W:220	—	—
9	34.1	128.8	996	23	---	E:440	W:220	—	—
11	34.4	129.2	996	23	---	E:440	W:220	—	—
12	34.6	129.6	996	23	---	E:440	W:220	—	—
15	34.9	130.5	996	23	---	E:440	W:220	—	—
18	35.3	131.4	996	23	---	E:370	W:220	—	—
21	35.6	132.0	996	23	---	E:370	W:220	—	—
8 00	35.8	133.2	998	23	---	E:370	W:220	—	—
3	35.8	134.0	1000	20	---	E:260	W:220	—	—
6	35.9	134.7	1002	20	---	E:260	W:220	—	—
9	35.8	135.6	1004	18	---	E:260	W:220	—	—
11	35.6	136.0	1004	18	---	E:260	W:220	—	—
12	35.5	136.6	1004	—	---	---	熱帯低気圧に変わる		
15	35.4	138.7	1004	—	---	---			
21	35.3	140.6	1004	—	---	---			

平成 23 年-12 号

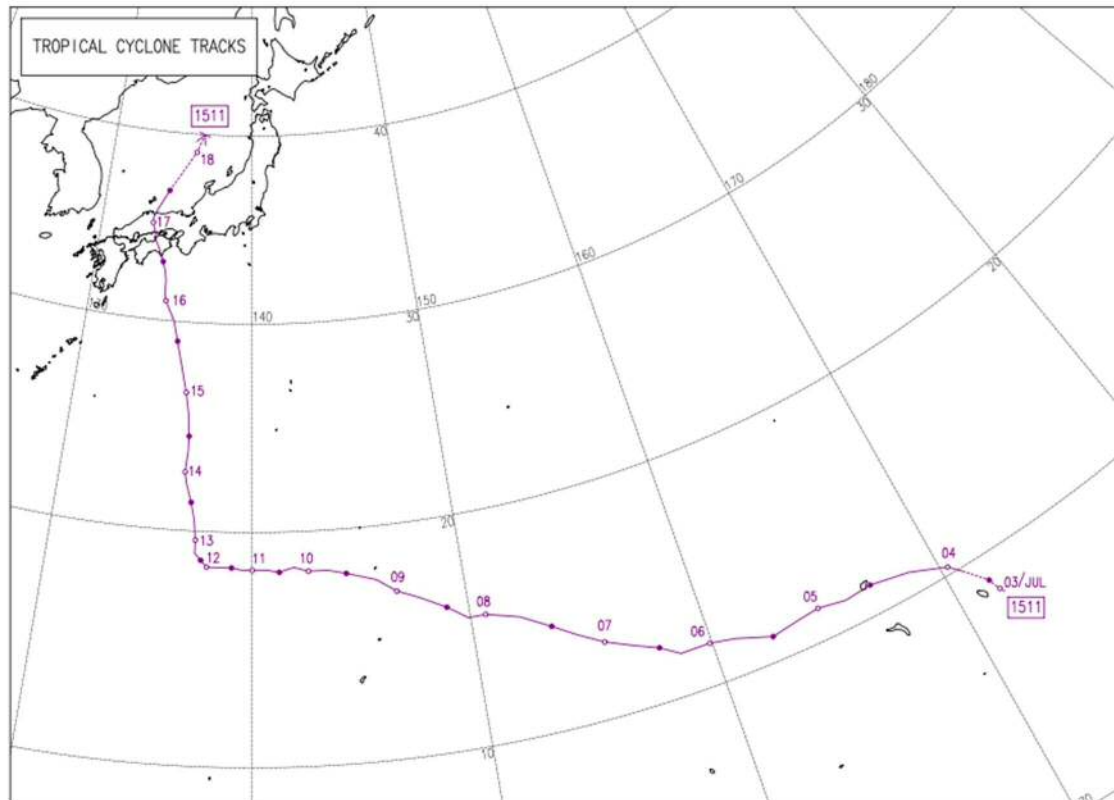
位 置 表



月 日 時	中心位置		中心気圧	最大風速	暴風域半径	強風域半径		大きさ・強さ 等	
	緯度	経度	hPa	m/s	km	km		大きさ	強さ
9 3 00	32.6	134.0	975	25	---	E:650	W:560	大型	—
3	33.0	133.8	975	25	---	E:650	W:560	大型	—
6	33.2	133.8	980	25	---	E:650	W:560	大型	—
3 09	33.4	133.9	982	25	---	E:650	W:560	大型	—
10	33.6	133.9	984	25	---	E:650	W:560	大型	—
12	33.8	133.9	985	25	---	E:650	W:560	大型	—
15	34.0	133.9	985	25	---	E:560	W:460	大型	—
18	34.4	133.9	988	23	---	E:560	W:460	大型	—
21	34.7	134.0	990	23	---	E:560	W:460	大型	—
4 00	35.0	133.9	992	23	---	E:560	W:460	大型	—
3	35.4	133.7	992	23	---	E:560	W:460	大型	—
6	35.6	133.7	994	20	---	E:560	W:460	大型	—
9	35.8	133.7	994	20	---	E:560	W:460	大型	—
12	36.0	133.8	994	20	---	E:560	W:460	大型	—
15	36.1	133.9	994	20	---	E:560	W:460	大型	—
18	36.4	134.0	994	20	---	E:560	W:460	大型	—
21	36.7	134.1	994	20	---	E:560	W:370	—	—
5 00	37.0	134.3	994	20	---	E:560	W:370	—	—

平成 27 年-11 号

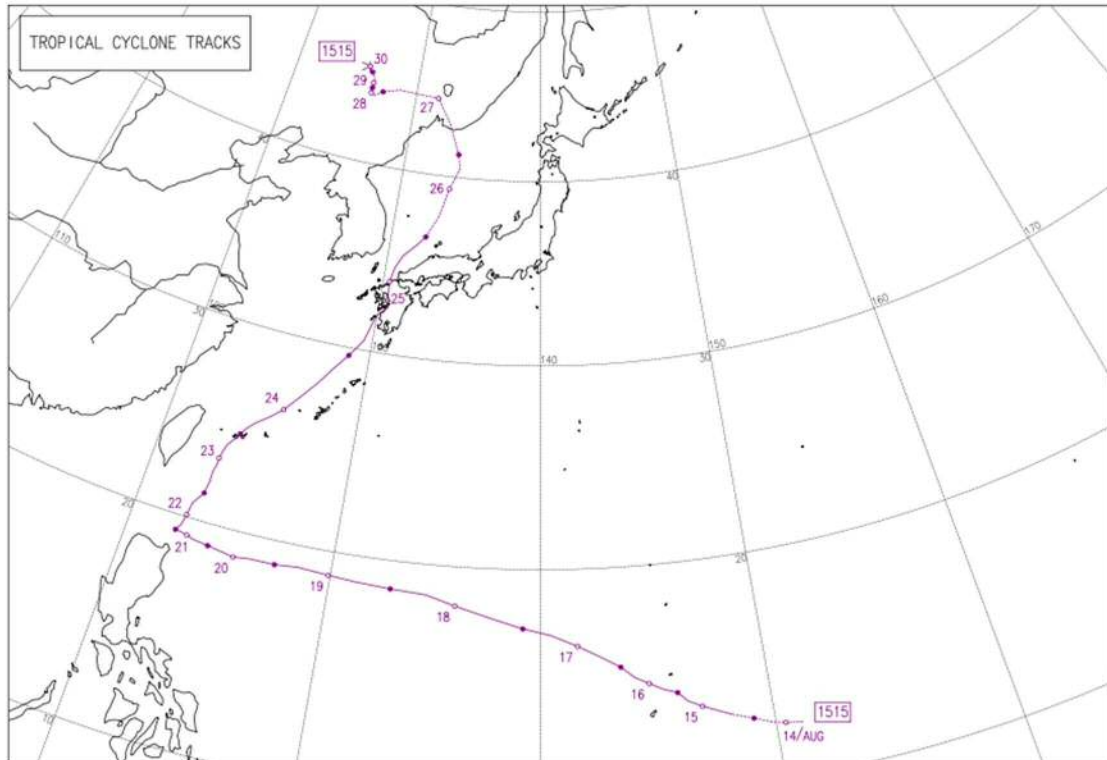
位 置 表



月 日 時	中心位置		中心気圧	最大風速	暴風域半径	強風域半径		大きさ・強さ 等	
	緯度	経度	hPa	m/s	km	km		大きさ	強さ
7 16 18	32.5	134.5	960	35	190	E:700	W:500	大型	強い
21	33.0	134.3	960	35	190	560		大型	強い
23	33.4	134.1	965	35	190	560		大型	強い
17 00	33.6	134.0	970	35	170	560		大型	強い
3	34.1	133.7	975	30	170	500		大型	—
6	34.5	133.6	985	30	150	500		大型	—
9	35.0	133.4	990	25	---	440		—	—
12	35.3	133.4	992	23	---	390		—	—
15	35.7	133.6	994	18	---	330		—	—
21	36.8	134.3	998	—	---	---	熱帯低気圧に変わる		
18 03	38.0	135.2	1002	—	---	---			
09	39.0	136.0	1004	—	---	---			
15	40.0	136.5	1004	—	---	---			
21								消滅	

平成 27 年-15 号

位 置 表



月 日 時	中心位置		中心気圧	最大風速	暴風域半径		強風域半径		大きさ・強さ 等	
	緯度	経度	hPa	m/s	km		km		大きさ	強さ
8 25 00	30.5	129.5	940	45	SE: 170	NW: 90	SE: 390	NW: 280	—	非常に強い
3	31.7	129.9	940	45	SE: 170	NW: 90	460		—	非常に強い
4	32.0	130.1	945	45	SE: 170	NW: 90	460		—	非常に強い
8 25 05	32.4	130.5	950	45	SE: 170	NW: 90	460		—	非常に強い
6	32.8	130.5	955	40	E: 190	W: 90	460		—	強い
9	33.8	130.4	965	35	E: 190	W: 90	460		—	強い
12	34.6	130.6	965	35	E: 190	W: 110	460		—	強い
15	35.3	131.0	965	35	NE: 170	SW: 110	460		—	強い
18	36.0	131.8	970	30	N: 150	S: 90	460		—	—
21	36.5	132.3	980	—	---	---	---		温帯低気圧に変わる	
26 03	37.7	133.0	980	—	---	---	---			
9	39.3	133.5	984	—	---	---	---			
15	40.5	134.1	984	—	---	---	---			
21	41.3	133.9	988	—	---	---	---			

台風第 17 号

平成 3 年（1991 年） 9 月 12 日～9 月 15 日

長崎市付近に上陸、南西諸島、九州地方で猛烈な風。那覇で最大瞬間風速 57.4m/s。

《概 要》

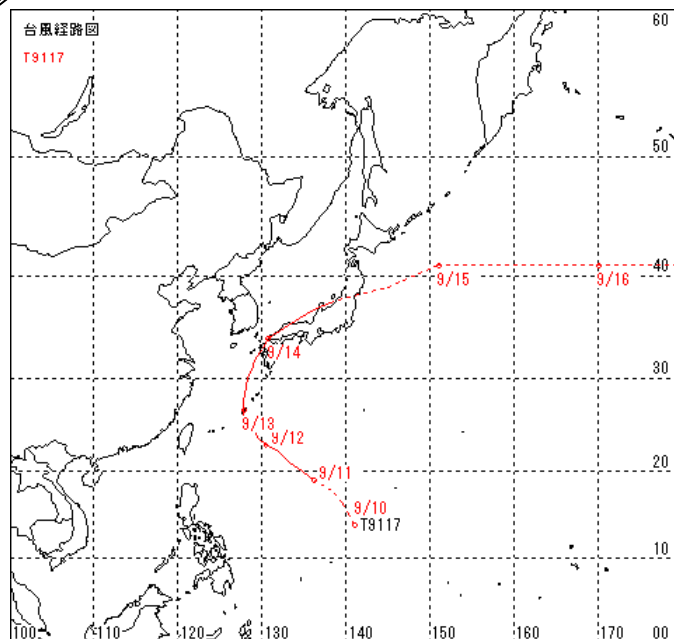
台風第 17 号は、9 月 11 日に沖の鳥島近海で発生し、発達しながら北西に進み、13 日に沖縄本島を通過した。台風は、北に向きを変え、14 日 05 時半頃長崎市付近に上陸した後、勢力を弱めながら山陰、北陸を経て、同日夜山形県米沢市付近で温帯低気圧に変わった。

台風が強い勢力で通った、沖縄、九州、中国地方を中心に広い範囲で暴風となった。最大風速は那覇で 37.9m/s（最大瞬間風速 57.4m/s）、牛深（熊本県牛深市）で 30.0m/s（同 47.6m/s）、佐賀で 25.6m/s（同 54.3m/s）などを観測した。これらの地域で暴風による漁船の遭難や家屋の倒壊等の被害があった。期間降水量は、四国南東部、紀伊半島、東海、甲信地方で 200～300mm となった所があった。また、前原（福岡県前原市）で 14 日の朝、1 時間に 147mm（日降水量 280mm）の猛烈な雨を観測し、浸水等の被害があった。

《平成 3 年台風第 17 号の位置表》

月日時	緯度 北緯(度)	経度 東経(度)	中心気圧 (hPa)	最大風速 (m/s)	暴風域半径 (km)	強風域半径 (km)
09 月 14 日 00 時	30.9	128.7	955	40	130	390
09 月 14 日 03 時	31.9	129.1	960	40	130	390
09 月 14 日 05 時	32.7	129.7	965	35	110	390
09 月 14 日 06 時	33.1	130.1	970	35	110	390
09 月 14 日 09 時	34.1	130.7	980	30	90	390
09 月 14 日 12 時	35.1	132.6	985	30	90	S560,N370
09 月 14 日 15 時	36.0	134.4	990	30	90	S560,N370
09 月 14 日 18 時	37.0	136.4	992	23	—	E560,W370
09 月 14 日 20 時	37.5	138.0	996	23	—	E560,W370
09 月 14 日 21 時	38.0	140.0	1000			
09 月 15 日 03 時	39.0	145.0	1004			
09 月 15 日 09 時	41.0	151.0	1004			
09 月 15 日 15 時	41.0	156.0	1004			
09 月 15 日 21 時	41.0	162.0	1004			

《台風 17 号経路図》

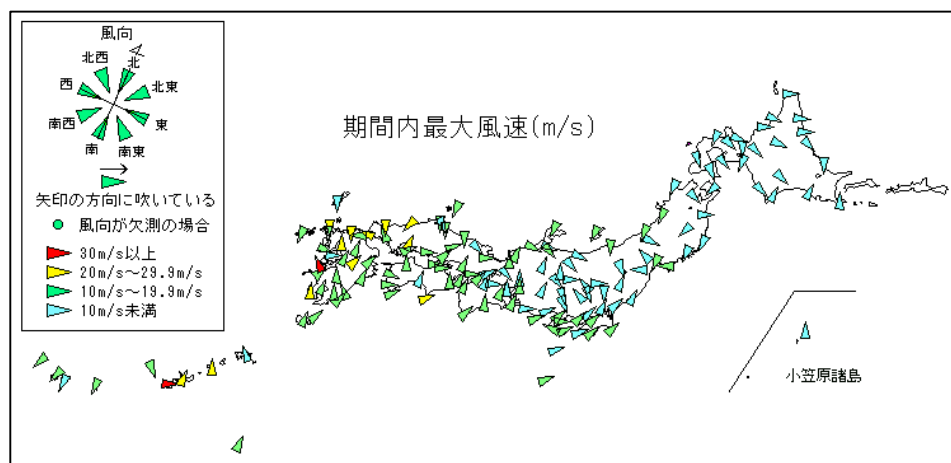


《降水量表》

地点名	期間降水量	最大日降水量		最大 1 時間降水量		最大 1 時間降水量	
	mm	mm	月日	mm	月日時分迄	mm	月日時分迄
松江（島根県松江市）	59.0	52.5	9/14	12.5	9/14 07:20	6.5	9/14 06:30
西郷（島根県西郷町）	238.0	236.0	9/14	60.0	9/14 13:30	12.0	9/14 13:00

《最低海面気圧、最大風速、最大瞬間風速観測表》

地点名	最低海面気圧		最大風速			最大瞬間風速		
	hPa	日時分	m/s	風向	日時分	m/s	風向	日時分
松江（島根県松江市）	995.4	9/14 11:51	13.6	NNW	9/14 14:30	27.2	NNW	9/14 14:55
西郷（島根県西郷町）	999.7	9/14 13:40	14.1	N	9/14 14:30	35.1	N	9/14 15:04



台風第 19 号

平成 3 年（1991 年） 9 月 25 日～9 月 28 日

長崎県に上陸。全国各地で猛烈な風による死者多数。各地で倒木。

りんごなど農業被害甚大。高潮害・塩風害顕著。

《概 要》

台風第 19 号は、9 月 16 日にマーシャル諸島の西海上で発生して発達しながら北上し、26 日に宮古島の東海上で北東に向きを変え、27 日 16 時過ぎ非常に強い勢力で長崎県佐世保市の南に上陸した。その後、加速しながら日本海を北東に進み、強い勢力で北海道渡島半島に再上陸し、28 日千島近海で温帯低気圧に変わった。

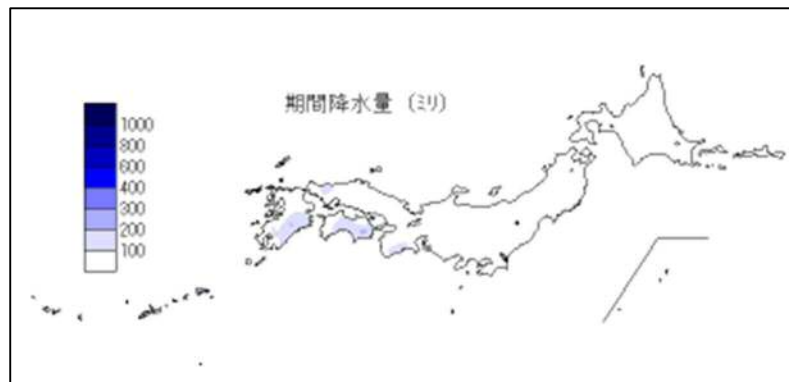
台風が非常に強い勢力で上陸し、勢力をほぼ維持したまま速い速度で北上したため、沖縄から北海道まで全国で猛烈な風となった。最大風速は、那覇で 29.1m/s（最大瞬間風速 50.1m/s）、野母崎（長崎県野母崎町）で 45m/s、長崎で 25.6m/s（同 54.3m/s）、広島で 36.0m/s（同 58.9m/s）、輪島（石川県輪島市）で 31.3m/s（同 57.3m/s）、青森で 29.0m/s（同 53.9m/s）などを観測した。26 日には、沖縄県喜屋武岬で 9.54m の有義波高を観測した。このため全国で、暴風により多数の死者、家屋の倒壊等があった。また青森県などで収穫前のリンゴの落果、西日本を中心に塩風による果樹等の枯死、全国で森林の倒木被害など農林水産業に甚大な被害があった。瀬戸内海などで顕著な高潮が発生し、高波とあいまって浸水や護岸の決壊などの被害があった。また、暴風により送電施設に被害が発生し広範囲にわたり停電があったほか、塩風害により長期にわたる停電被害もあった。九州地方、中国地方、四国地方、近畿地方では、最大潮位偏差が 100cm 以上、最高潮位が TP 上 200cm 以上に達し、瀬戸内海などで顕著な高潮が発生し、高波とあいまって浸水や護岸の決壊などの被害があった。

《台風位置情報》

月日時	緯度 北緯(度)	経度 東経(度)	中心気圧 (hPa)	最大風速 (m/s)	暴風域半径 (km)	強風域半径 (km)
09 月 27 日 00 時	27.3	126.2	930	50	E300,W260	E750,W480
09 月 27 日 03 時	28.1	126.4	930	50	E300,W260	E750,W480
09 月 27 日 06 時	29.0	126.9	935	50	E300,W260	E750,W480
09 月 27 日 09 時	29.9	127.6	935	50	E300,W260	E750,W480
09 月 27 日 12 時	31.2	128.4	935	50	E300,W260	E750,W480
09 月 27 日 15 時	32.5	129.3	935	50	SE330,NW260	SE750,NW480
09 月 27 日 16 時	32.8	129.7	940	50	SE330,NW260	SE750,NW480
09 月 27 日 18 時	33.9	130.6	945	45	SE370,NW260	SE750,NW480
09 月 27 日 21 時	35.5	132.3	945	45	SE440,NW260	SE750,NW480
09 月 28 日 00 時	37.1	133.9	950	45	SE440,NW260	SE750,NW480
09 月 28 日 03 時	39.0	136.3	950	45	SE440,NW260	SE850,NW480
09 月 28 日 06 時	40.7	138.3	955	40	SE480,NW260	SE900,NW480
09 月 28 日 07 時	41.2	139.0	955	40	SE480,NW260	SE900,NW480
09 月 28 日 09 時	43.5	141.7	970	35	SE520,NW260	SE900,NW480
09 月 28 日 12 時	45.5	145.5	970	30	SE520,NW220	SE1000,NW480
09 月 28 日 15 時	47.0	148.0	966			
09 月 28 日 21 時	48.0	152.0	966			

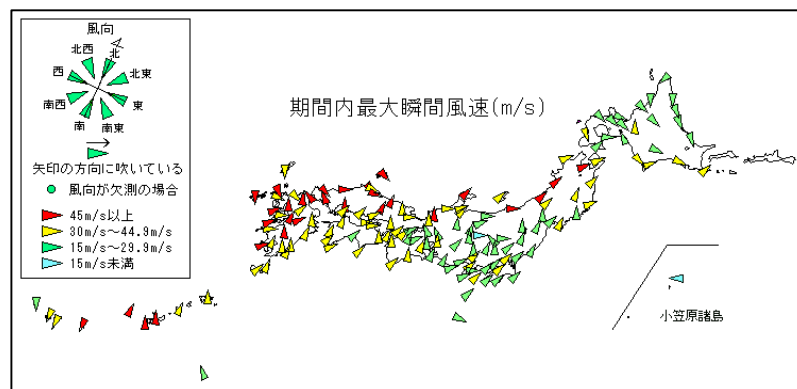
《降水量表》

地点名	期間降水量	最大日降水量		最大 1 時間降水量		最大 10 分間降水量	
	mm	mm	月日	mm	月日時分迄	mm	月日時分迄
松江（島根県松江市）	22.0	8.0	9/28	5.5	9/28 05:50	2.5	9/28 05:40
西郷（島根県西郷町）	44.5	38.5	9/27	28.0	9/27 21:50	8.0	9/27 21:40



《風向・風速表》

地点名	最低海面気圧		最大風速			最大瞬間風速		
	hPa	日時分	m/s	風向	日時分	m/s	風向	日時分
松江（島根県松江市）	966.1	9/27 21:17	28.5	W	9/27 23:00	56.5	WNW	9/27 23:04
西郷（島根県西郷町）	964.3	9/27 22:53	23.1	NW	9/27 23:50	50.6	WNW	9/27 23:38



(資料 18)

島根県医師会医療救護計画

昭和 58 年 8 月制定

1. 目 的

この計画は、島根県地域防災計画と相まって、地域に係る災害発生時の医療救護対策、並びに他県等の災害に対する医療救護の要請に関し計画を定め、もって災害医療救護の万全を期することを目的とする。

2. 組 織

- (1) 島根県医師会医療救護対策本部
- (2) 郡市医師会医療救護対策本部

3. 医療救護活動

(1) 医療救護対策本部の設置

県医師会長（又は郡市医師会長）は、災害が発生し、又は発生の恐れがあり、知事（文は市町村長）から緊急に医療救護の出動要請があった時、又自らその必要を認めた時は直ちに対策本部を設置し、本部長となり医療救護班を編成し、医療救護資材等を確保するとともに、防災会議、消防署、警察署、医療機関その他関係諸機関、団体等との情報連絡を密にして、医療救護活動の推進をはかる。

(2) 医療救護対策本部及び医療救護班の編成

本部及び医療救護班の編成は、原則として別記編成表によるものとし、災害の規模、内容及び災害の推移状況等により、本部長が増員、縮少、交替等を行うものとする。

(3) 標 識

医師会員及び職員が医療救護活動に従事する時は、業務の円滑な推進をはかるため、別記様式(1)の医療救護装備（ヘルメット、腕章、ゼッケン）を着用し、使用しない場合には袋へ収納しておくこととし、車両には様式(2)の標識を表示するものとする。

(4) 記録及び報告

救護班長は、救護班の活動概況を適時本部に通報連絡すると共に、別記様式(3)により記録して、様式(4)により日報として本部長に報告するものとする。

隠岐島前医師会医療救護班編成表

本 部 長	木 田 川 利 行	(医師会会長)	(08514)	2-0200
	標 識 No. 000519		FAX	2-1632
副 本 部 長	白 石 吉 彦	(島前病院)		7-8211
	標 識 No. 000515			
本 部	島 前 病 院	(西ノ島町美田)	(08514)	7-8211
			FAX	7-8702
関 連 機 関	隠岐支庁隠岐保健所	島前保健環境課	(08514)	7-8121
	西ノ島町役場			6-0101
	海士町役場			2-0111
	知夫村役場			8-2211
	浦郷警察署			6-0121
	隠岐島消防署島前分署			6-1119
	〃 海士出張所			2-1119
	〃 知夫出張所			8-2119

班	標識 No.	氏名	病医院名	住所	診療科目	電話番号
一班 (西ノ島町・知夫村)	000516	○福 田 聡 司	島 前 病 院	西ノ島町美田	内	(08514) 7-8211
		板 持 卓 也	〃	〃	内	(08514) 7-8211
		吹 譯 紀 子	〃	〃	内	(08514) 7-8211
	000515	白 石 吉 彦	〃	〃	内・外	(08514) 7-8211
	000514	白 石 裕 子	浦郷診療所	浦郷 44-15	内・小	(08514) 6-1211
	000517	塚 尾 仁 一	知夫診療所	知夫村 知夫 1106-3	内	(08514) 8-2011
二班 (海士町)	000518	○榊 原 均	海士診療所	海 士 町 海 士	内・小	(08514) 2-0200
	000519	木田川 利 行	〃	〃	内	(08514) 2-0200

○印は班長

（資料 19）

（島根県地域防災計画より）

島根県知事 様

文 書 番 号
平成 年 月 日
発 信 者 名

自衛隊の災害派遣要請について（依頼）

このことについて、下記のとおり、自衛隊の災害派遣要請を依頼します。

記

1. 災害の状況及び派遣要請を依頼する事由

- （1）災害の状況（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする）
- （2）派遣を要請する事由

2. 派遣を希望する期間

3. 派遣を希望する区域及び活動内容

- （1）派遣を希望する区域
- （2）活動内容

4. その他参考となるべき事項

- （1）連絡場所及び連絡責任者

5. 要請日時

年 月 日 時 分

島根県知事 様

文 書 番 号
平成 年 月 日
発 信 者 名

自衛隊の災害派遣撤収要請について（依頼）

このことについて、下記のとおり、撤収要請を依頼します。

記

1. 撤収を要請する事由

2. 任務完了（予定）日時

年 月 日 時 分

3. 撤収要請日時

年 月 日 時 分

4. その他必要な事項

(資料 20)

土砂災害警戒情報関係資料

(島根県 HP 及び気象庁 HP より)

1 土砂災害警戒情報について

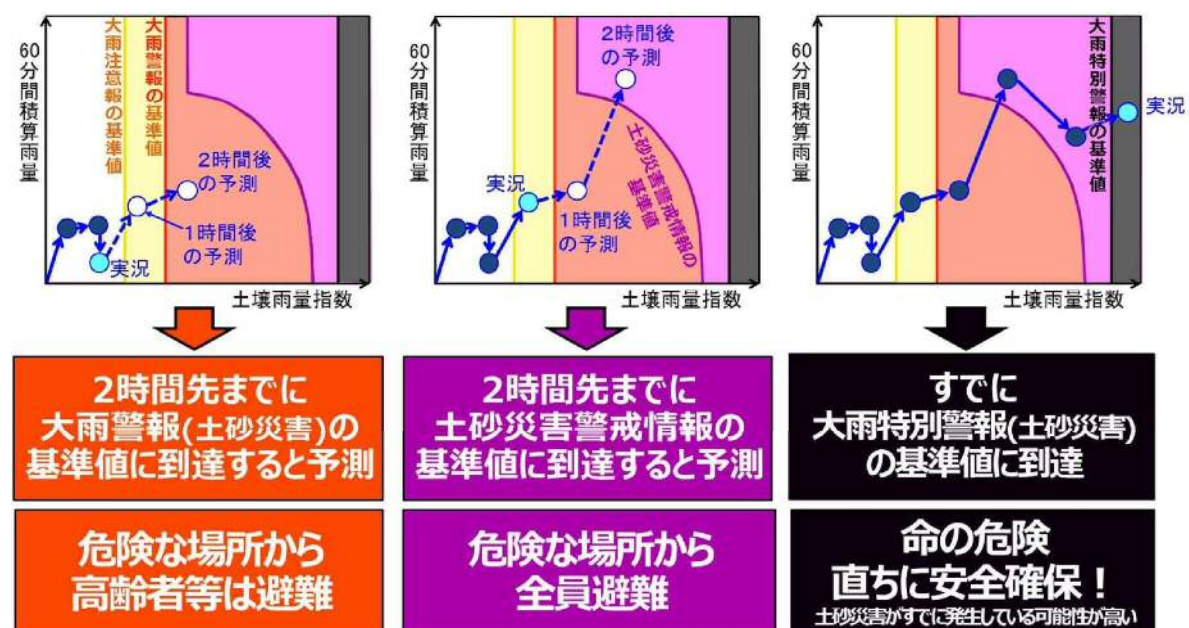
土砂災害警戒情報は、土石流や集中して起きるがけ崩れにより土砂災害が発生する恐れがある時に、松江地方気象台と島根県が共同で発表する情報である。

土砂災害警戒情報は市町村を単位として発表される情報で、市町村長が出す避難勧告等の判断材料及び、住民が自主避難する場合の目安となるものである。

2 土砂災害警戒情報の仕組み

次の3枚のグラフのうち、右側のグラフのように実況値がすでに大雨特別警報（土砂災害）の基準値以上となった場合（黒）には、命に危険が及ぶ土砂災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となる。このため、避難に要する時間を考慮して、真ん中のグラフのように2時間先までの予測値が土砂災害警戒情報の基準以上となると予想された時点

（紫）（警戒レベル4相当情報[土砂災害]）で可能な限り速やかに土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当情報[土砂災害]）が発表される。さらに、高齢者等の方の避難に要する時間を考慮して、大雨警報（土砂災害）を土砂災害警戒情報よりも1時間程度早く発表できるように基準が定められており、左側のグラフのように2時間先までの予測値が大雨警報（土砂災害）の基準以上となると予想された時点（赤）（警戒レベル3相当情報[土砂災害]）で大雨警報（土砂災害）（警戒レベル3相当情報[土砂災害]）が発表される。



3 土砂災害危険度情報

島根県砂防課では、土砂災害警戒情報を補足する情報として、ホームページを活用して、「土砂災害危険度情報」公開している。

ホームページ及び携帯で公開する土砂災害危険度情報は、土砂災害が多発する恐れがあるまでの時間（危険度）を気象台から提供された予測雨量等から「いつ危ないか」を表示している。

◆土砂災害警戒情報の補足情報

（危険度情報の表示）

相当する警戒レベル	危険度	危険度が示す状況と対処方法
警戒レベル 4 相当	すでに基準値超	現在の降雨指標が、土砂災害発生基準値を超過した状態 命に危機が及ぶような土砂災害がすでに発生しているにもかかわらずおかしくない極めて危険な状況 （避難していない場合は身の安全の確保が必要）
	1 時間以内に基準値超過	降雨指標が、今後 1 時間以内に土砂災害発生基準値を超過すると予測される状態 土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況 （危険な場所から避難を完了しておく必要がある）
	2 時間以内に基準値超過	降雨指標が今後 2 時間以内に土砂災害発生基準値に到達すると予測される状態 土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況 （危険な場所から避難する必要がある）
警戒レベル 3 相当	3 時間以内に基準値超過	降雨指標が、今後 3 時間以内に土砂災害発生基準値を超過すると予測される状態 土砂災害が発生しやすくなっており、十分な警戒が必要 （避難に時間要する高齢者等は避難の開始を、それ以外の者は避難の準備が必要な状況）
	警報	大雨警報（土砂災害）の発表基準 土砂災害が発生しやすくなっており、十分な警戒が必要 （避難に時間要する高齢者等は避難の開始を、それ以外の者は避難の準備が必要な状況）
警戒レベル 2 相当	注意	大雨注意報の発表基準 土砂災害への注意が必要 （ハザードマップ等で避難行動を確認）

(資料 21)

避難所リスト

1. 指定避難所

名称	所在地	電話番号	適応災害名
隠岐島前高等学校体育館	隠岐郡海士町大字福井1403番地	2-0731	火・洪・高・津・震・崩
菱浦地区集会所	隠岐郡海士町大字福井968番地4	2-0549	火・洪・高・　・震・崩
福井小学校体育館	隠岐郡海士町大字福井394番地2	2-0750	火・洪・高・　・震・崩
福井地区集会所	隠岐郡海士町大字福井277番地3	2-1566	火・洪・高・津・震・崩
西地区集会所	隠岐郡海士町大字海士116番地1	2-1250	火・洪・高・津・震・崩
海士中学校体育館	隠岐郡海士町大字海士944番地	2-0744	火・洪・高・津・震・崩
隠岐開発総合センター島民ホール	隠岐郡海士町大字海士1490番地	2-1221	火・洪・高・津・震・崩
中里地区集会所（諏訪会館）	隠岐郡海士町大字海士1453番地	2-1254	火・洪・高・津・震・崩
海士小学校体育館	隠岐郡海士町大字海士3428番地1	2-0217	火・洪・高・津・震・崩
東地区集会所	隠岐郡海士町大字海士2458番地3	2-0703	火・洪・高・津・震・崩
北分地区集会所	隠岐郡海士町大字海士4392番地	2-0111	火・洪・高　　・震・崩
宇受賀地区集会所	隠岐郡海士町大字宇受賀202番地1	2-1730	火・洪・高・津・震・崩
豊田地区集会所	隠岐郡海士町大字豊田146番地5	2-1606	火・洪・　　・震・崩
保々見地区集会所(天川会館)	隠岐郡海士町大字知々井498番地	2-0111	火・洪・高　　・震・崩
知々井地区集会所(知々井会館)	隠岐郡海士町大字知々井43番地	2-0111	火・洪・高・津・震・崩
御波地区集会所	隠岐郡海士町大字御波166番地2	2-0202	火・洪・高・　・震・崩
多井地区集会所	隠岐郡海士町大字崎1052番地2	2-0111	火・洪・高・津・震・崩
崎地区集会所(崎文化センター)	隠岐郡海士町大字崎1748番地	2-0223	火・洪・高・津・震・崩
日須賀地区集会所	隠岐郡海士町大字御波554番地1	2-0111	火・洪・高・　・震・崩
都市農村交流センター	隠岐郡海士町大字海士5328番地6	2-1313	火・洪・高・津・震・崩

2. 指定緊急避難場所

名称	所在地	電話番号	適応災害名
隠岐島前高等学校グラウンド	隠岐郡海士町大字福井1403番地	2-0731	火・洪・高・津・震・崩
福井小学校グラウンド	隠岐郡海士町大字福井394番地2	2-0750	火・洪・震・崩
海士中学校グラウンド	隠岐郡海士町大字海士944番地	2-0744	火・洪・高・津・震・崩
海士小学校グラウンド	隠岐郡海士町大字海士3428番地1	2-0217	火・洪・高・津・震・崩

3. 福祉避難所

名称	所在地	電話番号	適応災害名
保健福祉センターひまわり	隠岐郡海士町大字海士3969番地1	2-0010	火・洪・高・津・震・崩

4. 津波避難集合場所（一時避難集合場所）

地区No.	避難場所名称	地区No.	避難場所名称
菱浦①	隠岐島前高校グラウンド	宇受賀①	浜（大野さん宅地→裏山）
菱浦②	御倉神社西側 家督林道三叉路	宇受賀②	豊子バス停広場
菱浦③	大橋墓地	宇受賀③	長崎堀割先広場
菱浦④	西坂（島前大橋取付道入口）	豊田①	県道海士島線 保々見分岐三叉路
菱浦⑤	今浦（福井小学校上家督林道）	豊田②	崎野さん農機小屋前
福井①	宮田神社境内	保々見①	穂々見神社参道第2階段
福井②	郡崎（塩々会横三叉路）	保々見②	県道海士島線 小崎荘上 広場
西①	建須佐雄神社境内	保々見③	井上さんの大工小屋
西②	諏訪御波線 東寺内三叉路	知々井①	お堂前
西③	パーラー海士駐車場	知々井②	ニジ山（墓所前 道路待避所）
西④	矢原奥溜池下	御波①	平田さんの小屋 広場
中里①	今井奥	御波②	布施神社 境内
中里②	中里農免道三叉路	御波③	百 墓（寺坂）
中里③	隠岐神社拝殿前	御波④	奈須神社下鳥居前
東①	東神社裏墓所	多井①	神社裏上道路待避所
東②	農村公園	多井②	千墓の上町道待避所
東③	持苗住宅上道路 待避所	崎①	崎小学校跡地
東④	柿田養蚕場建物周辺	崎②	崎保育所跡地
東⑤	寺坂（金光寺参道）	崎③	法久寺
北分①	中本宅前の道路待避所	崎④	帰路ヶ崎分岐三叉路（門根）
北分②	念 堂（ねんだ）	日須賀①	日御碕神社境内
北分③	吉 津（川井宅上道路待避所）	日須賀②	風呂屋海水浴場入口
北分④	ひまわり駐車場	日須賀③	県道分岐日須賀線三叉路

(資料 22)

判定基準 (1)

被害等区分		判定基準
人的被害	(1) 死者	当該災害が原因で死亡し、遺体を確認した者、又は遺体を確認することができないが死亡したことが確実な者とする。
	(2) 行方不明者	当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いのある者とする。
	(3) 重傷者、軽傷者	当該災害のため負傷し、医師の治療を受け又は受ける見込みのある者のうち「重傷者」とは1月以上の治療を要する見込みの者とし、「軽傷者」とは、1月未満で治療できる見込みの者とする。
	(4) り災者	り災世帯の構成員
	(5) り災世帯	住家に(8)(9)(11)の被害を受けた世帯
	(6) 世帯	生計を一つにしている実際の生活単位 (同一家屋の親子夫婦であっても、生活の実態が別々であれば当然2世帯となり、また主として学生等を宿泊させている寄宿舍、下宿その他これらに類する施設に宿泊するもので、共同生活を営んでいる者については、原則としてその寄宿舍等を1世帯とし取扱う。)
建物被害	(7) 住家	現実に居住のため使用している建物をいい、社会通念上の住家であるかどうかを問わない。
	(8) 住家全壊、全焼又は流失	住家がその居住のための基本的機能を喪失したもの、すなわち、住家全部が倒壊、流失、埋没、焼失したもの、又は住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難なもので、具体的には、住家の損壊、焼失若しくは流失した部分の床面積がその住家の延べ面積の70%以上に達した程度のもの又は住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が50%以上に達した程度のものとする。 住家被害戸数については「孤立して家庭生活を営むことができるよう建築された建物又は完全に区画された建物の一部」を戸の単位として算定するものとする。(半壊、半焼も同様)
	(9) 住家半壊又は半焼	住家がその居住のための基本的機能の一部を喪失したもの、すなわち、住家の損壊が甚だしいが、補修すれば元通りに再使用できる程度のもので、具体的には、損壊部分がその住家の延床面積の20%以上70%未満のもの、又は住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が20%以上50%未満のものとする。
	(10) 破損	(8)、(9)、(11)及び(12)に該当しない場合であって、浸水がその住家の床上に達した程度のもの、又は土砂竹木等の堆積等により一時的に居住することができない状態となったもの。 家屋の一部が破損した状態をいう。(窓硝子が数枚破損した程度の軽微な被害は含まない。)
	(11) 床上浸水	浸水がその住家の床上に達した程度のもの及び(8)、(9)に該当しないが土砂、竹木の堆積等のため一時的に居住することができないもの。ただし、同一の家屋で被害の程度が半壊以上に達している場合は、半壊又は全壊として取扱う。
	(12) 床下浸水	前各項に該当しない場合であって、浸水がその住家の床上に達しないもの。
	(13) 非住家	住家以外の建築物をいうものとする。なお、官公署、学校、病院、公民館、神社、仏閣等は非住家とする。ただし、これらの施設に、常時人が居住している場合は、当該部分は住家とする。

被害等区分			判定基準
農地被害	(14)	流失	その筆における耕土の10%以上が流失した状態のもの。
	(15)	埋没	土砂が耕地を被覆し、耕地として利用できなくなった状態のもの。
	(16)	流入	平均粒径0.25mm以上の土砂が、筆別に2cm以上流入したもの、又は平均粒径0.25mm以下の土砂が、筆別に5cm以上流入したもの。
	(17)	冠水	作物全部が水中に没した状態のもの。
	(18)	浸水	作物が平常時必要とする水量以上に浸水し、かつ冠水に至らない状態のもの。
漁船被害	(19)	大破	復旧経費が、被災前におけるその物の価値の1/2以上に達するもの。
	(20)	中破	復旧経費が大破には達しないが、被災前におけるその物の価値の1/10以上に達するもの。
	(21)	小破	復旧経費が中破には達しないが、平常時における維持修理経費では復旧できない程度のもの。

判定基準 (2) (即報にかかる被害のみ適用)

被害等区分			判定基準
人的被害	住家の被害	農地の被害	判定基準(1)と同じ
非住家			住家以外の建物で、半壊以上の被害を受けたもの。
道路	損壊		国道、県道、市町村道、及び大型農道の一部が損壊し、車両の通行が不能となった程度
橋梁	流失		市町村道以上の道路に架設した橋の一部又は全部が流失し、一般の渡橋が不能となった程度
山、崖	崩れ		崖崩れ、地すべり等によって、負傷者以上の人的被害、公共建物及び住宅に一部破損以上の損害を与えたもの。
船舶被害	(沈没・流失、破損)		櫓櫓のみをもって運転する舟以外の船で、船体が没し航行不能となったもの及び流失し所在が不明となったもの。 修理しなければ航行できない程度のもの。
櫓櫓等	による	舟	破損以上の被害を受けたもの。
鉄道	不通箇所		汽車、電車などの通行が不能となった箇所
通信施設	の破損		電信、電話が故障し、通信不能となった回線
有線放送			市町村、農協等が設置した有線放送が破損し、通信不能となった世帯数
水道	障害		水道法に定める水道事業及び水道用水供給事業の水道施設が破損し、給水が不能となったもの。
溜池水路	決壊		溜池及び水路が決壊し、応急復旧を要する程度のもの。
堤防	の決壊		河川(湖)等の堤防護岸が決壊し、応急復旧を要する程度
廃棄物処理施設			ごみ処理及びし尿処理施設で、機能に支障をきたす程度の被害
その他の被害			農業用施設、林業用施設、砂防施設、港湾及び漁港施設、農作物の被害で特に報告を必要とするもの。

(資料 23)

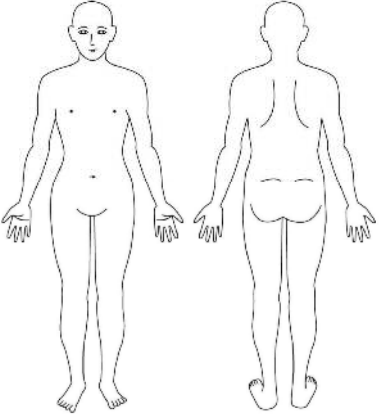
(例)

裏面

○

特記事項

受傷箇所



特記事項（搬送・治療上に留意すべき事項等）

0 (黒色)
I (赤色)
II (黄色)
III (黄緑)

表面

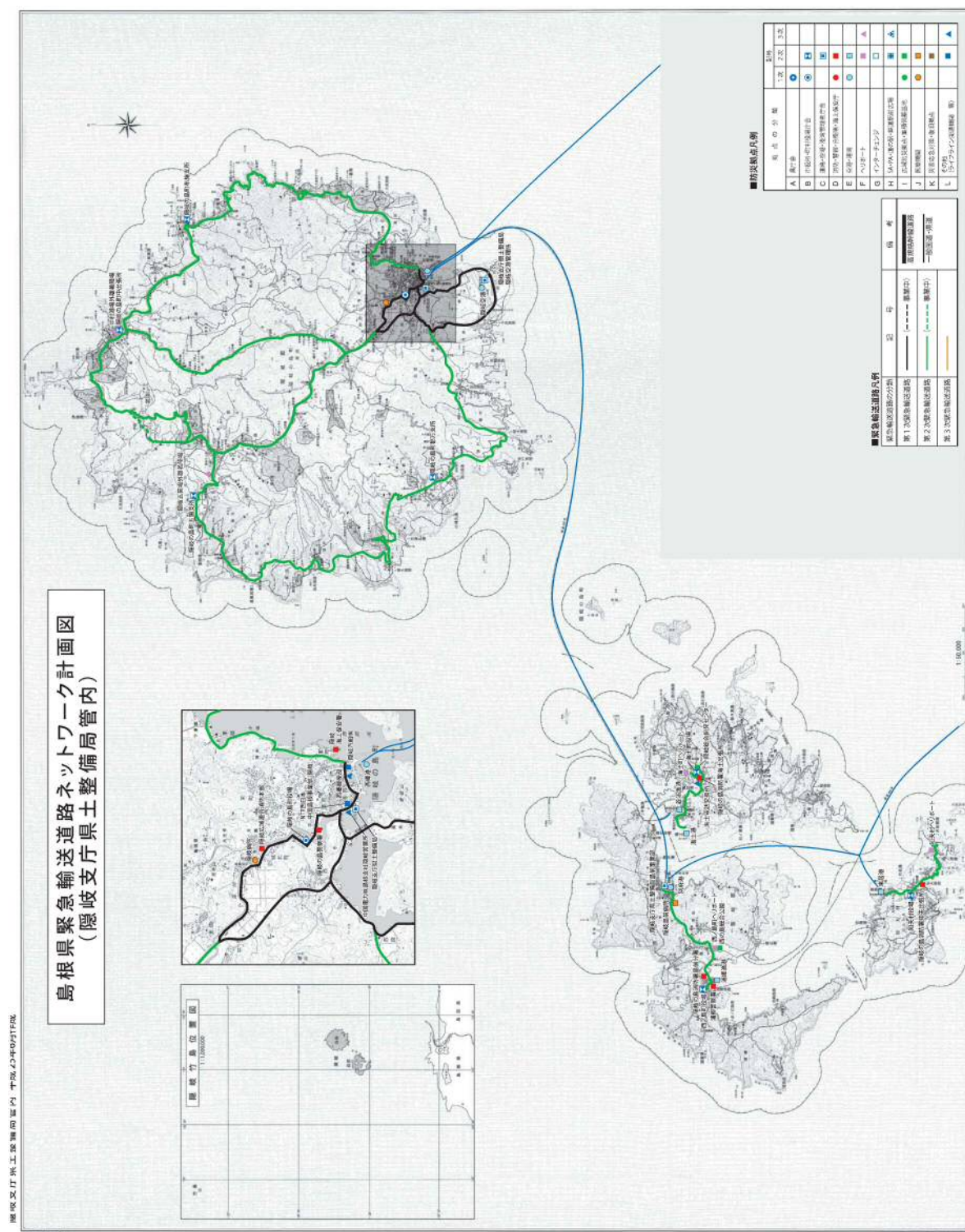
○

トリアージ・タグ

(災害現場用)
(搬送機関用)

No.	氏名 (Name)	年齢 (Age)	性別 (Sex) 男 (M) 女 (F)
住所 (Address)		電話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻 AM 月 日 時 分 PM		トリアージ実施者氏名	
搬送機関名		収容医療機関名	
トリアージ実施場所			
トリアージ実施機関		医師 救急救命士 その他	
傷病名			
バイタルサイン	意識	清明 覚醒している 刺激で覚醒する 刺激しても覚醒しない	
	呼吸	回/分 呼吸困難 無呼吸	
	脈拍	回/分 整 不整 触知せず	
	血圧		
トリアージ区分			
0 I II III			
0 (黒色)			
I (赤色)			
II (黄色)			
III (黄緑)			

(資料 24)



(資料 25)

島根県災害時医療救護実施要綱 より抜粋

平成 2 5 年 1 2 月
島根県健康福祉部

第3編 医療救護（応急対策）

第1章 県内大規模災害における対応

第1節 基本的な考え方

第1 趣旨

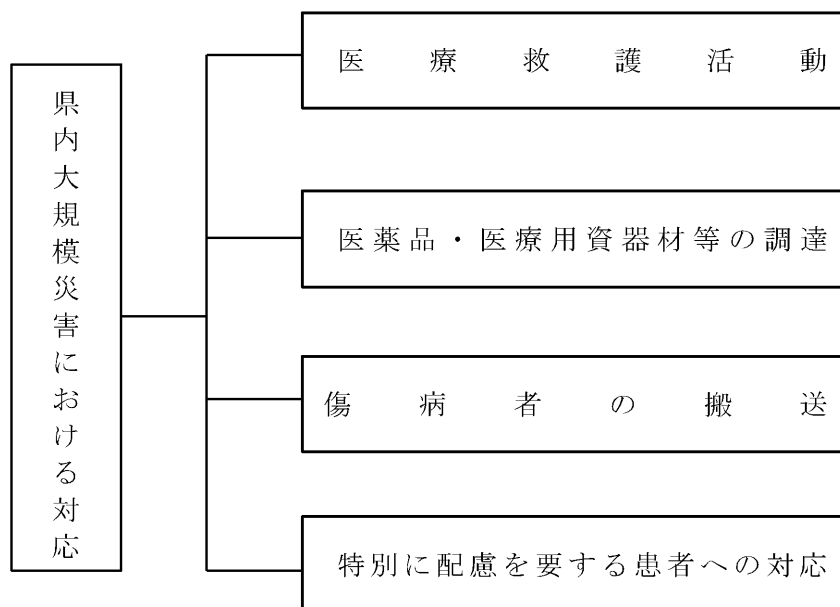
災害時には、広域あるいは局地的に、救助・医療救護を必要とする多数の傷病者が出ることが予想され、また、医療機関自体も被害を受け混乱が予想される。

このような状況下で被災者の救護に万全を期すために、県は、医療情報の収集伝達に努め、迅速に初動医療体制を確立する。

県、市町村、医療関係機関及び各防災関係機関は、密接な連携の下に一刻も速い救命処置、負傷者等の搬送を行い、迅速かつ適切な医療救護活動を行う。

一人でも多くの生命と健康を守るため、関係者全員が一体となって医療救護を実施することが肝要である。

第2 体系



第 3 医療救護期間の区分

災害発生から時間の経過に伴う医療ニーズの変化によって必要とされる対応が異なるため、災害発生直後からおよそ 1 か月後までを 3 つのフェーズに分け、各フェーズにおける対応を明確にする。

なお、フェーズの間隔や進行は、災害の規模や種類に応じて変動する可能性がある。

区 分	災害期	時間の経過	おもに活動する 医療チーム等
フェーズⅠ	【発災直後】 【超急性期】	発災直後～ およそ 3 日後	DMA T
フェーズⅡ	【超急性期】 【急性期】	発災後およそ 1 日～ およそ 1 週間後	DMA T 医療救護班
フェーズⅢ	【急性期】 【亜急性期】 【慢性期】	発災後およそ 3 日～ およそ 1 か月後	医療救護班

第 4 留意点

1 臨機応変かつ柔軟な医療救護の実施

大規模災害時には、被災地の数多くの医療機関が被害を受け、医療行為そのものがない場合や想定外の事態も発生するため、各関係機関等は臨機応変かつ柔軟な医療救護を実施する。

また、道路の被害等により傷病者の搬送にも支障が生じると考えられることから、医療機関の選定や搬送経路の決定においては、被災状況に応じて柔軟に対応していく。

2 指揮命令系統の明確化

DMA T、医療救護班、災害拠点病院が連携し効率的な医療救護活動を行うためには、派遣元の団体の違い等にかかわらず全体の活動を統制する必要があり、あらかじめ定めた指揮命令系統を遵守するとともに、責任者が不在の場合の代理など柔軟な運用を行う。

3 多分野の関係機関等との連携

多分野の関係機関等が連携協力し、より効果的な医療救護活動を実施するため、あらかじめ定めた役割分担に従った活動を優先しつつ、現場の実情に応じた相互支援活動を行う。

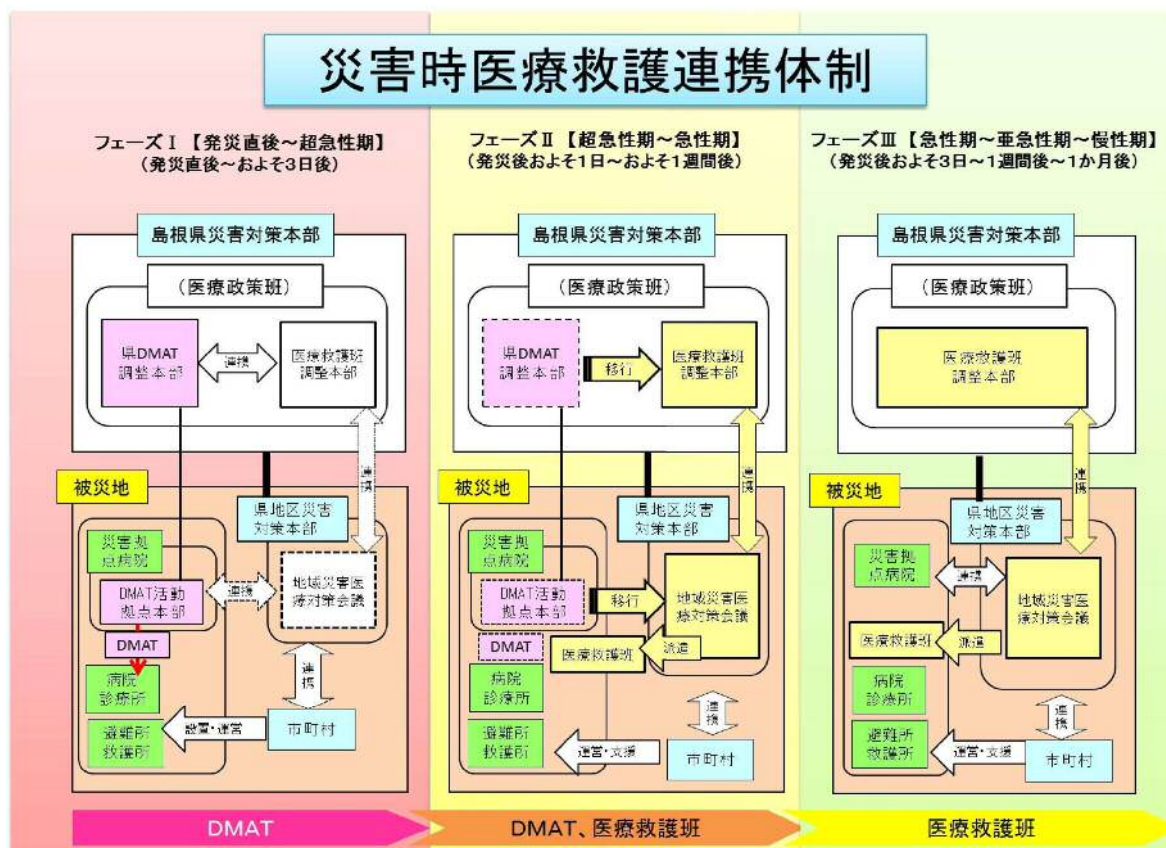
第5 関係機関等の体制及び役割

主体	体制	主な役割
県災害対策本部 (医療政策班)	【責任者】 健康福祉部長 【班長】 医療政策課長 【班員】 医療政策課職員 【場所】 県庁本庁舎6階講堂、県庁東庁舎3階医療政策課または4階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の医療救護活動の総合調整 ・医療救護に関する情報収集・提供 ・県地区災害対策本部（保健班）の活動支援 ・国、他都道府県等への医療支援要請 ・県DMAT調整本部及び県医療救護班調整本部の設置 ・災害拠点病院等の医療救護活動の調整 ・地域医療搬送、広域医療搬送の調整
	【責任者】 統括DMATのうち県があらかじめ指名していた者 【本部員】 当該統括DMATのロジスティクス隊員、医療政策課職員	<ul style="list-style-type: none"> ・県内で活動するすべてのDMATの指揮及び調整 ・DMAT活動拠点本部等の設置、指揮及び調整 ・県内で活動するDMAT、医療機関へのロジスティクス（後方支援） ・重症患者の受入病床及び救急搬送手段の確保、調整 ・消防、自衛隊等との連携及び調整 ・ドクターヘリの運行と運用に関わる調整 ・厚生労働省DMAT事務局との情報共有
	【責任者】 医療政策課長 【構成員】 医療関係団体、病院、行政機関 【事務局】 医療政策課職員	<ul style="list-style-type: none"> ・災害超急性期から中長期に渡り、迅速かつ適切な医療救護班の受け入れ及び配置調整等 ・被災地の医療機関等の医療ニーズの把握 ・各団体本部からの医療救護班派遣情報の把握 ・地域災害保健医療対策会議との連携 ・被災地域への医療資器材等の支援 ・その他必要な事項

県地区災害対策本部 (保健班)		【責任者】 保健所長 【班員】 保健所職員 【場所】 各地域合同庁舎 または各地域保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の医療機関の被災状況、救護所等における医療ニーズに関する情報収集、提供 ・地域災害医療対策会議の開催
	地域災害医療対策会議	【責任者】 保健所長 【構成員】 管内の関係団体、病院、行政機関 【場所】 保健所等	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村が救護所等で行う医療救護活動への支援 ・管内の医療機関の被災状況、救護所等における医療ニーズに関する情報収集、提供 ・DMA T活動拠点本部からの引継ぎ ・医療救護班の要請、受入・派遣調整 ・救護所等からの傷病者の受入先調整 ・地域医療への円滑な移行支援
市町村災害対策本部 (医療部門)			<ul style="list-style-type: none"> ・管内の医療機関の被災状況、救護所等における医療ニーズに関する情報収集、提供 ・救護所、避難所等の設置、運営 ・傷病者の搬送 ・要配慮者の把握 ・遺体の収容、火葬・埋葬等
災害拠点病院 (基幹、地域)			<p>(共通事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤救急患者の高度救命診療 ・被災地からの一時的な重症傷病者の受入 ・DMA T、医療救護班の受入 ・DMA T等の派遣 ・傷病者等の受入及び搬出を行う広域搬送対応 ・地域の医療機関への支援 ・DMA T活動拠点本部からの引継ぎ <p>(特に基幹災害拠点病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域災害拠点病院で対応不能な重篤患者等の受入 ・地域災害拠点病院で必要な医療資源の投入

災害協力病院		<ul style="list-style-type: none">・被災地への医療救護班等の派遣・被災地からの一時的な重症傷病者等の受入・傷病者等の受入及び搬出を行う広域搬送対応
一般の病院等		<ul style="list-style-type: none">・医療機関及び地域の被害状況により軽症の傷病者の受入れや通常の診療を実施・重症患者を災害拠点病院等へ搬送
日本赤十字社島根 県支部		<ul style="list-style-type: none">・県の要請により、または自らの判断により救護班を編成し、医療救護活動を実施
関係団体 (県医師会、郡市医師会、 県歯科医師会、県薬剤師会、 県看護協会 等)		<ul style="list-style-type: none">・災害時における協定等に基づき、県の要請により、医療救護班等の派遣など各団体の役割に応じた医療救護活動を実施

第6 災害時医療救護連携体制

**フェーズⅠ 【発災直後～超急性期】 (発災直後～およそ3日後)**

おもに災害超急性期に対応するため訓練されたDMATを中心に医療救護活動が展開する。各関係機関は、DMATが最大限に力を発揮できるよう連携協力し、迅速に対応する。

フェーズⅡ 【超急性期～急性期】 (発災後およそ1日～およそ1週間後)

おもに医療関係団体による医療救護班が活動を開始する。DMATの活動は医療救護班へ引き継がれ、DMATは徐々に活動を終了する。各関係機関は、切れ目なく医療救護活動が実施されるよう、医療救護班の派遣、受け入れ体制を速やかに整える。

フェーズⅢ 【急性期～亜急性期～慢性期】 (発災後およそ3日～およそ1か月後)

おもに他都道府県が編成した医療救護班による活動が中心となる。医療救護班の活動は、地域の医師会へと引き継がれ、徐々に縮小する。各関係機関は、可能な限り早期に地域の医療機関による診療体制に復帰するよう、連携協力する。

(資料 26)

隠岐島前地域災害医療対策会議設置要領

第 1 目的

この要領は、隠岐島前地域で地震や風水害等による災害が発生した場合に、地域住民の生命、健康を守るため、各種の医療関係団体等で構成する隠岐島前地域災害医療対策会議（以下「会議」という。）の設置に関して必要な事項を定めることを目的とする。

第 2 基本事項

- 1 会議は、隠岐島前地域での災害発生後、島根県隠岐地区災害対策本部（以下「県地区災対本部」という。）が設置された場合、早期に県地区災対本部内に設置する。
- 2 会議メンバーは、隠岐島前地域の医療関係団体、病院及び行政機関の構成員と隠岐保健所（以下「保健所」という。）職員とし、隠岐保健所長（以下「保健所長」という。）が会議を総理する。
- 3 被災地の医療ニーズや医療救護所等の医療救助活動情報等を収集し、医療救護班の受入れ及び配置調整等、効果的な医療体制整備のための対策を講ずる。
- 4 会議は、島根県医療救護班調整本部（以下「調整本部」という。）と、災害拠点病院等に設置されるDMA T活動拠点本部、隠岐島前各町村の災害対策本部及び県地区災対本部と連携して、災害超急性期から中長期に渡って活動を行う。
- 5 平時から会議の構成団体間の緊密な連携体制を構築するとともに、災害医療体制に係る情報共有や意見交換を行う体制を整える。
- 6 そのほか、会議は、「島根県医療救護実施要綱」（平成 25 年 12 月・島根県健康福祉部）に基づいて対応を行う。

第 3 構成団体及び役割等

- 1 構成団体
 - (1) 会議の構成団体及び構成員は、別表 1 のとおりとする。
 - (2) 上記 (1) により定めるもののほか、必要に応じて構成団体以外の関係者に臨時構成員として、会議への参加を求めることができる。
 - (3) 各構成団体は、構成員不在時に備え、予め代理者を定めておくものとする。
- 2 会議の役割
 - (1) 災害超急性期から中長期に渡り、迅速かつ適切な医療救護班の受入れ及び配置調整等に関すること。
 - (2) 調整本部からの派遣情報や地域における医療救護班の活動情報等、会議構成員間での情報交換・共有に関すること。
 - (3) 地域における医療救護班の活動調整と調整本部等に対する要請に関すること。

第 5 設置手順

- 1 設置の決定
保健所長は、県地区災対本部設置後、速やかに会議の設置を決定する。
なお、設置場所は、島前集合庁舎（保健所）又は隠岐広域連合立隠岐島前病院等とする。
- 2 団体の構成員への連絡及び参集
 - (1) 保健所長は、第 5 の 1 の会議設置を決定した場合、別表 1 の連絡先により早期に構成員の招集を行う。
なお、構成員が不在の場合は、代理者へ連絡を行う。
 - (2) 構成員又は代理者は、保健所長から参集要請があるまでは、各団体内で災害情報収集等の活動を行うものとする。

第6 活動内容

会議の活動内容は、以下のとおりとする。

- (1) 隠岐島前各町村が救護所等で行う医療救護活動への支援に関すること。
- (2) 隠岐島前地域の医療機関の被災状況、救護所等における医療ニーズに関する情報収集、提供に関すること。
- (3) DMA T活動拠点本部からの引継ぎに関すること。
- (4) 医療救護班の要請、受入・派遣調整に関すること。
- (5) 救護所等からの傷病者の受入先調整に関すること。
- (6) 地域医療への円滑な移行支援に関すること。
- (7) その他必要と認めること。

第7 運営方法

1 会議メンバーの配置

会議メンバーの保健所職員は、構成団体と連携の上、前項の活動を行うものとする。

なお、必要に応じて、各団体の構成員又は代理者参集の下、会議を開催するものとする。

2 会議内協議

- (1) 会議においては、各構成団体が把握している情報や地域の医療ニーズ等の状況を確認しながら、必要な対策を調整する。
- (2) 被災状況によって、会議メンバーの招集が困難な場合においては、保健所長は会議に諮ることなく必要な措置をとることができる。

3 会議解散

会議の解散については、原則、保健所長が被災地の状況及び島根県災害対策本部並びに県地区災対本部の体制を確認の上、会議の解散時期を判断する。

第8 平時における会議の運営

保健所長は、会議の構成団体間の緊密な連携体制の構築や、災害医療体制に係る情報共有や意見交換を行うため、年1回以上、構成員を招集して会議を開催するほか、随時、情報提供等を行う。

第9 事務局

会議の事務局は、保健所（総務医事課）とし、その庶務を処理する。

第10 その他

この要領に定めるもののほか、会議の運営に必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成25年 2月 1日から施行する。

この要領は、平成25年 8月22日から施行する。

この要領は、平成25年10月18日から施行する。

この要領は、平成27年 2月26日から施行する。

(別表 1) 隠岐島前地域災害医療対策会議 構成団体・構成員等

平成27年4月1日現在

団体 種別	構成団体名	構成員等			構成員等連絡先						
		区分	役職	氏名	T E L	F A X	〒	住所	所属	職名等	
医療 関係 団体	島前医師会	構 成 員	会長	木田川利行	08514-2-0200	08514-2-1745	684-0403	海士町大字海士1466	海士町国民健康保険海士診療所	医師	
		第1代理者	監事	榊原 均	08514-2-0200	08514-2-1632	684-0403	海士町大字海士1466	海士町国民健康保険海士診療所	所長	
		第2代理者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	隠岐歯科医師会	構 成 員	会長	田口 耕	08514-2-1616	08514-2-1618	684-0404	海士町大字福井1344-1	田口耕歯科医院	院長	
		第1代理者	-	-	-	-	-	-	-	-	
		第2代理者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	島根県薬剤師会 隠岐支部	構 成 員	島前担当	藤田 収	08514-7-9001	08514-7-9002	684-0303	西ノ島町大字美田2068-2	(株)エスマイル スイング島前薬局	管理薬剤師	
		第1代理者	-	山本 直承	08514-7-9001	08514-7-9002	684-0303	西ノ島町大字美田2068-2	(株)エスマイル スイング島前薬局	薬剤師	
		第2代理者	-	嶋崎 裕子	08514-7-8211	08514-7-8702	684-0303	西ノ島町大字美田2071-1	隠岐広域連合立隠岐島前病院	管理薬剤師	
	島根県看護協会 隠岐支部	構 成 員	副支部長	上谷千代美	08514-7-8211	08514-7-8702	684-0303	西ノ島町大字美田2071-1	隠岐広域連合立隠岐島前病院	看護師	
		第1代理者	役員	島本小百合	08514-7-8211	08514-7-8702	684-0303	西ノ島町大字美田2071-1	隠岐広域連合立隠岐島前病院	看護師	
		第2代理者	役員	家中ふみ代	08514-7-8211	08514-7-8702	684-0303	西ノ島町大字美田2071-1	隠岐広域連合立隠岐島前病院	看護師	
病院 関係	隠岐広域連合立 隠岐島前病院 (災害協力病院)	構 成 員	院長	白石 吉彦	08514-7-8211	08514-7-8702	684-0303	西ノ島町大字美田2071-1	隠岐広域連合立隠岐島前病院	院長	
		第1代理者	事務部長	天草 巧	08514-7-8211	08514-7-8702	684-0303	西ノ島町大字美田2071-1	隠岐広域連合立隠岐島前病院	事務部長	
		第2代理者	看護部長	松浦 幸子	08514-7-8211	08514-7-8702	684-0303	西ノ島町大字美田2071-1	隠岐広域連合立隠岐島前病院	看護部長	
行政 機関	消防 機関	隠岐広域連合 消防本部	構 成 員	島前分署長	富谷 輝彦	08514-6-1119	08514-6-1110	684-0211	西ノ島町大字浦郷60-7	隠岐島消防署 島前分署	分署長
			第1代理者	島前分署 第1係長	田中 勤	08514-6-1119	08514-6-1110	684-0211	西ノ島町大字浦郷60-7	隠岐島消防署 島前分署	第1係長
			第2代理者	島前分署 第2係長	澁 需	08514-6-1119	08514-6-1110	684-0211	西ノ島町大字浦郷60-7	隠岐島消防署 島前分署	第2係長
	警察 機関	浦郷警察署	構 成 員	署長	島津 敏憲	08514-6-0121	08514-6-1384	684-0211	西ノ島町大字浦郷218-4	浦郷警察署	署長
			第1代理者	警備係長	福島 忠男	08514-6-0121	08514-6-1384	684-0211	西ノ島町大字浦郷218-4	浦郷警察署	警備係長
			第2代理者	地域総務係長	三浦 幸夫	08514-6-0121	08514-6-1384	684-0211	西ノ島町大字浦郷218-4	浦郷警察署	地域総務係長
	行政 機関	海士町	構 成 員	海士町国民健康保険海士診療所 事務長	上田 賢二	08514-2-0212	08514-2-0166	684-0403	海士町大字海士1466	海士町国民健康保険海士診療所	事務長
			第1代理者	健康福祉課長	沼田 洋一	08514-2-1823	08514-2-0208	684-0403	海士町大字海士1490	海士町 健康福祉課	課長
			第2代理者	海士町国民健康保険海士診療所 係長	浜崎 礼子	08514-2-0212	08514-2-0166	684-0403	海士町大字海士1466	海士町国民健康保険海士診療所	係長
		西ノ島町	構 成 員	健康福祉課長	富谷 恵子	08514-6-0104	08514-6-0683	684-0211	西ノ島町大字浦郷534	西ノ島町 健康福祉課	課長
			第1代理者	健康福祉課 課長補佐	藤原 三子	08514-6-1182	08514-6-1183	684-0211	西ノ島町大字浦郷534	西ノ島町 健康福祉課	課長補佐
			第2代理者	-	-	-	-	-	-	-	-
		知夫村	構 成 員	村民福祉課長	影原 知明	08514-8-2211	08514-8-2093	684-0102	知夫村1065	知夫村 村民福祉課	課長
			第1代理者	村民福祉課 課長補佐	崎 博一	08514-8-2211	08514-8-2093	684-0102	知夫村1065	知夫村 村民福祉課	課長補佐
			第2代理者	-	-	-	-	-	-	-	-
		隠岐広域連合	構 成 員	事務局 総務課長	野津 信吾	08512-6-9150	08512-6-3330	685-0104	隠岐の島町都万2016	隠岐広域連合 事務局 総務課	課長
			第1代理者	事務局 総務課 総務係長	和田 哲也	08512-6-9150	08512-6-3330	685-0104	隠岐の島町都万2016	隠岐広域連合 事務局 総務課	総務係長
			第2代理者	-	-	-	-	-	-	-	-
	事務 局	隠岐保健所	構 成 員	所長	長崎みゆき	08512-2-9700	08512-2-9716	685-8601	隠岐の島町港町塩口24	隠岐保健所	所長
				総務保健部長	梶浦 靖二	08512-2-9808	08512-2-9716	685-8601	隠岐の島町港町塩口24	隠岐保健所	総務保健部長
				島前地域危機管理スタッフ 調整監	藤原 美鈴	08514-7-8121	08514-7-8910	684-0302	西ノ島町大字別府字飯田56-1	隠岐保健所 島前地域危機管理スタッフ	調整監
				島前保健環境課長	小室 俊子	08514-7-8121	08514-7-8910	684-0302	西ノ島町大字別府字飯田56-1	隠岐保健所 島前保健環境課	課長
				総務医事課 総務医事係長	細木 進	08512-2-9702	08512-2-9716	685-8601	隠岐の島町港町塩口24	隠岐保健所 総務医事課	総務医事係長

(資料 27)

(島根県地域防災計画より)

震度階級関連解説表

※出典：気象庁震度階級関連解説表(H21.3.31改訂版)(一部改変あり)

<p>(1) 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。</p> <p>(2) 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。</p> <p>(3) 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の1回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。</p> <p>(4) この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。</p> <p>(5) この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。</p> <p>(6) この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。</p>	
用語	意味
まれに	極めて少ない。めったにない。
わずか	数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。
大半	半分以上。ほとんどよりは少ない。
ほとんど	全部ではないが、全部に近い。
が（も）ある、 が（も）いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

※ 気象庁では、アンケート調査などにより得られた震度を公表することがありますが、これらは「震度〇相当」と表現して震度計の観測から得られる震度と区別しています。

●人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がある。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もある。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もある。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5 弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのが分かる。道路に被害が生じることがある。
5 強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6 弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6 強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

●地盤・斜面等の状況

震度階級	地盤の状況	斜面等の状況
5 弱	亀裂 ^{※1} や液状化 ^{※2} が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
5 強	亀裂 ^{※1} や液状化 ^{※2} が生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。
6 弱	地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある ^{※3} 。
6 強	大きな地割れが生じることがある。	
7		

※1 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

- ※2 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。
- ※3 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

●木造建物（住宅）の状況

震度階級	木造建物（住宅）	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。 傾くものや、倒れるものが増える。
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

（注1）木造建物（住宅）の耐震性により2つに分けた。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和56年（1981年）以前は耐震性が低く、昭和57年（1982年）以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

（注2）この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁（割り竹下地）、モルタル仕上壁（ラス、金網下地を含む）を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が小さい状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

（注3）木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

●鉄筋コンクリート造建物の状況

震度階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5強	—	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6弱	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6強	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX 状のひび割れ・亀裂がみられることがある。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。 1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX 状のひび割れ・亀裂が多くなる。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが増える。

（注1）鉄筋コンクリート造建物では、建築年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和56年（1981年）以前は耐震性が低く、昭和57年（1982年）以降は耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

（注2）鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

●ライフライン・インフラ等への影響

ガス供給の停止	安全装置のあるガスメーター（マイコンメーター）では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。 さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることもある*。
断水、停電の発生	震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある*。
鉄道の停止、高速道路の規制等	震度4程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。（安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。）
電話等通信の障害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問合せが増加し、電話等がつながりにくい状況（輻輳）が起こることがある。 そのための対策として、震度6弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。
エレベーターの停止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度5弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

※ 震度6強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある。

●大規模構造物への影響

長周期地震動*による超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長いと、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱いOA機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらなると、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクのスロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング（タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象）が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する施設の天井等の破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

※ 規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなることがある。